

平成30年度事業報告

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

社会福祉法人 上田市社会福祉協議会



- 目 次 -

総括	1～2
組織	3～4
法人運営	5～8
企画・広報	9
福祉推進	10～11
地域ふれあい	12～13
ボランティア地域活動センター事業	14～24
点字・声の広報発行事業	25
みまもり(声かけ)訪問事業	26
有償在宅福祉サービス事業	27～30
希望の旅事業 / 在宅介護者リフレッシュ事業	31
共同募金配分金事業	32～34
“まいさぼ上田”上田市生活就労支援センター事業	35～37
上小圏域成年後見支援センター事業	38～41
相談事業	42～43
日常生活自立支援事業	44～45
貸付事業	46～47
児童館事業	48～56
地域子育て支援拠点事業	57～58
上田市ファミリー・サポート・センター事業	59～60
地域包括支援センター事業	61～69
居宅介護支援事業	70～72
デイサービスセンター	73～78
老人福祉センター事業	79～85
真田ふれあいバス運行事業	86
施設管理事業	87～89
その他の事業	90～97
善意銀行	98～103

総括

今日の社会福祉を取り巻く状況は、超高齢社会や少子化による人口減少が進行し、高齢者の単身又は夫婦のみの世帯が増加するなど、社会構造の変容が生じています。

また、ライフスタイルの変化や価値観の多様化により、地域の間人間関係が希薄化し、相互扶助意識が低下しています。このような中で、複合的な生活の困難さを抱えた困窮者が増加し、家族や公的制度だけでは解決しきれない様々な問題が発生しています。加えて、ひきこもりや虐待事例が増加するなど問題解決に向けて地域での連携がますます重要となっており、また、全国各地で自然災害が相次ぐ中、共に支え合う地域コミュニティが担う役割も増大しています。

こうした中、当協議会では、第3次上田市地域福祉計画及び活動計画の初年度に当たる平成30年度は、「あったかい 心あふれる 協働のまち」の行動指針のもと、地域に根差した特色ある独自事業を基軸とし住民の福祉ニーズを的確にとらえ、課題解決に向けて住民と共に考え、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりを推進しました。

とりわけ、平成30年度においては、事業計画に掲げた5つの重点施策について、適切な運営実施に努めました。

まず、第1の「住民参加と協働による地域福祉活動の推進」については、地区社協住民会議が16地区で開催され、延1,240人が参加しました。福祉のまちづくりを目指し住民が主体となって様々な問題を協議し地域福祉に関心と理解を深める会議となりました。

住民支え合いマップについては、完成自治会数は、3自治会増え合計206自治会となりました。更新が進んでいない自治会やこのマップから日常の支え合いに繋がっていない自治会もあり今後の課題として取り組んでいきます。

福祉推進委員については、研修会を開催し推進委員と地区とのかかわり方などについて意見交換を行い、地域の福祉事業に積極的に参加することや住民に気軽に声を掛けあうことの重要性を確認し合いました。

第2の「地域包括支援センターを拠点とした総合的な福祉サービスの推進」については、地域リハビリテーション活動支援事業の活動拠点を大幅に増やし、生きがい活動の増進と健康寿命の延伸のための体制づくりを行いました。また、実態把握調査を行い、その後のニーズに対して連携を図り円滑に支援が行えるよう取り組みました。丸子・武石地区では、講演会「地域での支え合いについて考えよう」を開催し、住民同士の支え合いの重要性を啓発しました。

第3の「地域で安心して生活できる環境づくりのための子育て支援事業の推進」については、保護者の就労等で留守家庭が増えているため、児童の放課後の居場所として児童館・児童センターはますます重要度が増しており、利用者数は年々増加しています。また、対応が難しい児童や特別な支援を必要としている児童が増えており、職員の研修を図りながら適切な対応を行いました。子育てひろばは、育児に不安や悩みを抱える母親の相談場所となっており、必要に応じて専門機関と連絡を取り支援を行い、母親の孤立化と不安の解消に努めました。また、初の試みとして4つの子育てひろばが合同で講座を開催し、他のひろばの体験をしていただき大変好評でした。

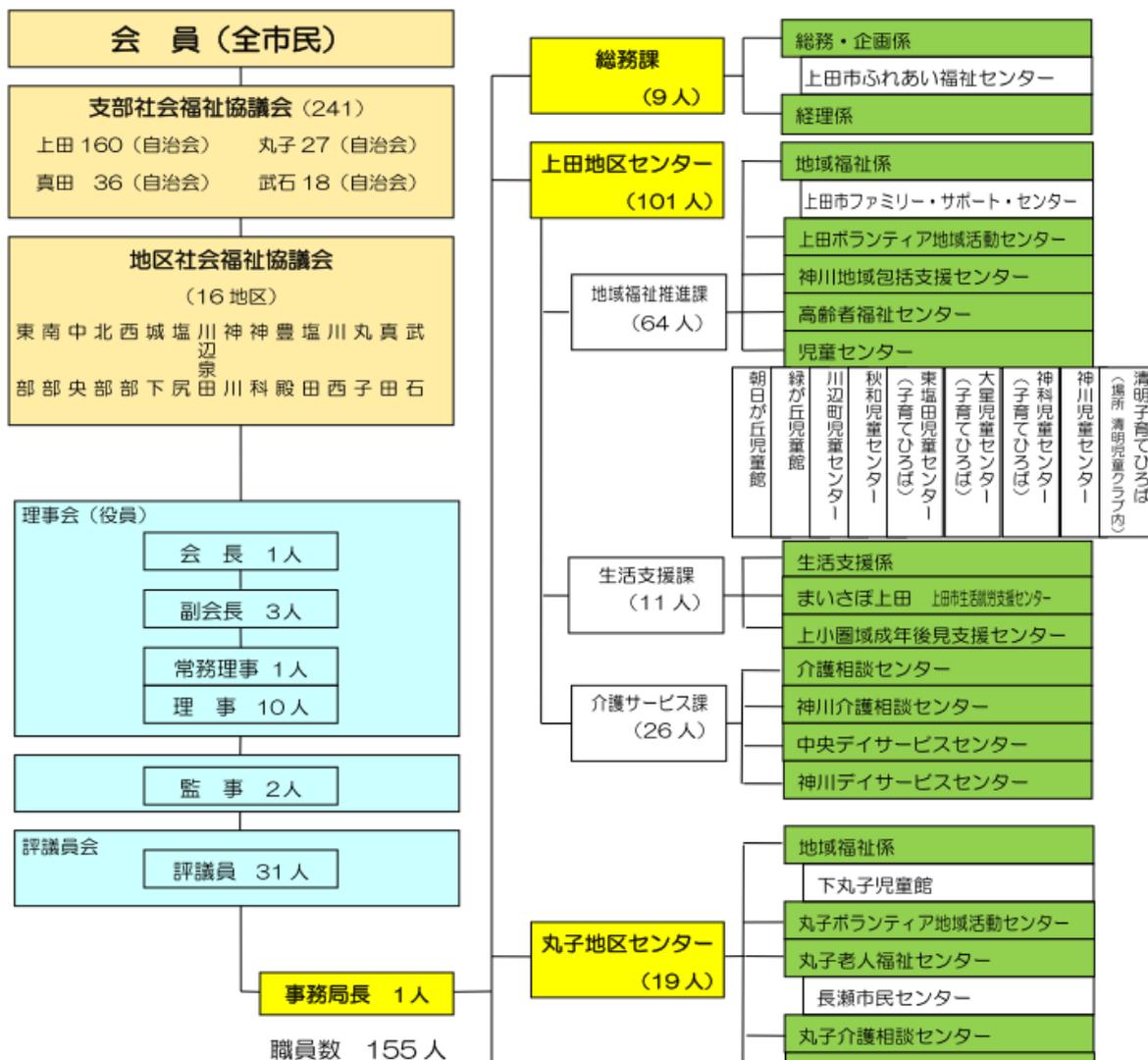
第4の「ボランティア地域活動センターの充実とボランティア活動及び福祉教育の推進」については、地域住民のボランティア活動に関する理解を深め、あらゆるボランティアとの協働による育成援助と活動の推進を図るため、各種ボランティア講座の開催、社会福祉普及校の指定、出前福祉体験事業、サマー及びスプリングチャレンジボランティア、災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練などを実施し、小中学生を含めて地域の住民にボランティアに関心を寄せていただくことに努めました。平成30年度の新しい取り組みとして、上田ボランティア連絡協議会が開催した「子どもカフェなかんじょ」や「みんなの居場所しおじり」は、地域の支援をいただき大変好評でした。また、各種ボランティア参加者は、約12,000人であり、前年度より約1,000人増加しました。

第5の「地域の福祉ニーズに基づくサービスや先駆的な取り組み」については、社協お結びサポーターを、新たに神科地区に2人配置し、地域のニーズの把握など福祉推進活動の強化を図りました。また、ひきこもり対策として当事者を対象にしたコミュニケーション講座や自分磨き講座、家族を対象にしたペアレントトレーニング講座やペアトレぷらす講座を開催し延270人が参加するなどひきこもり者・家族の支援を積極的に実施しました。

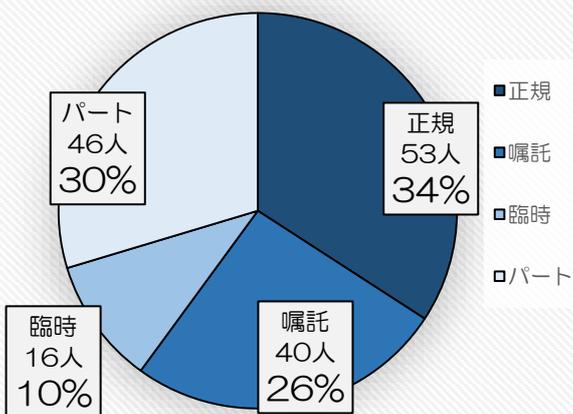
平成30年度の重点施策実施にあたり、誰もが住み慣れた地域の中で、お互いに支え合いながら安心して元気に暮らせるまちづくりの実現のために、地域住民及び行政や関係団体等と連携・協力を図りながら、各種事業に取り組んでまいりました。

1 組織図(平成31年3月31日現在)

上田市社会福祉協議会組織図

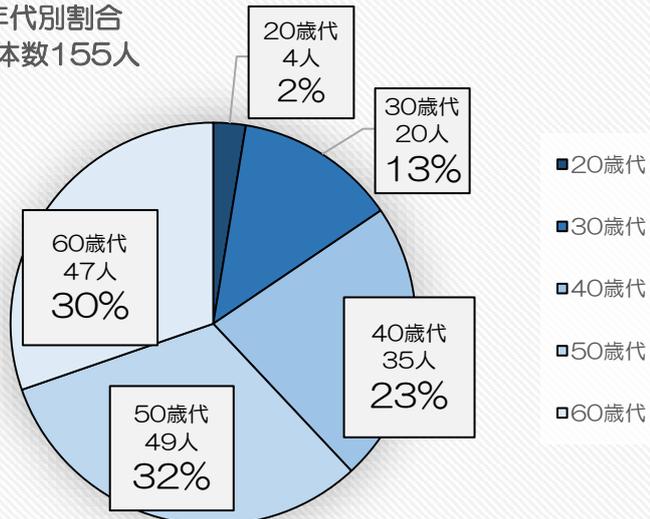


雇用形態 全体数155人



2 職員構成 (平成31年3月31日現在)

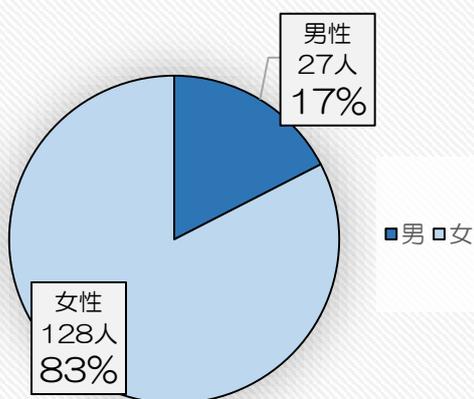
年代別割合
全体数155人



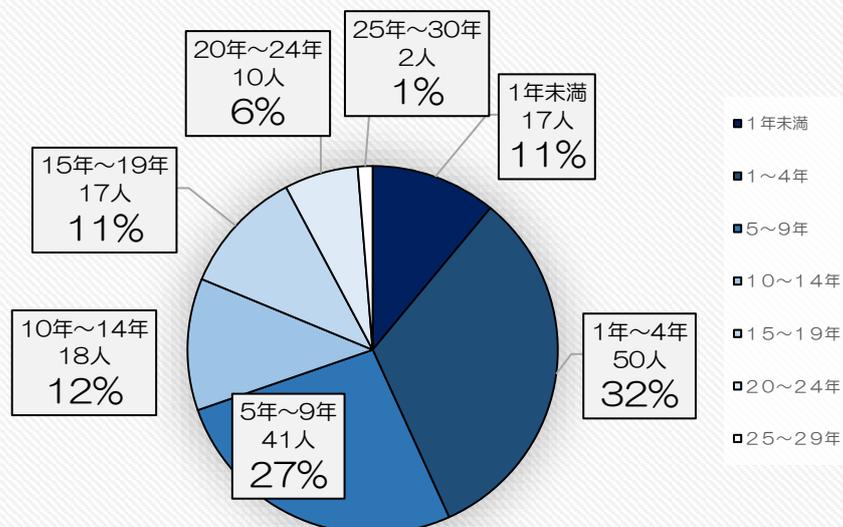
平均年齢(単位: 歳)

	平均年齢
全職員	49.7
正規職員	44.5
正規以外	54.9

男女比 全体数155人



勤続年数 全体数155人



有資格者数(平成31年3月31日現在)

資格の種類	人数(人)
社会福祉士	30
精神保健福祉士	7
介護福祉士	29
主任介護支援専門員・介護支援専門員	26
保健師・看護師	9
教諭・保育士	93

法人運営

1 法人運営

事業実績

(1) 理事会、評議員会

理事会	第53回 平成30年6月7日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告及び社会福祉事業決算について 交代に伴う評議員候補者の選出について 第32回評議員会の開催について
	第54回 平成30年10月3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度社会福祉事業第1次補正予算(案)について
	第55回 平成31年3月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度社会福祉事業第2次補正予算(案)について 平成31年度事業計画及び資金収支予算(案)について 任期満了に伴う理事、監事の選出について 任期満了に伴う苦情解決第三者委員の選任について 定款変更について 職員就業規則及び 正規職員以外の職員就業規則の変更について デイサービスセンター管理運営要綱の変更について 重要な役割を担う職員の選任について 第33回評議員会の開催について
評議員会	第32回 平成30年6月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告及び社会福祉事業決算について
	第33回 平成31年3月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度社会福祉事業第1次補正予算及び第2次補正予算(案)について 平成31年度事業計画及び資金収支予算(案)について 任期満了に伴う理事、監事の選出について 定款変更について

(2) 専門委員会

- 11月29日(木) 第1回地域福祉経営委員会
- 1月15日(火) 第2回地域福祉経営委員会
- 2月7日(木) 第3回地域福祉経営委員会

(3) 関係機関との懇談会

- 7月23日(月) 上田市理事者
- 8月10日(金) 上田市議会厚生委員会
- 8月24日(金) 上田市議会総務文教委員会

(4) 表彰審査委員会

- 9月4日(火) 平成30年度表彰審査委員会

(5) 視察(受入れ・訪問)

- ア 受入れ
 - 7月26日(木) 小谷村民生委員
 - 8月27日(月) 長野市朝陽地区住民自治協議会
 - 10月29日(月) 坂城町議員
 - 3月13日(水) 新発田市協
- イ 訪問
 - 10月9日(火)、10月10日(水) 静岡県磐田市社協(上田市社協役職員)

- (6) 苦情解決第三者委員会
 ア 委員会
 開催日 7月3日(火) 上田市ふれあい福祉センター
 苦情件数 17件
 イ 平成30年度苦情対応システム研修会
 開催日 10月4日(木) 諏訪市文化センター 9人参加
 11月5日(月) 長野市若里市民文化ホール 8人参加
- (7) ブロック会議
 上小ブロック社協連絡会議、上小ブロック社協職員研修会 他
- (8) 福祉人材の育成
 社会福祉実習受入 5人

2 社協会費

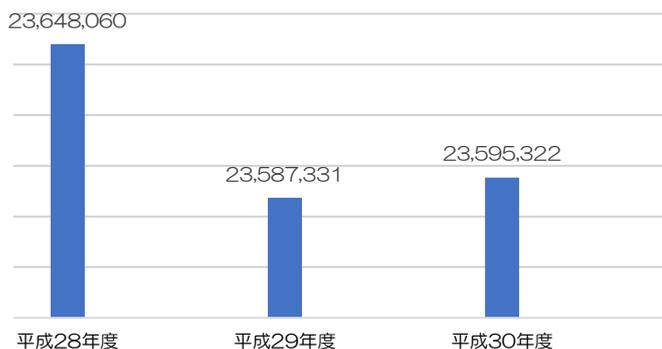
事業実績

全市民の会員会費制による社協会費は貴重な財源であり、広く地域福祉活動に活用した。

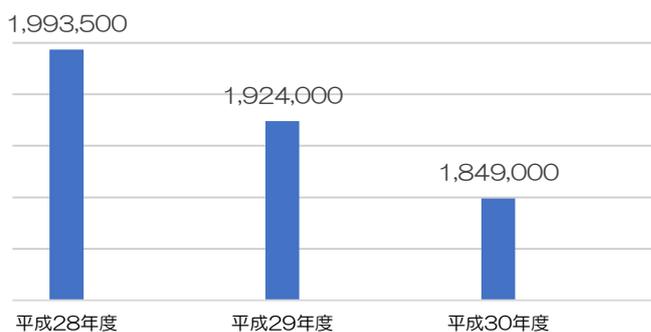
(1) 社協会費納入実績・推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
普通会費(円)	23,648,060	23,587,331	23,595,322
特別会費(円)	1,993,500	1,924,000	1,849,000
法人会費(円)	2,292,000	2,425,136	2,578,000
団体会費(円)	153,000	167,000	182,000
合 計	28,086,560	28,103,467	28,204,322

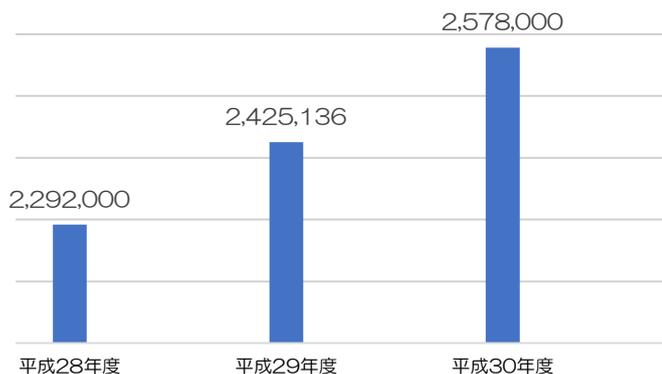
普通会費(単位：円)



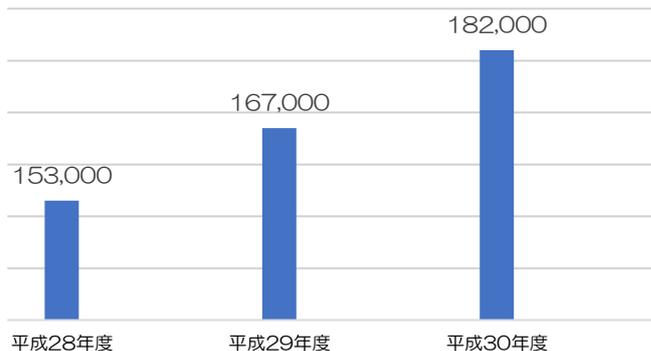
特別会費(単位：円)

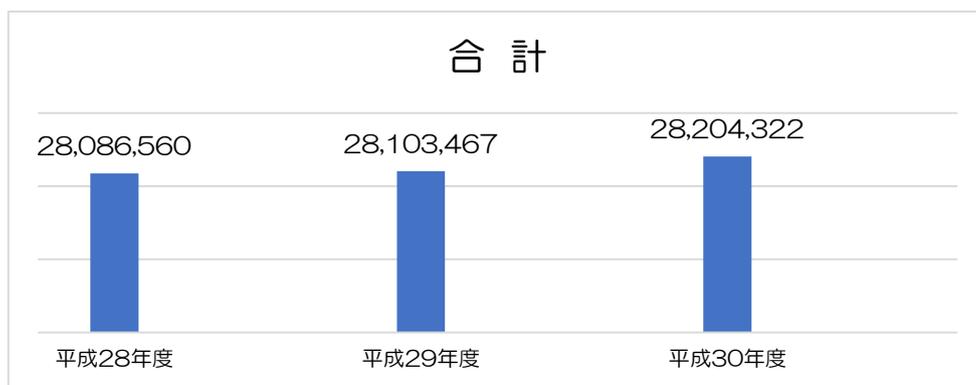


法人会費(単位：円)



団体会費(単位：円)





評価・課題

会費の使用目的を住民の皆さまへ周知するために、広報紙への掲載や自治会向けのお知らせを配布した。会費の総額は増えているが、特別会員の減少が毎年みられる。今後も住民の方の理解を深めるために、社協の取り組みや会費の使用目的・使用方法を広く周知する必要がある。

3 福祉大会

事業実績

(1) 上田市社会福祉大会

11月1日(木) サントミュージゼ大ホール 参加者 約1,100人

ア 内 容

- (ア) 式 典 … 表彰者 27人、6団体
感謝状 1人、5団体
- (イ) アトラクション 社協職員による健康体操
- (ウ) 講 演 「落語家が語る、イイカゲン(良い加減)の福祉」
講 師 三遊亭 多歌介 氏 (落語家)



(2) 長野県社会福祉大会

9月12日(水) 塩尻市文化会館レザンホール 上田市から38人参加

ア 内 容

- (ア) 大会式典、表彰、共同募金に対する謝辞、トークセッション
- (イ) 表彰者 (上田市のみ)
 - ・長野県社会福祉協議会会長表彰 (ボランティア団体表彰)：スペシャルオリンピックス日本・長野上田支部、おとぎの会
 - ・社会福祉功労者 (民生・児童委員功労表彰)：小岩井 玲子、小林 誠、古川 友枝、山岸 栄子
 - ・感謝 (永年勤続者感謝)：堀内 伸之(故)
- (ウ) トークセッション
『地域づくりを“我が事”に～住民リーダー&コーディネーター大集合！！～』
コーディネーター 阿部 陽一郎 氏 (中央共同募金会 事務局長)

評価・課題

上田市社会福祉大会では、市内の社会福祉功労者や優良団体の表彰とその時代の福祉情勢に応じた課題に対し毎年講演を開催している。

市内の自治会長や民生委員・児童委員、福祉推進委員や住民の方などが来場され、毎年盛大に行われている。今年は、ポスター、チラシを配布し広報活動を積極的に行った。課題としては、表彰者をより広い団体から挙げてもらう工夫を考えていく必要がある。

4 研修

(1) 職員研修

ア 内部研修(参加者延べ人数：196人)

メンタルヘルス対策研修会、認知症サポーター養成講座、新人職員研修会、介護関係職員研修会、上田市社協職員経理研修会、AED研修、評価者向け研修

イ 外部研修(参加者延べ人数：285人)

社会福祉法人トップセミナー、労災防止対策研修会、全社協管理職員研修、長野県生活支援コーディネーター養成研修、全社協経営強化セミナー、ひきこもり支援研修、自殺対策関係者研修、長野県内成年後見支援センター実務者研修会、社協経理研修、日常生活自立支援事業専門員・支援員研修会、介護・包括関係職員研修会、児童館職員関係研修 他

評価・課題

多様な職種が混在する社協では、外部における専門性の高い研修を多く取り入れスキルアップを図っている。内部研修では、社協職員としての意識改革につながる研修を多く取り入れたいが、思うほどに開催できなかった。職員が参加しやすい開催時期、開催時間など検討を重ね、職員全員を対象に取り組んでいきたい。

5 出前講座

事業実績

自治会や団体等から依頼があり、社協職員が講師として出向いた。

	回数	主催者
有償在宅福祉サービスについて	3回	上常田自治会、荒井長寿会、みすず台南ボランティアグループ
成年後見制度について	3回	神畑自治会、ぽけっと家族会、塩田新町自治会
いきいき体操	12回	下原自治会、木町自治会、上常田自治会、緑ヶ丘西自治会（3回）、鎌原自治会、みすず台南ボランティアグループ、大日向自治会（2回）、西脇自治会、なごみのサロン、
タオル犬作り	10回	野倉自治会、下小島長寿会、岩下自治会、神畑南部実行組合、萩自治会、本町自治会、横尾自治会、下原自治会、知恵の輪クラブ、東部地区福祉推進委員会
介護保険制度について	1回	山口福祉推進委員会
うさたまの出張	2回	長島ひまわり会、老人保健施設いずみの
エンディングノートについて	3回	上常田自治会、丸輪会、城北長寿会

評価・課題

いきいき体操やタオル犬作りなど、参加型の講座の依頼が圧倒的に多く、今後出前講座の内容を見直し、市民の要望に添う形の講座を増やしていきたい。

企画・広報

事業概要	事業実績
<p>事業や福祉推進に関する調査研究を行うと共に福祉関係情報の収集及びその広報PRに努める。</p> <p>1 広報活動</p> <p>(1) 広報紙「社協うえだ」の発行(隔月)</p> <p>(2) 社協ホームページによる事業PR</p> <p>(3) 社協出前講座の実施</p> <p>(4) エンディングノート「絆」の発行販売、書き方セミナーの実施</p> <p>(5) うさたまグッズの作成</p>	<p>1 「社協うえだ」の発行 社協のPRとして、また福祉に関する情報源として、福祉講座やイベントの開催、また各地域で行われている福祉活動の様子などを偶数月に発行し、市内全世帯をはじめ、学校関係や社協法人会員の皆さまへ毎回 58,000部を配布しお知らせした。</p> <p>2 「社協ホームページ」の活用 社協が行う各種福祉サービスをはじめ、ボランティア情報、社協職員の募集等、様々な情報を発信した。</p> <p>3 「うさたま着ぐるみ」の活用 うえだ市民ふれあい広場、ふれあい広場in さなだ、上田市社会福祉大会等において市民とふれあった。</p> <p>4 「上田市社協オリジナルカレンダー」の作成 うさたまをテーマにしたカレンダーを作成し、自治会をはじめ、関係機関や社協法人会員へ1,000部配布した。</p> <p>5 エンディングノート「絆」の販売及びセミナーの開催 各地区センター窓口の他、市内(3カ所)書店に依頼し、販売を行った。</p> <p>販売数 115冊 (内書店販売数 32冊)</p> <p>書き方セミナー</p> <p>5月10日(木) 丸子ふれあいステーション 参加者 5人</p> <p>1月19日(土) 西部公民館 参加者12人</p>
課題・評価	
<p>隔月で発行している広報紙では、社協事業の紹介や講座、イベント等タイムリーに情報を発信するとともに、各地域での取り組みの紹介等、社協に対する市民の理解を得られるような紙面を心がけた。今後、より市民に分かりやすく必要とされる広報紙となるよう、内容や紙面の検討が課題である。</p> <p>イメージキャラクターの“うさたま”は、地域や施設のイベントへ出張依頼を受け、市民に喜ばれ受け入れられている印象を受けた。</p> <p>エンディングノートは社協窓口での販売に加え、引き続き、市内の書店3カ所での販売を行い、販売効果を上げることができた。また、エンディングノートについての出前講座も昨年より多く依頼を受けた。</p> <p>今後の課題として、より多くの市民や社協のサービスを必要としている方へ広報できるよう、ホームページの内容充実、パンフレットの作成をしていく。</p>	

福祉推進

1 社協お結びサポーター事業

事業概要	事業実績
<p>住民同士によるふれあい、支え合いの仕組みづくりをお手伝いするために、平成28年度から丸子・真田・武石の3地区をモデル地区として「社協お結びサポーター」を配置している。地域の福祉ニーズは何か、どんな福祉サービスが必要かを一緒に考え、人と人を結ぶ、人と地域を結ぶ、人と機関を結びつけるお手伝いをする。</p>	<p>30年度は、神科地区に2人に配置した。 現在、城下・豊殿・神科・丸子・真田・武石の6地区8人のお結びサポーターを配置しており、自治会行事へ訪問しての活動調査や地区福祉推進委員協議会活動への参加等の活動を行っている。 各地区内の自治会への訪問 31自治会 活動回数 124回 お結びサポーター連絡会議 6月25日（月）</p>
評価・課題	
<p>本年度新たに2人のお結びサポーターを配置することができた。活動としては、各自治会への訪問を中心に子育て支援事業の計画、養成講座への参加、地区福祉推進委員協議会活動などに関わっていただいた。 また、お結びサポーターの連絡会も開催や他地区でのサロン活動の見学等を行い、情報共有を行った。福祉推進委員の研修会や委嘱式の場などでの紹介は重ねてはいるが、今後も住民自治組織や地区社協、福祉推進委員の方々などと連携を取りながら配置拡大に努めたい。</p>	

2 地区社協住民会議

事業概要	事業実績
<p>地域住民が主体となって様々な問題を協議し、住民が相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すために開催されるものである。</p>	<p>東部 11月20日(火) 東部地区防災センター 46人 講演「すこやかな老後を過ごすために」 南部 9月27日(木) 祥園 43人 講演「人の尊厳と権利、認知症の人の思いを通じて」 中央 11月15日(木) 海野町会館 47人 講演「県北部地震 死者ゼロ白馬の奇跡」 北部 11月14日(水) 魚よし 63人 講演「小川 滋次郎博士から学ぶ」 西部 10月26日(金) 西部公民館 84人 講演「介護保険と高齢者のための福祉」 城下 10月27日(土) 城下地区防災センター 62人 講演・グループワーク 「ひとりひとりが健康に暮らし続けるために」 塩尻 11月15日(木) 塩尻地区公民館 34人 講演「認知症の取材と認知症の母を通じて思うこと」 川辺・泉田 10月30日(火) 川辺泉田防災センター 67人 住民支え合いマップ事例発表、グループワーク 神川 10月20日(土) 神川地区公民館 120人 講演「山本鼎と神川」 神科 9月9日(日) 上野が丘公民館 170人 地域福祉活動報告 講演「生活習慣病を予防する食生活」 豊殿 10月21日(日) 豊殿地域自治センター 100人 グループワーク「私たちは、10年後の豊殿のために」 塩田 11月16日(金) 塩田公民館 120人 実践発表「みんなのしおだ食堂」運営委員会について 塩田地域包括ケアシステム検討会について</p>

	<p>川西 10月18日(木) 川西公民館 64人 講演「健康長寿のふれあい地域づくり」</p> <p>丸子 11月 8日(木) 丸子文化会館 84人 講演「災害時から学ぶ地域の取り組み」 ～日頃からのつながりづくり～</p> <p>真田 10月27日(土) 真田総合福祉センター 89人 講演「災害クロスロードについて」</p> <p>武石 11月21日(水) 武石公民館 47人 講演「安心して老いを迎えられるまちづくり」</p>
--	---

評価・課題

各地区の住民会議では、グループワークを取り入れる地区も増えてきた。住民会議や総会は、集まった住民同士が地域のことについて話し合う機会であるため、こういった取り組みについても広報紙を利用し、各地区に情報発信ができるよう心掛けたい。

福祉推進委員の改選があったが、各支部の福祉推進委員の活動を、地区担当職員をはじめ、お結びサポーター配置地区については、お結びサポーターとも協力をしてサポートできるようにしていきたい。

3 住民支え合いマップづくりの取り組み

事業概要	事業実績
<p>住民支え合いマップは、地図上に災害時に高齢者や障がい者などで避難行動に支援が必要となる方々、いわゆる「要援護者」や、要援護者を支援する「支援者」、避難所、などの地域の資源などの情報を記載することにより、災害時の支援と日ごろの地域での支え合い活動、共助の仕組みづくりに活用するものである。</p>	<p>住民支え合いマップ作成実施自治会 協定書締結自治会数 1自治会 (合計168自治会) 住民支え合いマップ完成自治会数 3自治会 (合計206自治会)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

評価・課題

住民支え合いマップは、作成している自治会は増えているが、住民支え合いマップから日常の支え合い活動につながっていないことが多い。今後も作成や更新も含め、地域内での支え合い活動と住民支え合いマップを一体的に取り組みできるよう促していきたい。

地域ふれあい

1 地域ふれあい事業(市補助事業)

事業概要	事業実績
<p>地域の様々な人々がお互いに助け合い交流することにより、住民の連帯感を高め、それぞれの地域の特性に応じた福祉サービスを住民参加により自主的に推進し、明るく活力ある福祉社会を創造し、近隣のつながりを補うことを目的とした事業。</p> <p>この事業は、「ふれあいのまちづくり事業」として平成3年度から平成7年度までの5年間は、国の指定を受けて事業を進めた。指定終了後も、市の補助事業となり、平成15年から「敬老行事自治会委託事業」と統合され、名称が「地域ふれあい事業」となり、現在に至っている。</p>	<p>(1) 上田地区センター (数字は自治会数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 世代間交流に関する事業 …… 106 イ 生きがづくり事業 (茶話会、会食会、健康体操を含む) ……142 ウ マップ作り・更新 …… 16 エ 広報・啓発活動 …… 8 オ 学習講座 …… 18 カ 訪問活動 (配食含む) …… 39 キ 敬老会 ……128 ク ボランティア活動 …… 8 ケ 環境整備事業 …… 34 コ その他 …… 32 <p>(2) 丸子地区センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 世代間交流に関する事業 …… 26 イ 生きがづくり事業 (茶話会、会食会、健康体操含む) ……26 ウ マップ作り・更新 …… 2 エ 学習講座 …… 7 オ 訪問活動 (配食含む …… 18 カ 敬老会 …… 26 キ ボランティア活動 …… 5 ケ 環境整備事業 …… 13 コ 子育て支援 …… 13 サ その他 …… 23 <p>(3) 真田地区センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 世代間交流に関する事業 …… 7 イ 福祉講座・健康講座 …… 9 ウ 茶話会 …… 3 エ 会食会 …… 20 オ 交流会(児童) …… 7 カ 友愛訪問 …… 20 キ 施設訪問 …… 14 ク 敬老会 …… 7 ケ サロン …… 36 コ その他 …… 7 <p>(4) 武石地区センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 世代間交流に関する事業 …… 16 イ 施設視察・ボランティア …… 1 ウ 生きがづくり事業 …… 24 エ 交流会(児童) …… 4 オ 友愛訪問 …… 1 カ 環境整備 …… 5 キ その他 …… 5



評価・課題

(1) 上田地区センター

地域ふれあい事業は、福祉推進委員を推進役として、地域の特性に応じた様々な活動が行われている。地域ふれあい事業の中では、子どもを巻き込むことで、親世代の参加も見込め、普段は顔が見えない世代とも顔が見える関係ができると学校が長期休みの期間を利用して、いつも行っているサロンの形を変えて、子ども達と一緒にできる物作りを内容に取り入れ、そこで制作したものを学校の宿題として出された工作として提出できるように工夫したりしている自治会があった。新たに何か始めるのではなく、今あるものの形を少し変えるだけで、いつも参加しない世代も巻き込む工夫がされていた。このような取り組みを他の地域にも広げられるよう、地区担当職員やお結びサポーターを活用して周知していく。

- (2) 丸子地区センター
各自治会で地域の特徴を生かした世代間交流や伝統行事の開催ができた。地区によって活動に差異があり、地域の担い手不足が課題となっている。
- (3) 真田地区センター
各自治会において、それぞれ独自にサロン活動を行っており実施回数などには差がある。自治会によっては福祉推進委員がお結びサポーターのアドバイスをもらいながら一緒にサロンの企画を立て実施している事例もあることから地域内で情報共有し活動に役立てていきたい。
- (4) 武石地区センター
例年と同様に、福祉推進委員と自治会関係者・地域住民のみなさんの協力で計画した行事を推進することが出来た。新しい行事・新しい参加者を増やすことが課題となっている。

2 福祉推進委員

事業概要	事業実績
<p>「地域ふれあい事業」の推進役として、福祉推進委員を各自治会から推薦いただき社協会長が委嘱している。自治会役員、民生委員・児童委員と共に地域の実情に応じた様々な福祉活動を行っている。</p>	<p>(1) 福祉推進委員連絡協議会 6月19日(火)、12月11日(火)</p> <p>(2) 福祉推進委員全体研修会 7月11日(水) 講演 「支え合いの地域づくり 身近な地域の課題から」 講師 長野県社会福祉事業団西駒郷 専科講師 片桐 美登氏</p> <p>(3) 福祉推進委員講習会 内容 健康体操と脳トレ 講師 JA長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 健康運動指導士 岡田 克也 氏</p> <p>7月 23日(月) 上田市丸子ふれあいステーション 7月 30日(月) 上田市真田総合福祉センター 8月 8日(水) 上田市ふれあい福祉センター 8月 25日(土) 上田市ふれあい福祉センター</p>
評価・課題	
<p>(1) 上田地区センター 福祉推進委員の全体研修会の講演会については、身近な事例を含めての話だったため、参加者に実施したアンケートからも「難しく考えず、気軽に声を掛け合うようにしたい」といったことや「気になることが支え合いの始まりということが参考になった」等の回答があった。また、講習会についても参加者にアンケートを実施し、「自治会内で応用したい」、「地域で行ってみたい」といった回答があり、それぞれの自治会で取り入れてもらいやすい内容であったと思われる。物作りの講習会も行っていきたいとの要望もあったため、講習会の内容についてはなるべく福祉推進委員の皆さんが持ち帰りやすい内容を検討していきたい。</p> <p>(2) 丸子地区センター 丸子地区独自の研修会を開催し、ケアまるこの介護福祉士との学習交流会を行った。各自治会で実施しているふれあいの会やサロン事業などに関わり、地域の福祉活動の推進役となっている。しかし、自治会での福祉推進委員の立ち位置や役割が異なっていることが課題である。</p> <p>(3) 真田地区センター 各自治会のサロン事業への関りに加え、清掃ハイキングやふれあい広場inさなだなどのイベントにも積極的に参加していただいた。また、真田地域の福祉推進委員・福祉委員の合同研修会では、サロン事業等に生かしていただけるよう、城下地区でワンコインサロンを運営している竹内久子氏の講演を行った。今後も、先進事例に学びながら連携した福祉活動を進めていきたい。</p> <p>(4) 武石地区センター 福祉推進委員の全体研修会は、近隣の高齢者福祉センターを見学し施設内容・利用者の意見を聴くなどして有効であった。</p>	

ボランティア地域活動センター事業

事業概要

1 地域住民のボランティア活動に関する理解を深めるとともに、あらゆるボランティアとの協働による育成援助とその活動の推進を図ることを目的とする事業

(1) 相談

ボランティア活動をしたい人とボランティアの支援を必要とする人のための相談

(2) 広報啓発

ボランティア活動に関する情報の提供と啓発活動

(3) 育成援助

- ・福祉体験、ボランティア体験企画
- ・各種講座の開催

(4) 活動できる場の提供

- ・活動先の紹介
- ・ボランティアを必要とする個人や施設等からの要望を受け、活動希望者との調整

2 共同募金配分事業

(1) ボランティア育成事業（丸子地区）

ボランティアセンターの環境整備、強化を行う中で地域等で活躍するボランティアの発掘を図りボランティア育成のための各種ボランティア講座や研修会の開催を行いボランティアセンター活動の広報啓発と普及の充実を目的とする。

(2) 災害等の情報提供啓発事業（丸子地区）

丸子地域を対象に災害時における地域の支えあいを深めることを目的に、災害救援ボランティアセンター立上げ訓練や研修を行う。

(3) 地域活動推進事業（丸子地区）

地域活動を推進する際に社協と共に活動できる人材育成や様々な分野から地域でのニーズを拾い上げ住民サービスへと繋げる活動を行い住みやすい地域づくりへの取りかかりをねらい、地域での支えあいの仕組みづくりを目的とする。

1 上田ボランティア地域活動センター事業

事業実績

(1) ニーズの把握

- ア 相談活動によるニーズの把握
- イ 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- ウ 企業の社会貢献に関する状況把握

(2) 広報、啓発

- ア 情報提供
啓発のためのボランティアセンターパンフレット配布、ボランティアコーナー掲示板・社協ホームページでのボランティア情報提供、「社協うえだ」へボランティア情報の掲載
年6回（2月、4月、6月、8月、10月、12月）上田市内全戸へ配布

- イ 新聞等報道機関の活用

信濃毎日新聞、東信ジャーナル、信州民報、週刊うえだ、上田ケーブルビジョン等

- ウ 収集活動

使用済み切手 整理後、海外支援団体（ジョイセフ・日本キリスト教海外支援協力会）及び国内NPO法人（誕生日ありがとう本部）へ送付 43kg

- エ ボランティア保険等の普及、保険への加入促進

- ・ボランティア活動保険加入者 268件 3,397人
- ・ボランティア活動行事用保険加入者 36件 3,759人
- ・上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 1,855人

(3) 養成研修、組織化

- ア 各種講座の開催

- ・お話し相手ボランティア講座（全2回） 参加者56人

- イ 上田ボランティア連絡協議会の活動支援
 平成25年度から、事務局を上田ボランティア地域活動センターに設置し、事業の充実に向けて取り組んだ。
- ・子どもカフェなかんじょ開催 8月10日（金）
 - ・みんなの居場所しおじりオープン 9月30日（日）



(4) 社会資源活用、ネットワーク促進

- ア うえだ市民ふれあい広場
 実行委員会による事業の運営
- 5月25日（金） 第1回実行委員会
 - 7月26日（金） 第2回実行委員会
 - 9月17日（金） 第3回実行委員会
 - 9月22日（土） 第40回うえだ市民ふれあい広場開催
 場所 上田創造館
 - 10月26日（金） 第4回実行委員会
- 実行委員 45団体 約366人 学生ボランティア 24人
 来場者 約3,000人

- イ ひざ掛の配布
 製作 モチーフの会
 対象者：高齢者及び重度障がい者
 配布地区 中央地区84枚、城下地区183枚
 （配布地区は上田地区内を毎年順番に回している。）

(5) 福祉教育の推進

- ア 社会福祉普及校の指定
 内容： 児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に、小・中学校及び高等学校を対象に、社会福祉の普及を推進する。普及校1校に対し活動費50,000円の補助を行う。それぞれ地域の実情に合わせ、特性を生かした活動を展開した。

◇指定校：小学校16校、中学校6校、高校3校 計25校

◇社会福祉普及校連絡会議 6月21日（木）開催

- イ 出前福祉体験事業
 内容： 福祉体験を目的とした活動について、資料貸出、講師紹介及びハンディキャップ体験（車いす、アイマスク体験、高齢者擬似体験など）を学校等地域に出向いて行った。
- 対象： 小学校10件、中学校6件、高校1件、PTA2件、自治会1件、その他3件
 計23件 対象者1,418人



ウ 福祉体験プログラムの展開

- サマーチャレンジボランティア（対象中学生以上）
 内容： ボランティア活動を体験することにより、生徒、学生の視点から地域の課題を見つめ、自分たちが出来ることは何かを主体的に考え活動することを目的に実施した。

- ・事前研修
 7月21日（土） 上田市ふれあい福祉センター
 事前研修
 受入施設職員との打ち合わせ 参加者 158人
- ・施設でのボランティア体験活動
 7月27日（金）～8月17日（金）の間、一人1施設で1日～3日間の体験活動を行う。
- ・受入承諾施設 79施設 活動先施設 48施設
 参加者128人



○スプリングチャレンジボランティア(対象中学生以上)

内 容： 春季休暇を利用し、ボランティア活動を体験することにより学生の視点から地域の課題を見つめ、自分達に取り組めることは何かを主体的に考え活動できることを目的に実施した。

- ・事前研修
3月9日(土) 上田市ふれあい福祉センター
受入施設職員との打ち合わせ 参加者 163人
- ・施設でのボランティア体験活動
3月15日(金)～3月31日(日)の間、一人1施設で
1日～3日間の体験活動を行う。
- ・受入承諾施設 68施設 活動先施設 45施設 参加者135人

(6) 災害時の訓練、協力

災害救援ボランティア登録数 個人 60人 団体 5団体
災害救援ボランティア訓練及び研修
平成30年度
災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練
(市総合防災訓練と合同開催)
9月1日(土) 上田市立塩田西小学校体育館
災害ボランティア登録者27人参加

(7) ボランティア地域活動センター運営委員会

ア 運営委員会の開催
第13回上田市ボランティア地域活動センター運営委員会 平成31年3月25日(月)

別表

1 ボランティアニーズ状況

(1) 上田ボランティア地域活動センター事業

	施設 (件)	自治会 (件)	学 校 (件)	団 体 (件)	個 人 (件)	合 計 (件)
4月	5	10	2	5	9	31
5月	9	11	2	3	4	29
6月	9	4	1	5	7	26
7月	12	3	2	2	4	23
8月	7	4	1	0	8	20
9月	5	9	0	1	1	16
10月	14	4	7	3	6	34
11月	10	2	7	2	8	29
12月	7	0	2	2	6	17
1月	6	10	1	0	8	25
2月	2	9	0	0	8	19
3月	15	12	2	1	3	33
合 計	101	78	27	24	72	302

評価・課題

平成30年度ではボランティア連絡協議会主催で「子どもカフェなかんじょ」の開催や「みんなの居場所しおじり」の新規事業の取組みを行うことが出来た。また、スプリングチャレンジボランティアは平成29年度よりも参加者が増加し活気あるものになった。

課題として、ボランティアセンターやボランティアコーディネーターの存在を地域住民に定着させ、地域住民が気軽にボランティア活動に参加できる土壌をどう育てて行くかが課題である。

2 丸子ボランティア地域活動センター事業

事業実績

(1) ニーズの把握

- ア 相談活動によるニーズの把握
- イ 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- ウ 企業の社会貢献に関する状況把握

(2) 広報、啓発

- ア 新聞等報道機関の活用
信濃毎日新聞、信州民報、東信ジャーナル、週刊うえだ、丸子テレビ、丸子有線放送
- イ 「鈴木クワジ文庫」による啓発DVD、書籍などの貸出 (46件 94冊)
- ウ 収集活動
使用済み切手 整理後、日本キリスト教海外支援協力会へ送付 (30年度送付2回)
- エ ボランティア保険等の普及、加入促進
 - (ア) ボランティア活動保険 37件 520人
 - (イ) ボランティア活動行事保険 19件 1,088人
 - (ウ) サロン保険 6件 400人
 - (エ) 上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 495人

(3) 養成研修、組織化

ア 各種講座の開催

(ア) ボランティア講座

「レクリエーション講座からだづくり編」

- ・第1回 身の回りの物を使ってできる、『からだづくり!』

講師 東信レクリエーション協会

参加者 11人

- ・第2回 『ソフトスポーツをみんなでやってみよう!』

講師 東信レクリエーション協会

参加者 11人

(イ) ボランティア実践講座 「音楽レク講座」

講師 東信レクリエーション協会

参加者 14人



(ウ) 音訳ボランティア養成講座 4回連続講座

- ・第1回 発声・発音について
 - ・第2回 読みの実践1
 - ・第3回 読みの実践2
 - ・第4回 読みの実践3・ふりかえり
- 講師 星野照子氏
参加者 16人



(エ) 地域づくり講座 31年3月18日

- 講師 NPO法人 Happy Spot Club
代表理事 高山 さや佳 氏
演題 「地域と暮らす」～ あなたが、あなたである条件 ～
内容 誰もが住み慣れた地域で元気に暮らし続け社会とつながり求められる存在であるための方法を、先駆者の実践事例を伺いながら安心して暮らせる地域づくりについて学ぶ。
参加者 59人

(オ) 地域サロンの開催

丸子ボランティア地域活動センターで男性ボランティアグループの育成と地域交流スペースの活用とセンターの活動周知を目的に月1回「珈琲サロンさざなみ」を開催
参加者 383人

(カ) サロン活動についての視察受入れ

県内3団体 視察受入れ人数 75人

(キ) 丸子地域のふれあいの会等へレクリエーション用品の活用を呼びかける。

レク用品貸出 23件

(ク) 丸子ボランティア連絡協議会

加入団体 21団体 加入者数（個人ボラ含）832人

(4) 社会資源活用、ネットワーク促進

ア 丸子ボランティア連絡協議会の活動支援

(ア) いきいきフェスティバル2018健康と福祉の祭典)

6月29（土）

わたあめ、ポップコーンづくり、会場係他で参加30人

(イ) 清掃美化活動

6月23日（土）依田川河原のアレチウリ駆除活動 約200kg 参加者56人

(ウ) 研修（視察研修および県内研修を兼ねる）

11月3日、4日 ボランティア全国フォーラムin軽井沢

- ・1日目全大会 軽井沢大賀ホール 参加者8人
- ・2日目分科会 佐久平勤労者福祉センター他
- ・第1分科会 居場所・サロン
地域とともに育むサロンや縁側活動の魅力発信！
事例発表 丸子珈琲倶楽部 参加者9人
- ・第3分科会 多文化共生
お互いを知りこの地で暮らそう
- ・活動紹介 ゆうあいまるこ日本語教室 参加者1人



(エ) 視障協施術奉仕

上田市視覚障害者福祉協会との交流を兼ねる

9月2日（日）参加者15人

視障協会員5人によるマッサージサービス

(オ) げんきまるこ産業フェスタ2018

10月6日（土）バザー販売で参加 参加者6人

- (カ) 丸子災害救援ボランティア研修会
(丸子地区社会福祉協議会と共催)
11月8日(木) 参加者 84人
講師 NPO法人ローカル・コミュニティ
高田 克彦氏
演題 「災害時から学ぶ地域の取り組み
～日頃からのつながりづくり～」
- (キ) 丸子ボランティア連絡協議会定期交流会
12月1日(土) 参加者 56人
登録団体の活動紹介と講演会
講師 うえだミックススポーツクラブ
健康運動指導士 高野 秀樹氏
演題 「こころもからだもリフレッシュ」
内容 活動紹介17団体の発表
各団体が作成したパネル等にて発表
- (ク) 多文化共生事業「ワールドランチ交流会」
3月3日(日) 参加者67人
内容 異文化理解
日本の学校で防災について学んだ子どもたちによる「ぼくもわたしもわが家の防災士」と題して作文発表 7人
- (ケ) いきいきフェスティバル2018
6月30日(土)
わたあめ ポップコーンづくり他 スタッフ参加31人
- (コ) 丸子ボランティア連絡協議会代表者会
役員会・三役会へ参加
- (サ) 外国籍市民や母子家庭などへ支援米の配布
30年度配布数量359kg

イ その他活動の支援

- (ア) 丸子モチーフの会
独居高齢者等へモチーフの膝掛を配布 151枚(長瀬、依田、塩川地区)
- (イ) E-キャップの会(やさしい帽子の会)
闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供
提供数503枚
提供医療機関 上田医療センター、佐久医療センターおよび個人
- (ウ) 傾聴ボランティア・まるこ
傾聴の技術により話を聞いてほしい人に寄り添うボランティア活動
利用者(個人宅、高齢者施設) 196人
訪問件数 119件

(5) 福祉教育の推進

ア 社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、日ごろから助け合いの気持ちを育むことを目的として指定した。普及校1校に対し活動費50,000円までの補助を行う。(小学校4校、中学校2校、高校1校)

イ 出前福祉体験事業

内容: 学校や地域における福祉体験を目的とした活動について援助し、講師派遣、車いす体験、高齢者疑似体験などを行った。

対象: 中学校1件、企業1件 計2件 対象者34人

ウ 福祉体験プログラムの展開

(ア) サマー体験ボランティア2018

- ・内容: 夏の長期休暇等を利用して、福祉施設やボランティア団体での体験学習をとおして今後の学校や地域社会におけるボランティアのありかたを考える事を目的とし実施した。

- ・事前研修会
7月22日（土） 参加者 21人
活動先施設との事前打ち合わせ
研修 「みんなで楽しむレク講座」
講師 川西公民館社会教育指導員
塩沢 敏樹 氏
内容 施設、病院ボランティアおよびボランティア団体での体験
- ・受入れ施設、団体 7施設 5団体
- ・延べ参加者54人

別表

	施設		学校（保育）		その他		合計	
	ケース（件）	ボランティア（人）	ケース（件）	ボランティア（人）	ケース（件）	ボランティア（人）	ケース（件）	ボランティア（人）
合計	23	124	3	5	30	63	56	192

その他問い合わせ状況 1,250件（移送含む）

丸子ボランティアセンター利用状況

	使用団体	使用人数		使用団体	使用人数
4月	23	223	10月	22	195
5月	20	192	11月	25	262
6月	19	186	12月	17	188
7月	18	160	1月	20	242
8月	16	158	2月	26	264
9月	21	222	3月	21	221
			合計	248	2,513

評価・課題

(1) ボランティアセンター運営事業

丸子の特性を活かし、当センターを会場にサロンやボランティア活動拠点として利便性良く活用され、センターとして住民への周知がされてきている。一方ではボランティアの高齢化に伴う活動の縮小が起きておりボランティア団体の活動支援が間に合わない現状である。今後は、職員による素早いニーズへの対応や来所者に均等なサービスを提供できるよう検討していく必要がある。雇用延長時代、団塊世代のボランティア参加も減り活動に結び付く方法を見出せるのか職員体制も含め大きな課題である。

(2) ボランティア育成事業

ボランティア育成講座・ボランティア力を高める講座を開催。地域で活動するボランティアの支援を行った。また既存のボランティア新規受け手講座では団体の活性化に結び付いた。

ボランティア団体に高齢化が目立ちこれからの活動支援を行うとともに活動内容の柔軟な見直しが不可欠である。ボランティアをしたいと思いますと思わせる魅力ある手法を用いての講座作りが課題である。

(3) 災害等の情報提供啓発事業

災害時日ごろからのつながりが避難の際に大きな力となる。地区社協や自治会でも同じ課題に直面している。

このような状況から初めて共催での研修会を開催した。災害時に起こりうる事柄から行動へとつながる方法を学習した。地域における災害の取り組みをより一層深めることができた。継続的な啓発が必要な事業である。

(4) 地域活動推進事業

本年度は地域で暮らす事の重要性や困難な課題について学んだ。「地域」の概念が各々異なる事から個々の状況に応じた捉え方が必要である。マニュアル化することはできないが尊厳ある生き方ができる地域は多くの協力者の手を借りて作り上げることが可能である。住民同士が相互に支援しあう地域の在り方を継続的に探り続ける必要性があり大きな課題である。

3 真田ボランティア地域活動センター事業

事業実績

ボランティア・市民・学校・行政などさまざまな団体、個人からのボランティア活動に関する相談や問い合わせがあった。

(1) ニーズの把握

ア 社会福祉施設、ボランティア団体、NPO法人の把握

イ 相談による把握

(2) 広報、啓発

ア 啓発のためのチラシを作成し福祉体験授業に使用した。

(ア) エスコートガイド（車いす、アイマスク）

(イ) 高齢者疑似体験のチラシ作成

(ウ) イベントのチラシを全戸に配布

イ 収集活動（使用済み切手、アルミ缶、書き損じはがき、にあわせて啓発し協力した。

ウ 報道機関（信濃毎日新聞、週刊うえだ、東信ジャーナル、有線放送）を活用しボランティア活動等を周知し参加を呼び掛けた。

エ 福祉用具を学校へ貸出した。

アイマスク25枚

オ ボランティア保険の普及と加入促進

(ア) ボランティア活動保険加入 16団体 196人

(イ) ボランティア行事用保険加入 60件 2,081人

(ウ) 送迎サービス補償保険加入 150人

(3) 養成研修・組織化

ア 各種講座の開催

(ア) ボランティア講座 参加者 延べ人数7回 143人

関心があることから勉強していただき、家族、地域、そこからボランティア活動をしていただけるように、基礎的な知識や技能を学んでいただくための講座を開催した。

①5月15日（火）ハンドマッサージの実践

講師 宮島 智恵 氏

②5月29日（火）正しいスキンケアの指導

講師 宮島 智恵 氏

③6月11日（月）リンパマッサージの効果

講師 中沢 由美子 氏

④6月25日（月）リンパマッサージの効果

講師 中沢 由美子 氏

⑤7月10日（火）筆遊び

講師 西垣 智恵子 氏

⑥7月24日（火）筆遊び

講師 西垣 智恵子 氏

⑦8月1日（水）筆遊び

講師 西垣 智恵子 氏



イ ボランティア連絡協議会加入者数（団体14、施設2）

ウ サマーチャレンジボランティア、ふれあい広場、清掃ハイキングを地域の福祉施設、学校、地域住民、NPO法人と連携し開催することができた。

エ いきいきサロンへの協力

(ア) 講師や話の内容を説明した冊子を作成し、活用していただいた。また、講師の派遣や職員による劇を鑑賞していただき、社会福祉協議会の活動や事業を理解していただくことができた。

- (イ) 上中横道自治会、つくし自治会、中組自治会、十林寺自治会、四日市自治会、竹室自治会、下原自治会のいきいきサロンへ出向き、健康体操や手遊び、タオル犬などの小物を作り交流することができた。
- オ 地域清掃ハイキングを実施した。
福祉施設、福祉団体、学校、保育園、幼稚園、ボランティア団体、2社の企業の職員が参加し、真田地域の環境美化を守るため春と秋の2回計画したが、秋は雨天のために中止となった。また、特別養護老人福祉施設で豚汁の提供を受け、参加者全員で施設内の庭をお借りして、昼食を食べながら年代を超えての交流を図ることができた。
第46回 6月2日(土)
長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者 160人
第47回 9月1日(土)
長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者予定 79人(雨天のため中止)
- カ 第31回ふれあい広場inさなだへの参画
10月6日(土) 真田総合福祉センター、
真田体育館(3回実行委員会開催)
地域住民総参加で、世代を超えて交流を図ることができた。
また、住民からバザー用品の提供を受け、売上金の一部(200,060円)の内200,000円を社協の善意銀行に指定寄付(内訳100,000円北海道の胆振地震、真田地区センター100,000円、災害時等に使用するベスト50着購入)
一般入場者数500人(中学生ボランティア42人)
- キ 真田ボランティア連絡協議会の活動支援
(ア) 役員会、代議員会への協力
(イ) 平成31年2月9日(土)交流会開催
講師 塚原 成幸 氏
内容 つかていのおはなし♪
劇場と題し「紙芝居の上演とパフォーマンス」のお話をいただく。
また、ボランティア団体の発表も行われた。
- ク 福祉推進委員、福祉委員合同研修にいきいきサロン等で活用していただくよう資料の提供をした。



(4) 福祉教育の推進

- ア 福祉体験学習
(ア) 4月23日(月)
菅平中学校事前研修 1年生7人が参加
真田地域の福祉施設の見学を行い、自分がボランティア活動をしたい施設を調べた。
(イ) 5月9日(水)、10日(木)
菅平中学校1年生6人がボランティア体験
障がい者施設、デイサービスセンター、特別養護老人ホームで行った。
- イ サマーチャレンジボランティア
中学生を対象に、夏休みを利用してボランティア活動を行うきっかけ作りと、地域にはどのような施設があり、活動しているのか理解し、どのようなボランティア活動ができるのか考える機会にさせていただくことを目的に実施した。
(ア) 7月27日(金) 事前打ち合わせ
(イ) 7月30日(月) 8月3日(金)
デイサービスセンター、特別養護老人福祉施設、障がい者施設で体験 20人参加
- ウ 小中学生の福祉体験学習(出前講座)
(ア) 11月29日(木)
長小学校6年生、15人高齢者疑似体験
(イ) 12月7日(金) 真田中学1学年 42人車いす体験
真田中学1年生 40人アイマスク体験
(ウ) 12月18日(火) 真田中学1学年 40人車いす体験
真田中学1学年 42人アイマスク体験
(ボランティア2人にお手伝いいただく)

- (5) ボランティア活動状況
 ア デイサービスセンターへ個人ボランティア派遣 延べ人数 72人
 イ 小・中学校へ福祉体験個人ボランティア派遣 6人
 ウ 真田モチーフの会で高齢者、障がい者にモチーフを72枚民生委員さんを通じてお配りする。
- (6) 災害救援ボランティア研修
 ア 10月22日(月)参加者数 12人
 上田市菅平高原アリーナにて、上田市防災訓練に参加し、ボランティアの方と「災害救援ボランティアセンター立上げ訓練」を行う。ボランティア連絡協議会の研修で得た内容を体験していただく。

評価・課題

地域の特性を活かしながら様々な団体等と連携しボランティアの育成や講座の開催を行っている。また、新たな施設整備に合わせ自治会等の協力を得ながら地域に根差した育成にも取り組んだ。今後も様々な機会を捉えて育成や活動支援を進めていきたい。

4 武石ボランティア地域活動センター事業

事業実績

ボランティア活動の推進を図るとともに、地域住民のボランティア活動に対する理解と関心を深めるため、その育成と組織化を図ることを目指した。

- (1) ニーズの把握
 ア 相談活動によるニーズの把握
 イ 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
 ニーズ件数 30
 ウ 企業の社会貢献に関する状況把握
- (2) 広報、啓発
 ア 住民参加の地域内のごみ拾いや清掃など、ボランティア活動を通し啓発を進めた。
 イ ボランティア保険の普及、保険への加入促進
 活動保険 4人(年間)
 行事保険 401人(年間)
 サロン保険 880人
 上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 4人
- (3) 組織化
 ア 武石ボランティア連絡協議会加入者数
 団体 10団体 177人 個人 24人
- (4) 社会資源活用、ネットワーク促進
 ア 高齢者クラブ連合会女性部による高齢者福祉施設での洗濯物たたみや話し相手
 5月～11月 月2回 延べ参加者36人
 イ 団体によるデイサービス等への訪問活動
 ・JAフラダンス、神州流光吟道会、若水流玉峰会
 ウ 個人による施設などへのボランティア活動
 ・サックス演奏、夏祭りのお手伝い、児童館クリスマス会参加
 エ 高齢者クラブ員による老人福祉センター庭園の樹木の剪定や草刈りを行い、施設の景観整備に努めた。
 年2回 6月、9月 延べ参加者80人
- オ 武石ボランティア連絡協議会活動支援
 ・「おさんぽギャラリー」参加
 4月28、29日(土)(日) JAひだまり武石(縁が輪)
 飲み物コーナー担当 3人
 ・アレチウリ等駆除作業
 実施日 6月3日(日) 参加者 30人

- ・武石ボランティア連絡協議会交流会
実施日 6月3日(日) 参加者 20人
塩田平民話研究所 所長 稲垣有一氏 他2名による民話の朗読
会員による発表、会員相互の交流
- ・武石日赤奉仕団・ボランティア連絡協議会共催「救急法講習会」開催
実施日 2月2日(土) 参加者30人
「AEDを使用した救急法」
講師 日本赤十字社長野県支部
秋山恵子氏 水出秀子氏



(5) 福祉教育の推進

ア 社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に指定した。普及校1校に対し活動費50,000円までの補助を行う。(小学校1校、依田窪南部中学校については、長和町社会福祉協議会と合わせて1校25,000円の補助)

イ 福祉体験学習

依田窪南部中学校

近隣福祉施設に1年生から3年生希望者 体験学習 8月

武石小学校

地域活動として、デイサービスに訪問し、施設と利用者との交流体験

評価・課題

恒例の行事になっている、春季「アレチウリ駆除作業」、「交流会」と武石日赤奉仕団と共催の「救急法講習会」を実施した。また、個人・団体等のパフォーマンスボランティア活動も積極的に実施した。

課題としては、メンバーの高齢化により、活動の内容、範囲が狭くなったボランティア団体が見受けられる。

点字・声の広報発行事業(市受託事業)

事業概要	事業実績																																												
<p>市広報・議会だより、社協報の内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供を行う事業</p>	<p>1 点字広報</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">(1) 広報うえだ (月2回発行)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">利用者</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">25人</td> </tr> <tr> <td>(2) 議会だより (年4回発行)</td> <td style="text-align: center;">利用者</td> <td style="text-align: right;">9人</td> </tr> <tr> <td>(3) 社協うえだ (隔月発行)</td> <td style="text-align: center;">利用者</td> <td style="text-align: right;">25人</td> </tr> <tr> <td>(4) 丸子自治センターだより</td> <td style="text-align: center;">利用者</td> <td style="text-align: right;">9人</td> </tr> </table> <p>2 声の広報</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">(1) 広報うえだ (月2回発行)</td> <td style="width: 10%;">カセット</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">利用者</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">11人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">CD</td> <td style="text-align: right;">利用者 15人</td> </tr> <tr> <td>(2) 議会だより (年4回発行)</td> <td>カセット</td> <td style="text-align: center;">利用者</td> <td style="text-align: right;">20人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">CD</td> <td style="text-align: right;">利用者 10人</td> </tr> <tr> <td>(3) 社協うえだ (隔月発行)</td> <td>カセット</td> <td style="text-align: center;">利用者</td> <td style="text-align: right;">20人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">CD</td> <td style="text-align: right;">利用者 15人</td> </tr> <tr> <td>(4) 丸子自治センターだより</td> <td>カセット</td> <td style="text-align: center;">利用者</td> <td style="text-align: right;">9人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">CD</td> <td style="text-align: right;">利用者 2人</td> </tr> </table>	(1) 広報うえだ (月2回発行)	利用者	25人	(2) 議会だより (年4回発行)	利用者	9人	(3) 社協うえだ (隔月発行)	利用者	25人	(4) 丸子自治センターだより	利用者	9人	(1) 広報うえだ (月2回発行)	カセット	利用者	11人			CD	利用者 15人	(2) 議会だより (年4回発行)	カセット	利用者	20人			CD	利用者 10人	(3) 社協うえだ (隔月発行)	カセット	利用者	20人			CD	利用者 15人	(4) 丸子自治センターだより	カセット	利用者	9人			CD	利用者 2人
(1) 広報うえだ (月2回発行)	利用者	25人																																											
(2) 議会だより (年4回発行)	利用者	9人																																											
(3) 社協うえだ (隔月発行)	利用者	25人																																											
(4) 丸子自治センターだより	利用者	9人																																											
(1) 広報うえだ (月2回発行)	カセット	利用者	11人																																										
		CD	利用者 15人																																										
(2) 議会だより (年4回発行)	カセット	利用者	20人																																										
		CD	利用者 10人																																										
(3) 社協うえだ (隔月発行)	カセット	利用者	20人																																										
		CD	利用者 15人																																										
(4) 丸子自治センターだより	カセット	利用者	9人																																										
		CD	利用者 2人																																										
評価・課題																																													
<p>1 上田地区センター 点訳・音訳ともに、研修などを受け利用者の方にどのようにしたらわかりやすく広報を届けられるかを考え日々努力している。利用者の増加がみられないので、事業の周知をどのようにしていくのか考えたい。</p> <p>2 丸子地区センター 利用者の高齢化に伴い広報の利用が減少している。制度利用の対象者が限定されるが利用拡大に向けて広報の仕方を考えていきたい。</p>																																													

みまもり（声かけ）訪問事業

事業概要	事業実績
<p>少子高齢化、核家族化社会の中で、一人での暮らしや健康に不安をかかえている高齢者世帯が、住み慣れた地域で孤立することなく安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問を行っている事業</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	<p>丸子地区では少子高齢化、核家族化社会の中で、一人での暮らしや健康に不安をかかえている高齢者世帯が住み慣れた地域で孤立することなく、安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問を行い、助け合いの仕組みづくりを行った。</p> <p>1 実施内容 登録ボランティアが月2回程度利用者宅を訪問し、玄関先や軒先で日常の話をお聞きした。訪問にはお便りなどを届けている。</p> <p>2 対象者 65歳以上の方のみの世帯または同居されていても日中一人になる方で、介護保険サービスを利用されていない方 (登録利用者 4人)</p> <p>3 協力者 みまもり（声かけ）訪問事業登録ボランティア (登録ボランティア 29人)</p> <p>4 見守り訪問実績 (H25年11月から開始)</p> <p style="text-align: center;">※ 別紙参照</p>

利用状況

1 見守り訪問実績（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
訪問件数	8	6	6	6	8	5		
訪問ボランティア	15	11	12	11	12	8		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
訪問件数	6	5	5	5	6	8	74	
訪問ボランティア	6	6	9	7	12	16	125	

評価・課題

丸子地区の独自事業である「みまもり（声かけ）訪問事業」は、地域住民のボランティアによって支えられている。現在は登録制で行われているが、この事業が各地域に浸透し、日常的な支え合いの仕組みづくりに派生していくことを期待したい。

有償在宅福祉サービス事業

1 福祉移送サービス事業

事業概要	事業実績
通常バス、タクシー等の公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障がい者等（車いす利用者を含む）の外出の利便を図り、社会参加の促進及び社会福祉の向上に寄与するための福祉移送サービス事業 	(1) 上田福祉移送サービス事業 平成28年度 利用会員数 107人 協力会員数 13人 平成29年度 利用会員数 127人 協力会員数 13人 平成30年度 利用会員数 142人 協力会員数 11人
	(2) 丸子福祉移送サービス事業 平成28年度 利用会員数 49人 協力会員数 10人 平成29年度 利用会員数 30人 協力会員数 7人 平成30年度 利用会員数 38人 協力会員数 7人
	(3) 真田福祉移送サービス事業 平成28年度 利用会員数 18人 協力会員数 7人 平成29年度 利用会員数 6人 協力会員数 7人 平成30年度 利用会員数 13人 協力会員数 13人

利用状況

(1) 上田福祉移送サービス事業

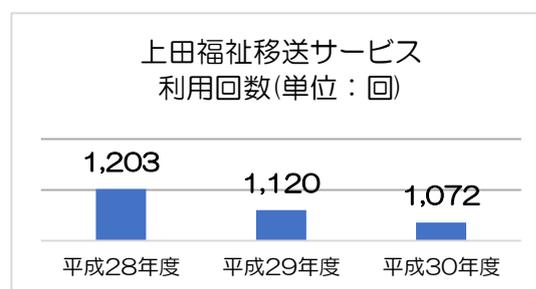
ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用回数(回)	86	95	82	95	102	89	
利用会員数(人)	19	20	20	25	23	23	
協力会員数(人)	4	4	4	5	4	4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	79	102	111	82	75	74	1,072
利用会員数(人)	21	26	30	21	23	18	269
協力会員数(人)	4	4	4	4	3	5	49

イ 上田福祉移送サービスの推移

利用回数(単位：回)

	延べ	月平均
平成28年度	1,203	100.2
平成29年度	1,120	93.3
平成30年度	1,072	89.3



利用会員数(単位：人)

	延べ	月平均
平成28年度	310	25.8
平成29年度	283	23.5
平成30年度	269	22.4



協力会員数(単位：人)

	延べ	月平均
平成28年度	51	4.2
平成29年度	56	4.6
平成30年度	49	4.08

上田福祉移送サービス
協力会員数(単位：人)



(2) 丸子福祉移送サービス事業

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用回数(回)	32	13	28	14	34	29	
利用会員数(人)	11	7	12	6	14	10	
協力会員数(人)	7	3	5	2	4	4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	46	34	41	35	35	36	377
利用会員数(人)	14	10	13	9	9	11	126
協力会員数(人)	6	2	5	4	5	5	52

イ 丸子福祉移送サービスの推移

利用回数(単位：回)

	延べ	月平均
平成28年度	675	56.2
平成29年度	351	29.5
平成30年度	377	31.4

丸子福祉移送サービス
利用回数(単位：回)



利用会員数(単位：人)

	延べ	月平均
平成28年度	157	13.0
平成29年度	119	9.9
平成30年度	126	10.5

丸子福祉移送サービス
利用会員数(単位：人)



協力会員数(単位：人)

	延べ	月平均
平成28年度	52	4.3
平成29年度	57	4.7
平成30年度	52	4.3

丸子福祉移送サービス
協力会員数(単位：人)



(3) 真田福祉移送サービス事業

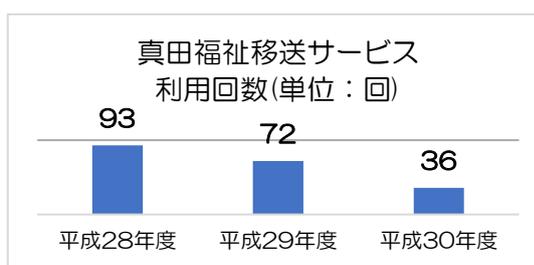
ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用回数(回)	4	2	1	5	2	1	
利用会員数(人)	2	1	1	1	1	1	
協力会員数(人)	2	1	1	3	2	1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	5	5	5	1	2	3	36
利用会員数(人)	1	1	1	1	1	1	13
協力会員数(人)	3	2	2	1	1	1	20

イ 真田福祉移送サービスの推移

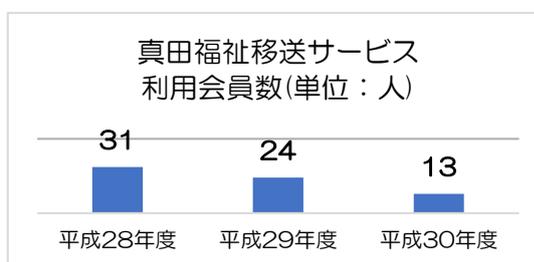
利用回数(単位：回)

	延べ	月平均
平成28年度	93	7.8
平成29年度	72	6.0
平成30年度	36	3.0



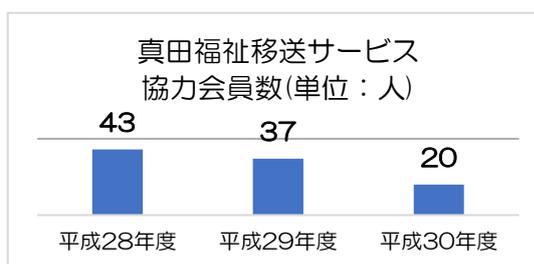
利用会員数(単位：人)

	延べ	月平均
平成28年度	31	2.5
平成29年度	24	2.0
平成30年度	13	1.1



協力会員数(単位：人)

	延べ	月平均
平成28年度	43	3.5
平成29年度	37	3.08
平成30年度	20	1.7



評価・課題

(1) 上田福祉移送サービス事業

広く社協の移送サービスも知られはじめ、利用者も増加してきている。定期的に移送の対応をお願い出来る協力員もおり安定している。

現在、上田地区では介助者を必ずつけてもらわないと送迎の対応が出来ないようになっている。独居の方の中には、介助者をつけられない方もいるので、送迎対応を検討する必要がある。

また、協力会員が減少し予約が一杯で受けられない方もいるため、協力会員を増やすことも検討していくべきである。

(2) 丸子福祉移送サービス事業

平成30年度丸子地域にあった移送事業者が撤退をしてしまいニーズの引き合いに対応しきれない。丸子の移送担当範囲に武石地域も含まれており対象者の増大に運転協力員の数が合わない。

毎年協力員の募集を行っているが、引き受け手が少なく担い手不足が課題である。

(3) 真田福祉移送サービス事業

市民の協力により成り立っている事業であり、協力会員のボランティア精神や支え合いの気持ちが広く地域に波及することを期待したい。

2 ご用聞きサービス事業

事業概要	事業実績
<p>上田市にお住まいの高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、日常生活を送る上で困っていることなどをご近所の助け合いや支え合いにより支援することを目的とした有償福祉サービスであり、平成22年2月1日から事業を開始した。現在、利用会員と協力会員とのマッチングを進め、多くの協力員の方に御協力をいただき活動を行っている。</p>	<p>平成30年度 協力会員の登録数 57人 利用会員の登録数 106人 利用回数 204件</p> <p>【活動内容の内訳】 買物代行 93件 部屋の掃除 4件 ゴミ出し 71件 草取り 10件 雪かき 5件 蛍光灯・電球の交換 1件 その他(枝切り、家周りの片付け、荷物運び等) 20件</p>

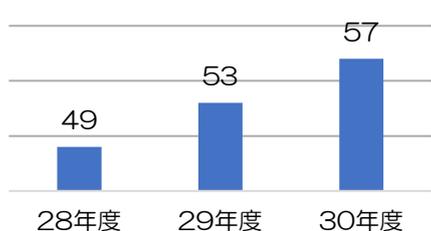
推移

2 ご用聞きサービス事業

(1) 推移

	28年度	29年度	30年度
協力会員の登録数(人)	49	53	57
利用会員の登録数(人)	93	98	106
利用回数(件)	299	193	204

協力会員の登録数(人)



利用会員の登録数(人)



利用回数(件)



評価・課題

依頼会員、協力会員とも例年並みの登録者増となった。地域によっては、依頼があっても協力者がおらず引き受けできないことや今までお願いしていた協力会員の高齢化等により、協力者を新たに探すことがあったが、見つからないこともあり、他の事業所を紹介することもあった。

事業の周知と協力会員の確保と共に自治会としての取り組みについても働きかけをしていく必要がある。

希望の旅事業

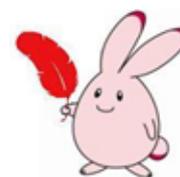
事業概要	事業実績
<p>日ごろ、旅行に出る機会が少ない在宅の重度障がい者の方に、社会交流の場とレクリエーションの機会をつくり、その体験を通じてより生きがいを高めることを目的に一泊二日または、日帰りの旅行を行う事業</p>	<p>日ごろ外出する機会の少ない重度障がい者とその介護者が、様々な土地の季節や風土、伝統を肌で感じ、また多くの人々とふれあい、社会参加することで生きがいを高め、より豊かで潤いのある生活を送ることを目的に実施した。</p> <p style="margin-left: 20px;">期 日 10月23日（火）、24日（水）</p> <p style="margin-left: 20px;">場 所 山梨方面</p> <p style="margin-left: 20px;">参加者 18人（障がい者9人、介護者9人）</p>
評価・課題	
<p>平成30年度は9組18人で山梨県に行った。時間にゆとりを持った行程となっており、障がい者の方もゆっくり山梨県の観光地を堪能できたと思う。また、ホテルもバリアフリーを推奨している場所であったため、参加者、随員職員ともに好評であった。</p> <p>課題としては、半数の参加者が固定化されているので、もっと積極的な周知が必要である。また、周知だけではなく、今までの一泊二日の旅行だけではなく、たとえば、スポーツ観戦やランチコースを食べる等、日帰り旅行の実施等も新規参加者の呼び込みにつながると思う。</p>	

在宅介護者リフレッシュ事業(市受託事業)

事業概要	事業実績																																				
<p>在宅で高齢者を介護している介護者の皆さんが、心身の疲れを癒し、元気の回復を図り、専門職からの相談援助や情報提供を受ける。また、同じ悩みや体験を持つ介護者同士の交流を図ることを目的として実施した。</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 20%;">日帰り</td> <td style="width: 20%;">期 日</td> <td>8月28日(火)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>場 所</td> <td>軽井沢</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>参加者</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>期 日</td> <td>11月16日(金)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>場 所</td> <td>ろくもん</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>参加者</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>1泊2日</td> <td>期 日</td> <td>10月15日(月)～16日(火)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>場 所</td> <td>新潟方面</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>参加者</td> <td>26人</td> </tr> </table>	1	日帰り	期 日	8月28日(火)			場 所	軽井沢			参加者	18人			期 日	11月16日(金)			場 所	ろくもん			参加者	24人	2	1泊2日	期 日	10月15日(月)～16日(火)			場 所	新潟方面			参加者	26人
1	日帰り	期 日	8月28日(火)																																		
		場 所	軽井沢																																		
		参加者	18人																																		
		期 日	11月16日(金)																																		
		場 所	ろくもん																																		
		参加者	24人																																		
2	1泊2日	期 日	10月15日(月)～16日(火)																																		
		場 所	新潟方面																																		
		参加者	26人																																		
評価・課題																																					
<p>日帰り旅行として今までになかった「ろくもん列車の旅」を取り入れることができ、募集定員を超えるほど好評であった。参加者も新規の方を増やすことができた。</p> <p>課題としては、圧倒的に女性参加者が多いため、男性も参加しやすいような内容も取り入れていけると良いと思う。アンケートの中に介護に関する講演等を行ってほしいとの意見もあったため、旅行の中で介護に関する内容のビデオを流したり、資料配布してみるのも良いと思う。</p>																																					

共同募金配分金事業

事業概要	事業実績																												
<p>戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民たすけあい」の精神を基に始められ赤い羽根共同募金運動は、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する上で大きく貢献してきた。</p> <p>半世紀以上過ぎた今でも、共同募金にお寄せいただく皆様の善意は、民間社会福祉施設や団体にとって貴重な活動財源になっており、毎年10月1日から各都道府県共同募金会が主体となって全国一斉に展開される共同募金運動に積極的に協力している。</p> <p>お寄せいただいた募金は、長野県共同募金会へ一旦集約され、配分決定のあった民間社会福祉施設、団体に翌年度配分される。</p>	<table border="0"> <tr> <td>平成30年度募金総額</td> <td>26,810,606円</td> <td>(目標額</td> <td>26,617,000円)</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>戸別募金</td> <td>24,329,806円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>法人募金</td> <td>1,534,725円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>学校募金</td> <td>291,716円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>職域募金</td> <td>129,400円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>街頭募金</td> <td>476,673円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>48,286円</td> <td></td> </tr> </table>	平成30年度募金総額	26,810,606円	(目標額	26,617,000円)	内訳	戸別募金	24,329,806円			法人募金	1,534,725円			学校募金	291,716円			職域募金	129,400円			街頭募金	476,673円			その他	48,286円	
平成30年度募金総額	26,810,606円	(目標額	26,617,000円)																										
内訳	戸別募金	24,329,806円																											
	法人募金	1,534,725円																											
	学校募金	291,716円																											
	職域募金	129,400円																											
	街頭募金	476,673円																											
	その他	48,286円																											



内訳

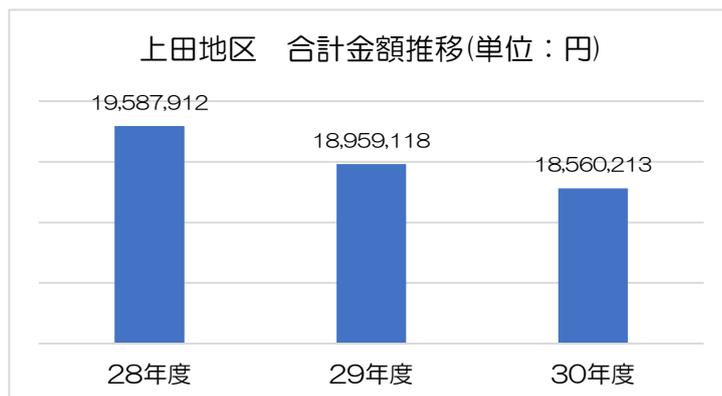
1 平成30年度内訳

	上田地区	丸子地区	真田地区	武石地区	合計
戸別募金	16,679,953	4,683,593	2,029,650	936,610	24,329,806
法人募金	1,166,430	300,295	65,000	3,000	1,534,725
学校募金	209,918	50,116	29,386	2,296	291,716
職域募金	76,809	27,389	15,535	9,667	129,400
街頭募金	413,817	42,088	14,118	6,650	476,673
その他	13,286	35,000	0	0	48,286
合計	18,560,213	5,138,481	2,153,689	958,223	26,810,606

2 経年推移

(1) 上田地区

	28年度	29年度	30年度
戸別募金	17,496,885	17,173,756	16,679,953
法人募金	1,313,908	1,132,660	1,166,430
学校募金	211,909	227,133	209,918
職域募金	80,530	84,636	76,809
街頭募金	326,203	331,794	413,817
その他	158,477	9,139	13,286
合計	19,587,912	18,959,118	18,560,213



(2) 丸子地区

	28年度	29年度	30年度
戸別募金	4,857,852	4,716,210	4,683,593
法人募金	308,334	371,325	300,295
学校募金	39,044	32,277	50,116
職域募金	20,245	21,904	27,389
街頭募金	27,349	47,758	42,088
その他	0	30,000	35,000
合計	5,252,824	5,219,474	5,138,481

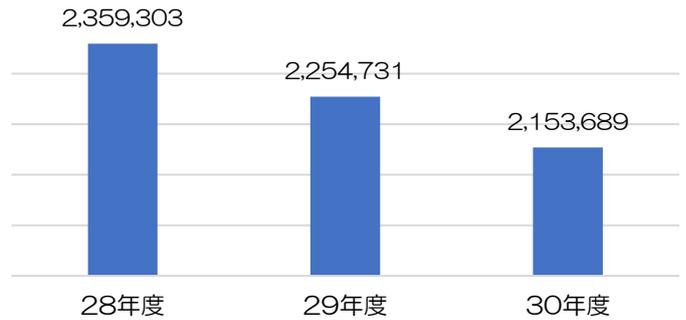
丸子地区 合計金額推移(単位：円)



(3) 真田地区

	28年度	29年度	30年度
戸別募金	2,243,056	2,146,006	2,029,650
法人募金	43,000	40,000	65,000
学校募金	31,244	23,549	29,386
職域募金	16,266	16,011	15,535
街頭募金	25,737	29,165	14,118
その他	0	0	0
合計	2,359,303	2,254,731	2,153,689

真田地区 合計金額推移(単位：円)



(4) 武石地区

	28年度	29年度	30年度
戸別募金	969,275	931,289	936,610
法人募金	3,000	5,000	3,000
学校募金	2,086	3,300	2,296
職域募金	9,653	14,454	9,667
街頭募金	12,931	9,355	6,650
その他	0	0	0
合計	996,945	963,398	958,223

武石地区 合計金額推移(単位：円)



(5) 合計

	28年度	29年度	30年度
戸別募金	25,567,068	24,967,261	24,329,806
法人募金	1,668,242	1,548,985	1,534,725
学校募金	284,283	286,259	291,716
職域募金	126,694	137,005	129,400
街頭募金	392,220	418,072	476,673
その他	158,477	39,139	48,286
合計	28,196,984	27,396,721	26,810,606

合計金額推移(単位：円)



評価・課題

赤い羽根共同募金は、戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民たすけあい」の精神を基に始められ、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する大きな役割を果たしてきた。

毎年10月1日から全国一斉に、「じぶんの町を良くするしくみ」をキャッチフレーズとして実施されている。

平成30年度の共同募金運動は、新規の法人開拓や募金箱設置等の協力を呼びかけた。社協職員にも広く呼びかけ街頭募金を行った。目標額には達成したものの年々、募金実績は減少の一途をたどっている。

今年度から2年間、共同募金改革推進モデル事業に取り組んでいる。上田市地域福祉計画及び上田市地域福祉活動計画と助成プログラムの連動を目的とし、現状の課題解決及び計画と連動した効果的な助成、募金と助成の循環にむけ、配分要綱の見直しの他、申請、報告書類等書式についても見直しを行った。引き続き地域の皆様に、募金活動の趣旨や募金の使用用途の周知方法や御理解いただけるような方法等を検討していき、配分団体においても共同募金の主旨を理解し活動していただけるよう周知に努める。

“まいさぼ上田” 上田市生活就労支援センター事業（市受託事業）

事業概要

平成27年4月から「生活困窮者自立支援法」が施行され、全国の福祉事務所設置自治体において生活困窮者に対する自立支援制度が実施された。

この制度は、社会経済の構造的変化に対応し、これまで十分でなかった生活保護受給者以外の生活困窮者への支援を抜本的に強化するもので、上田市では上田市社会福祉協議会が26年度のモデル事業に引き続き委託を受け、上田市ふれあい福祉センター内に「上田市生活就労支援センター“まいさぼ上田”」を設置、28年度からは任意事業である家計相談支援事業も受託し、主任相談支援員を兼ねた所長1人と相談就労支援員3人及び家計相談支援員1人を配置して生活困窮者に対する包括的な相談・支援を行っている。

1 生活困窮者自立生活支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等が困窮状態から早期に脱却するため、支援対象者の自立と尊厳を確保しつつ、その状況に応じて包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における早期把握のためのネットワークを構築し、支援対象者の自立・就労支援を促進する。

2 生活困窮者家計改善支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等のうち、家計収支の均衡が取れていないなど、家計の問題を抱えている支援対象者に対して、家計の視点から包括的かつ継続的な支援により、生活の改善を図ることで家計収支の改善や家計管理能力の向上を図る。

事業実績

平成26年度からの自立相談支援事業に加え、27年度からは住居確保給付金とコミュニケーション講座、28年度からは家計相談支援事業とフードドライブ、ひきこもりを対象としたしゃべり場の開設、29年度からはひきこもりの方の方のいる家族を対象としたペアレントトレーニング講座に取り組み、支援メニューを拡げながら生活困窮者に対する寄り添い型の相談支援を行ってきた。

30年度においては、ひきこもりの方の方のいる家族を対象に精神疾患や発達障がい、社会保障制度などについて学ぶペアトレぷらす講座や、当事者を対象にストレス対処法等について学ぶ自分磨き講座を新たに実施し、更なる支援メニューの拡大に取り組んでいる。特にひきこもりや就労経験のない者、長期失業者等に対しては、本人の興味や適性の方向から再評価した上で支援を行ってきており、結果として年間61件の就労に結びついた。

1 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新規相談者数(人)	20	19	21	19	21	24	
延べ相談者数(人)	116	111	111	111	99	126	
延べ相談件数(件)	484	467	463	480	458	482	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談者数(人)	22	19	21	16	24	19	245
延べ相談者数(人)	129	117	107	115	116	126	1,384
延べ相談件数(件)	521	559	473	448	450	510	5,795

2 相談者数及び相談件数の推移

(1) 新規相談者数(単位：人)

	人数
平成28年度	264
平成29年度	223
平成30年度	245

(2) 延べ相談者数(単位：人)

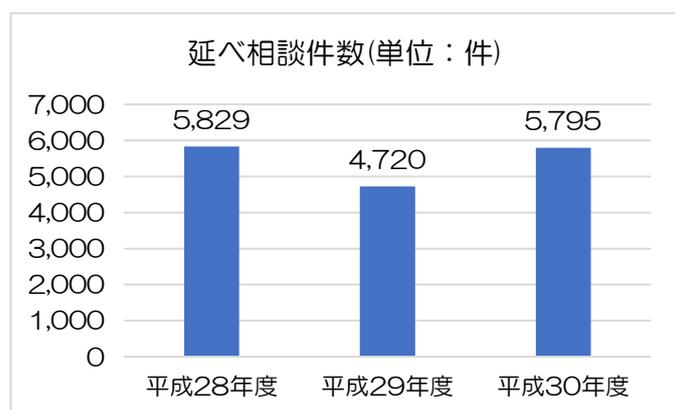
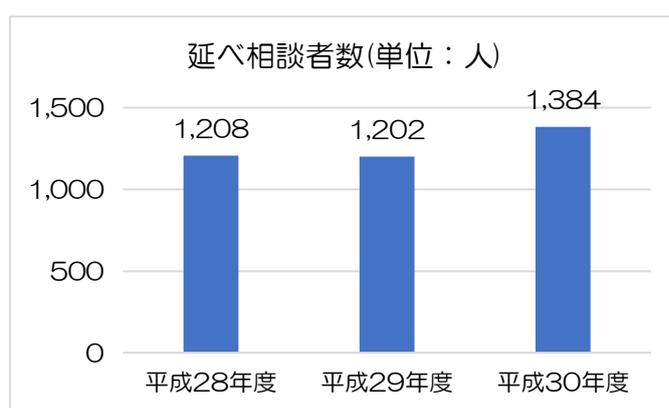
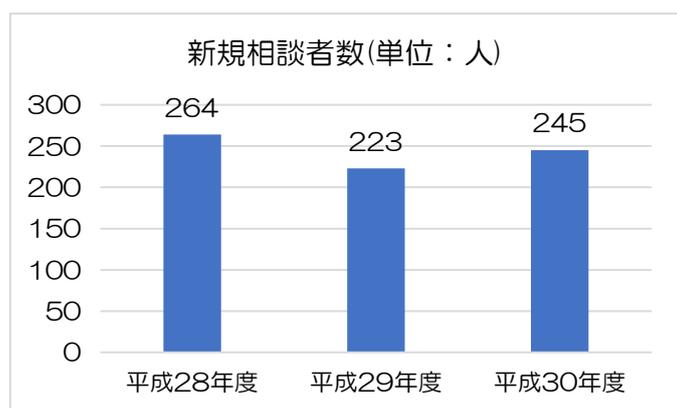
	人数
平成28年度	1,208
平成29年度	1,202
平成30年度	1,384

(3) 延べ相談件数(単位：件)

	件数
平成28年度	5,829
平成29年度	4,720
平成30年度	5,795

グラフ

相談者数及び相談件数の推移



評価・課題

モデル事業を含む5年間の事業を通して、関係機関や地域に対して一定程度の周知と理解が図られたと考えているが、本来が情報弱者である生活困窮者を対象とした事業であることから、支援から漏れる人のないよう、今後も周知活動への取り組みが必要と考える。

最近の支援対象者の動向を見ると、景気動向や求人倍率の上昇を受け新規の相談者数は多少の増減を繰り返しながらも減少傾向にあるが、恒久的な自立に至るケースは少ないため相談者全体の数は減っていない。“まいさぼ”の支援対象者については、障がいや能力だけでなく家庭状況や年齢、経験など複合的なハンディを抱えている人が多く、いきなり一般企業に就労することは難しいケースが多い。また就労に至る前段としての生活習慣や社会参加能力の形成や改善が必要な人、家計管理上の課題や整理が必要な人も数多くいる。こうした複合的な課題を抱えたケースに対応していくためには、一つの支援機関で自立相談支援、家計改善支援、就労準備支援の三事業を一体的に実施するとともに、これらの支援を有機的に結び付ける体制を、行政の協力を受けながら新たに構築していくことが必要となる。

1 生活困窮者自立生活支援事業

30年度の新規相談者数は245人で、前年度の新規相談者数223人に比べ若干増加している。また前年度からの継続相談者を含めた延べ相談者数は1,384人で、前年度の延べ相談者数1,202人と比べ増加傾向にある。

新規相談者数については、景気動向や求人倍率の上昇傾向を受け、全体的には多少の増減を繰り返しながらも減少傾向にあるが、一方で延べ相談者数の増加については、自立に至らない継続的な支援を必要とする人がまだ多くいることを示している。

30年度においてはこれまでの本人や家族を対象とした講座に加え、ひきこもりの方のいる家族を対象に精神疾患や発達障がい、社会保障制度などについて学ぶペアトレぷらす講座や、当事者を対象にストレス対処法等について学ぶ自分磨き講座を新たに実施し、更なる支援メニューの拡大に取り組んでいるが、現行の体制ではこれも限界になってきている。

2 生活困窮者家計改善支援事業

まいさぼの支援対象者については、障がいや能力だけでなく家庭状況や年齢、経験など複合的なハンディを抱えている人が多く、いきなり一般企業に就労することは難しいケースが多い。また就労に至る前段としての生活習慣や社会参加能力の形成や改善が必要な人、家計管理上の課題や整理が必要な人も数多くいる。

こうした複合的な課題を抱えたケースに対応していくためには、一つの支援機関で自立相談支援事業、家計改善支援事業を一体的に実施することが必要であり職員全員で取り組んできたが、こうした体制では結果として自立支援プランが優先され、家計支援プランの実績に結びつかなかった。

今後は、各担当業務の専門性の確立を図るとともに、その上で双方の支援を有機的に結び付ける体制を新たに構築していくことが必要となる。

上小圏域成年後見支援センター事業(4市町村受託事業)

事業概要	事業実績																																																																																				
<p>認知症・精神障がい・知的障がい等により判断能力の不十分な住民が安心して地域で生活できるように成年後見制度の利用促進及び啓発を行い、成年後見制度支援体制の構築し、住民の権利擁護を推進する。</p>  	<p>1 住民、実務者等からの成年後見制度に関する相談・手続き支援及び行政職員等からの成年後見制度に関する相談・市町村長申立支援</p> <p>※別表参照</p> <p>2 成年後見制度等の普及、啓発 (1) 説明会、講師依頼 12件 (2) 参加者 289人</p> <p>3 成年後見制度セミナー (1) 成年後見制度セミナー ～成年後見制度を身近に感じよう～ ・平成30年10月17日(水) 西部公民館大ホール ・内 容 成年後見制度の概要と現状について 専門職後見人の後見活動について ・参加者 121人 (2) 成年後見制度について学ぼう ～地域における成年後見制度の活用について～ ・平成31年2月21日(木) 東御市総合福祉センター ・内 容 高齢者していく地域を支えていくために 知っておきたい成年後見制度 ・参加者 155人</p> <p>4 市民後見人の養成 (1) 法人後見支援員の活動 平成29年度に市民後見人養成講座を受講し、全課程を修了した方の中から5人を選考し、法人後見支援員として委嘱した。職員と共に被後見人等への定期訪問や状況確認、預貯金の払戻しや支払い、ケース会議等にも出席し、実務経験を積んだ。</p> <p>5 成年後見人等第三者後見人の紹介・支援 弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士 他30件</p> <p>6 法人後見の受任 法人後見 新規受任14件(累計55件) 平成31年3月31日現在 受任数44件</p>																																																																																				
別表																																																																																					
1 平成30年度 相談件数及び相談者の状況(単位:件)																																																																																					
(1) 相談件数																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規相談</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>25</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>継続相談</td> <td>73</td> <td>72</td> <td>68</td> <td>73</td> <td>78</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>相談業務合計</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>78</td> <td>85</td> <td>103</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>法人後見業務総件数</td> <td>762</td> <td>741</td> <td>658</td> <td>635</td> <td>669</td> <td>614</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>843</td> <td>821</td> <td>736</td> <td>720</td> <td>772</td> <td>688</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	新規相談	8	8	10	12	25	12	継続相談	73	72	68	73	78	62	相談業務合計	81	80	78	85	103	74	法人後見業務総件数	762	741	658	635	669	614	総計	843	821	736	720	772	688	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規相談</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>25</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>継続相談</td> <td>73</td> <td>72</td> <td>68</td> <td>73</td> <td>78</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>相談業務合計</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>78</td> <td>85</td> <td>103</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>法人後見業務総件数</td> <td>762</td> <td>741</td> <td>658</td> <td>635</td> <td>669</td> <td>614</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>843</td> <td>821</td> <td>736</td> <td>720</td> <td>772</td> <td>688</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	新規相談	8	8	10	12	25	12	継続相談	73	72	68	73	78	62	相談業務合計	81	80	78	85	103	74	法人後見業務総件数	762	741	658	635	669	614	総計	843	821	736	720	772	688
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																															
新規相談	8	8	10	12	25	12																																																																															
継続相談	73	72	68	73	78	62																																																																															
相談業務合計	81	80	78	85	103	74																																																																															
法人後見業務総件数	762	741	658	635	669	614																																																																															
総計	843	821	736	720	772	688																																																																															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																															
新規相談	8	8	10	12	25	12																																																																															
継続相談	73	72	68	73	78	62																																																																															
相談業務合計	81	80	78	85	103	74																																																																															
法人後見業務総件数	762	741	658	635	669	614																																																																															
総計	843	821	736	720	772	688																																																																															

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	17	15	5	12	14	25	163
継続相談	126	67	74	72	56	72	893
相談業務合計	143	82	79	84	70	97	1,056
法人後見業務総件数	693	595	590	616	521	707	7,801
総計	836	677	669	700	591	804	8,857

(2) 方法別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
来所	11	9	6	1	18	10	
電話	48	47	52	67	64	46	
訪問	20	20	16	7	20	14	
ケース会議	0	4	4	9	1	3	
その他	2	0	0	1	0	1	
合計	81	80	78	85	103	74	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	23	9	6	11	5	23	132
電話	101	52	53	60	56	58	704
訪問	17	19	10	7	8	12	170
ケース会議	1	1	7	5	0	3	38
その他	1	1	3	1	1	1	12
合計	143	82	79	84	70	97	1,056

(3) 対象者別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
認知症高齢者	32	27	49	23	29	26	
知的障がい者	24	23	10	35	24	14	
精神障がい者	15	18	7	10	12	10	
身体障がい者	1	4	1	2	6	0	
複合	8	0	9	9	1	2	
任意後見	0	1	1	0	14	2	
その他	1	7	1	6	17	20	
合計	81	80	78	85	103	74	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症高齢者	24	16	13	15	8	21	283
知的障がい者	51	15	15	21	8	15	255
精神障がい者	25	20	39	38	22	13	229
身体障がい者	0	0	0	0	3	6	23
複合	29	13	3	0	0	5	79
任意後見	8	2	0	0	3	7	38
その他	6	16	9	10	26	30	149
合計	143	82	79	84	70	97	1,056

2 相談件数の推移（単位：件）

	新規相談	継続相談	法人後見業務	合計
28年度	182	1,336	2,632	4,150
29年度	122	1,149	5,789	7,060
30年度	163	893	7,801	8,857

3 方法別の推移（単位：件）

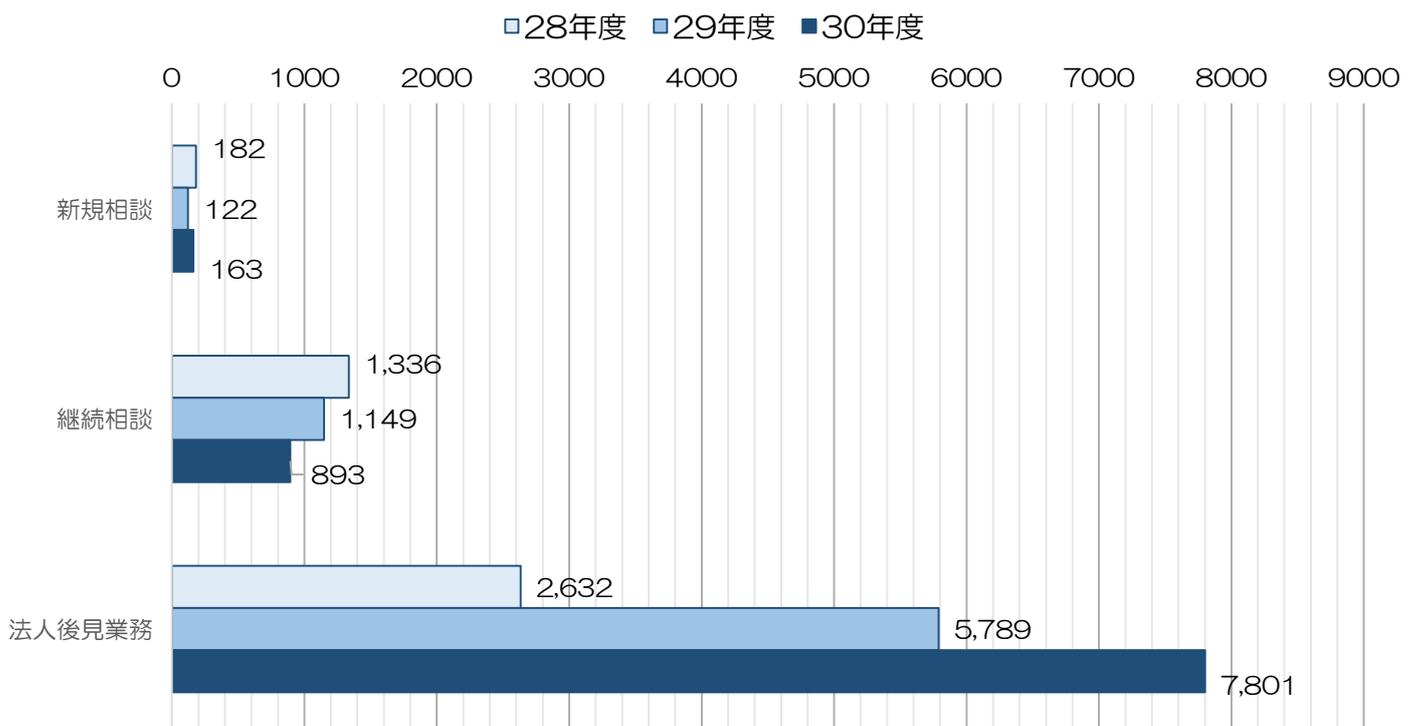
	来所	電話	訪問	ケース会議	その他	合計
28年度	114	1037	273	87	7	1,518
29年度	185	862	164	56	4	1,271
30年度	132	704	170	38	12	1,056

4 対象者別の推移（単位：人）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	複合	任意後見	その他
28年度	664	354	224	28	154	59	55
29年度	619	141	326	19	81	11	74
30年度	283	255	229	23	79	38	149

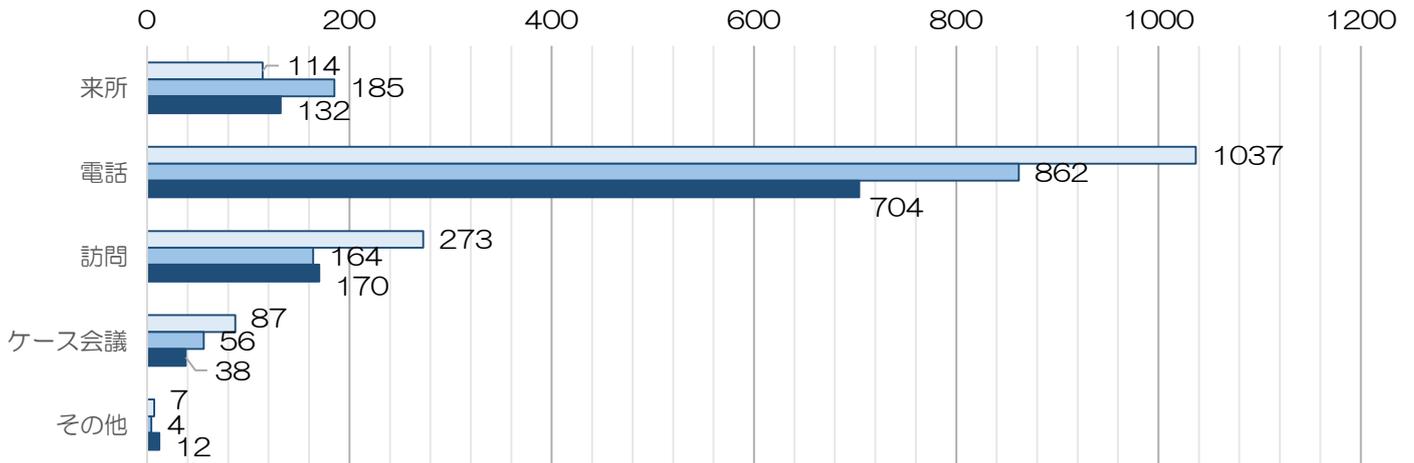
グラフ

上小圏域成年後見支援センター 相談件数の推移(単位：件)



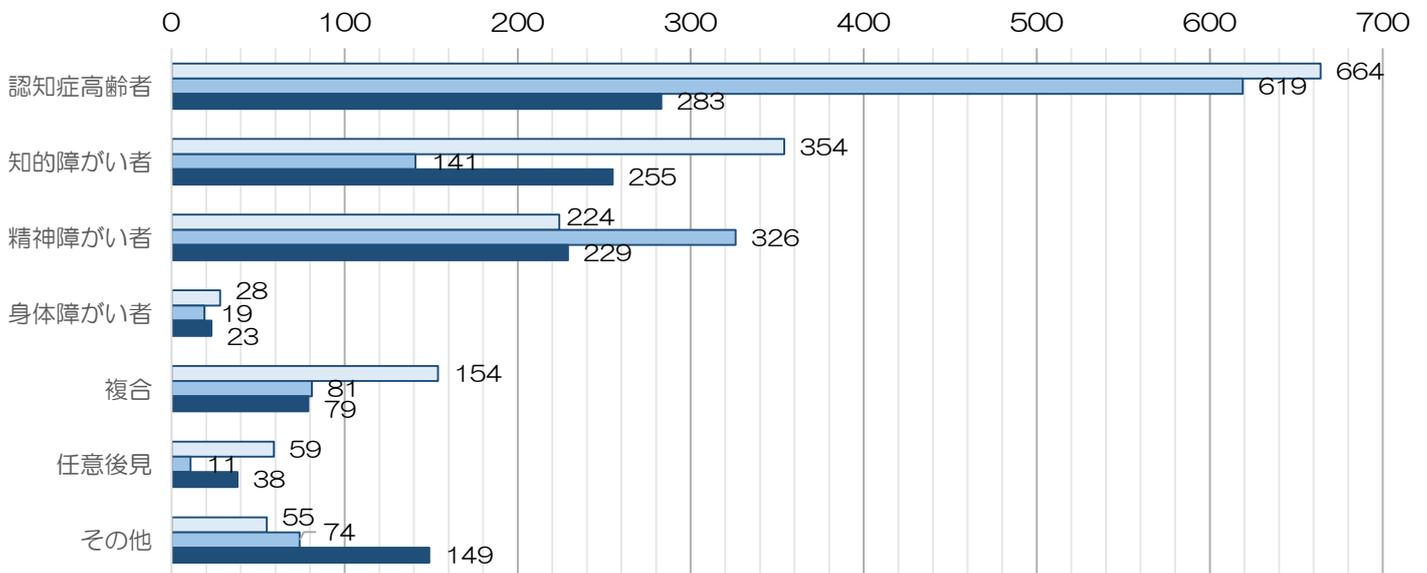
上小圏域成年後見支援センター 相談件数の推移(単位：件)

□28年度 □29年度 ■30年度



上小圏域成年後見支援センター 対象者別の推移(単位：人)

□28年度 □29年度 ■30年度



評価・課題

平成25年度から法人後見を受任してきたが、平成28年度から3年連続で年間10件以上を新規受任している。一方で、死亡等により法人後見業務が終了となるのは年平均2.75件である。新規相談件数は横ばいであり、団塊世代が70歳を超えてきた現状では、今後もますます法人後見に対するニーズは高まる一方と思われる。

しかし、当センターにおける相談業務割合として、受任件数が21件であった平成28年度では法人後見業務は63%程度であったが、受任件数が30件を超えた平成29年度からは法人後見業務は80%を超え続けており、新たなニーズに対応することが困難な状況となっている。

また、平成26年度から市民後見人の養成に取り組んでいる。関係機関との協議を重ね、平成31年2月に上小圏域で初の市民後見人が誕生した。増加するニーズに対応するためにも、後見人等の受け皿を広げていくことが喫緊の課題である。

相談事業

事業概要

どんな悩みでも、だれでも、いつでも、気軽に相談できる安心のネットワークの一環として、秘密厳守、相談はすべて無料で相談者と共に考え、良い解決方法が見つかることを願って実施している。

1 心配ごと相談事業

全市民を対象に様々な相談（介護、福祉サービス、家庭内の問題等）に応じ、関係機関と連絡を密にして、問題の解決に努める。

2 法律相談事業

弁護士による様々な法的な悩みを解決する無料の法律相談（予約制）

3 結婚相談事業

独身男女の出会いを提供するお手伝いとして、結婚相談や、婚活パーティーなどを行っている。上田地区と丸子地区で相談を行っており、どちらの窓口でも登録を受付けている。登録・相談いずれも無料。また、県内広域での紹介を希望する方は「ながのマッチングシステム」への登録も受け付けている。

事業実績

1 上田相談事業

(1) 心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・開設日数：244日
- ・相談件数：52件
- ・相談内容：家族のこと、生活（借金）のこと 他

(2) 電話相談「はればれ電話」

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・開設日数：244日
- ・相談件数：96件
- ・相談内容：近所とのトラブルや苦情、人間関係の悩み、医療のこと、パワハラ・労働のこと 他

(3) 法律相談（予約制）

- ・相談員：弁護士1人
- ・相談日：毎月第3土曜日 午前10時～正午
- ・開設日数：11日
- ・相談件数：46件
- ・相談内容：離婚、相続、金銭トラブル、不動産問題、労働問題、成年後見申立てについて、養子縁組について 他

(4) 結婚相談

- ・相談員：4人
- ・相談日：毎週水曜日午前10時～午後3時、
毎月第2・4土曜日午前10時～午後3時
- ・開設日数：74日
- ・相談件数：1,682件 来所者数(延べ)973人
- ・登録者(実活動者数) 男性475人 女性195人 計670人
- ・成立組数：見合い91組 婚約3組 結婚9組

(5) ながの結婚マッチングシステム

- 長野県内でマッチングシステムに登録者している男女を、インターネットで検索し紹介するシステム
- ・上田での登録者数 男性27人 女性6人
- ・相談来所者数(延べ)：158人
- ・お見合い7組
(お見合い場所 長野市3回 上田市3回 松本市1回)
- ・結婚 0組

- (6) お見合企画
- ・「Premium X' mas Party」
30代・40代の独身男女を対象
12月2日（土） 上田東急REIホテル
参加者 男性18人 女性19人
（応募 男性49人 女性21人）
カップル成立7組
- (7) 上田市結婚支援ネットワーク実行委員会
- ・婚活交流会・セミナー
10月28日（日）ザ・グランドティアラ上田高砂殿
参加者 55人 カップル成立8組
 - ・結婚相談員スキルアップセミナー
11月16日（金） 上田市西部公民館 相談員2人参加
「幸せな結婚に導くための支援の仕方」
講師 若井 順子氏（若井結婚センター所長）

2 丸子相談事業

- (1) 心配ごと相談
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
 - ・相談件数：26件
 - ・相談内容：近隣トラブル、親戚関係、家族関係、生活関係
- (2) 法律相談
- ・相談員：弁護士1人
 - ・相談日：2ヶ月に1回を目安に実施
午後1時30分～午後3時30分
 - ・開設日数：6日
 - ・相談件数：13件
 - ・相談内容：遺産相続、離婚、借金、金銭トラブル、家族問題 他

3 真田相談事業

- (1) 心配ごと相談
- ・相談員：1人
 - ・相談日：毎週月～金曜日
午前8時30分～午後5時15分
 - ・相談件数：4件
 - ・相談内容：離婚問題、家族関係他

4 武石相談事業

- (1) 心配ごと相談
- ・相談員：1人
 - ・相談日：毎週月曜日～金曜日
午前8時30分～午後5時15分
 - ・相談件数：2件
 - ・相談内容：生活困窮、家族関係

評価・課題

市民の方からの身近な相談窓口として様々な生活上の相談に応じ、内容によっては他の専門機関等と連携を図りながら、一人で抱え込まずに解決の糸口を見つけるよう努めた。

結婚相談では上田と丸子の相談体制を一本化させた新体制が定着し、成婚報告数が上がっている。行政や他団体と連携したイベントを行うとともに相談員のスキルアップにも力を入れたい。

日常生活自立支援

1 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

事業概要

上小管内を対象に、認知症の高齢者や障がい者の方で、判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助、また日常的な金銭管理のお手伝いをし、自立生活の支援を行う。

事業実績

(1) 相談内容（単位：件）

内 容	28年度	29年度	30年度
認知症のお年寄りに関する相談	1624	1,676	947
知的に障がいのある方に関する相談	2,914	5,093	4,840
精神に障がいのある方に関する相談	3,623	3,471	3,891
その他（成年後見制度に関する問い合わせ等）	9	37	59

(2) 方法（単位：回）

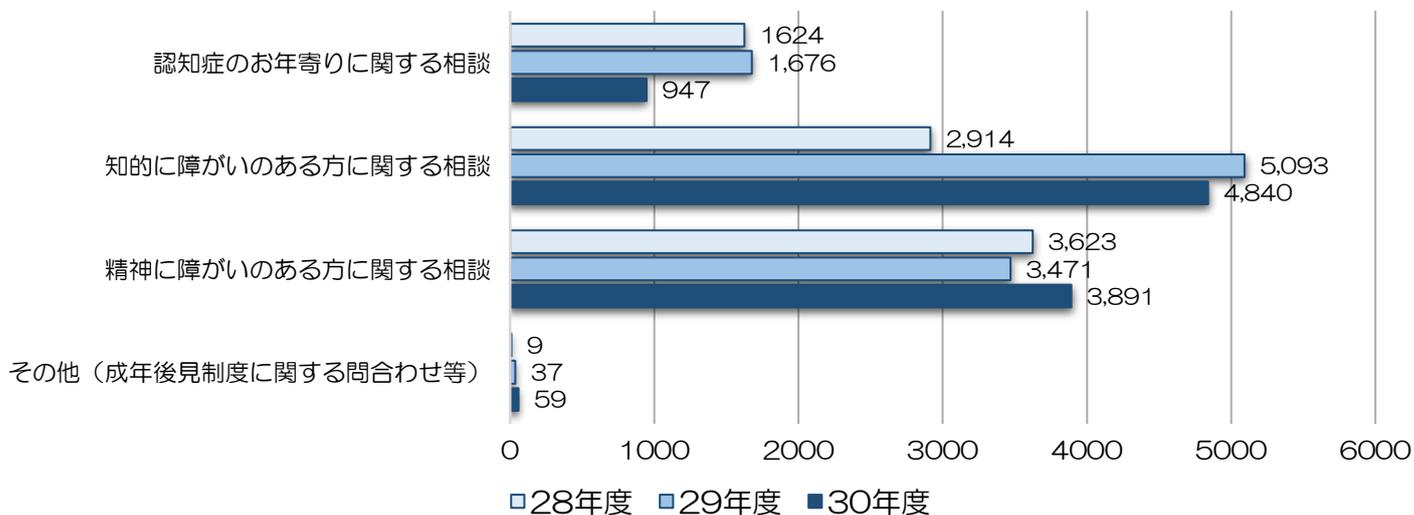
内 容	28年度	29年度	30年度
専門員訪問調査回数	91	284	268
生活支援員援助回数	1,905	1,924	1,928

(3) 契約状況（単位：件）

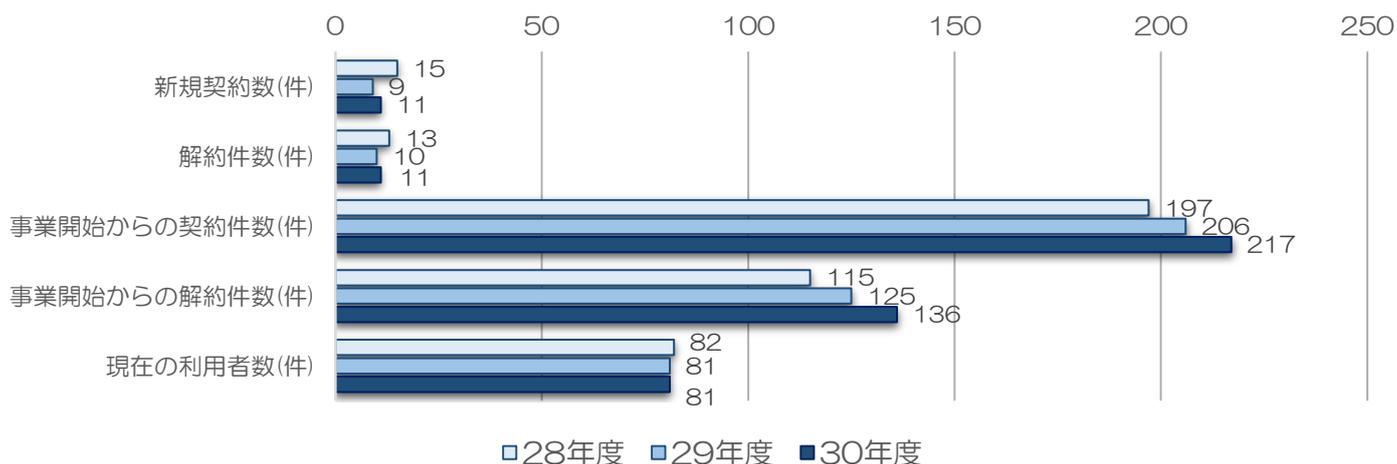
内 容	28年度	29年度	30年度
新規契約数(件)	15	9	11
解約件数(件)	13	10	11
事業開始からの契約件数(件)	197	206	217
事業開始からの解約件数(件)	115	125	136
現在の利用者数(件)	82	81	81

グラフ

相談内容（単位：件）



契約状況（単位：件）



評価・課題

親族の関わりが少ないため福祉サービスを一切利用していなかった利用者が、本事業を利用することによって日常生活が安定し、支援機関が少しずつ増えていっている。傾向としては判断能力はあるが、借金返済を含めた金銭管理が主の相談が増えてきている。

また、困難ケースに多くみられる傾向として、日常生活自立支援事業契約後、今まで関わってきた関係者が手を引いてしまい、支援者が社協だけになってしまう場合がある。

2 金銭管理・財産保全サービス

事業概要

高齢者や障がい者の方々が地域で安心して日常生活を送れるように、日常的な金銭管理サービスや書類をお預かりし、生活の支援を行う。

事業実績

契約件数

上田地区センター	0件
丸子地区センター	0件
真田地区センター	0件
武石地区センター	0件

評価・課題

日常生活自立支援事業で補完できるため、廃止の方向で検討している。

貸付事業

事業概要	事業実績																																																																																																	
<p>生活再建に向け、世帯構成の促進を図り、地域社会の福祉増進を図ることを目的に実施している事業</p> <p>1 たすけあい資金 要保護世帯又はこれに準ずる世帯に対し、応急的に貸付ける制度で、貸付限度額は5万円まで、無利子である。</p> <p>2 生活福祉資金(県社協受託事業) (1) 総合支援資金 失業等により生計の維持が困難になった世帯に対して、再就職までの生活資金として貸し付けるものである。</p> <p>(2) 福祉資金 低所得世帯等に対し自立生活を送る上で一時的に必要であると認められた場合に貸し付けるものである。</p> <p>(3) 教育支援資金 低所得世帯に対し高校、短大、大学または高等専門学校に就学するために必要な経費を対象とした貸付である。</p>	<p>低所得者、高齢者、障がい者を対象に資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、世帯の自立と更生に努めた。</p> <p>1 たすけあい資金 (1) たすけあい資金貸付状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>相談件数(件)</th> <th>貸付件数(件)</th> <th>貸付額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上田地区</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>丸子地区</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>真田地区</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>武石地区</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 生活福祉資金貸付状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>資金種類</th> <th>地区</th> <th>相談件数(件)</th> <th>貸付件数(件)</th> <th>貸付額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合支援資金</td> <td>上田地区</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>丸子地区</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>真田地区</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>武石地区</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">福祉資金</td> <td>上田地区</td> <td>157</td> <td>3</td> <td>286,000</td> </tr> <tr> <td>丸子地区</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>真田地区</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>武石地区</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>159</td> <td>3</td> <td>286,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">教育支援資金</td> <td>上田地区</td> <td>35</td> <td>2</td> <td>450,000</td> </tr> <tr> <td>丸子地区</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>真田地区</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>武石地区</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> <td>2</td> <td>450,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>209</td> <td>5</td> <td>736,000</td> </tr> </tbody> </table>	地区	相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)	上田地区	12	0	0	丸子地区	4	1	10,000	真田地区	1	0	0	武石地区	1	0	0	合計	18	1	10,000	資金種類	地区	相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)	総合支援資金	上田地区	11	0	0	丸子地区	3	0	0	真田地区	1	0	0	武石地区	0	0	0	合計	15	0	0	福祉資金	上田地区	157	3	286,000	丸子地区	0	0	0	真田地区	2	0	0	武石地区	0	0	0	合計	159	3	286,000	教育支援資金	上田地区	35	2	450,000	丸子地区	0	0	0	真田地区	0	0	0	武石地区	0	0	0	合計	35	2	450,000	合計		209	5	736,000
地区	相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)																																																																																															
上田地区	12	0	0																																																																																															
丸子地区	4	1	10,000																																																																																															
真田地区	1	0	0																																																																																															
武石地区	1	0	0																																																																																															
合計	18	1	10,000																																																																																															
資金種類	地区	相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)																																																																																														
総合支援資金	上田地区	11	0	0																																																																																														
	丸子地区	3	0	0																																																																																														
	真田地区	1	0	0																																																																																														
	武石地区	0	0	0																																																																																														
	合計	15	0	0																																																																																														
福祉資金	上田地区	157	3	286,000																																																																																														
	丸子地区	0	0	0																																																																																														
	真田地区	2	0	0																																																																																														
	武石地区	0	0	0																																																																																														
	合計	159	3	286,000																																																																																														
教育支援資金	上田地区	35	2	450,000																																																																																														
	丸子地区	0	0	0																																																																																														
	真田地区	0	0	0																																																																																														
	武石地区	0	0	0																																																																																														
	合計	35	2	450,000																																																																																														
合計		209	5	736,000																																																																																														

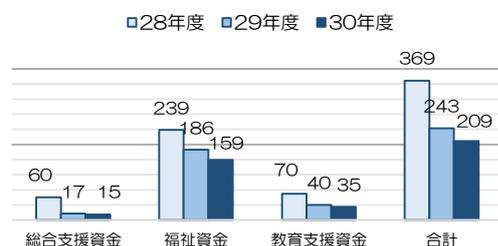
別表

生活福祉資金貸付状況の推移

1 相談件数(単位:件)

	28年度	29年度	30年度
総合支援資金	60	17	15
福祉資金	239	186	159
教育支援資金	70	40	35
合計	369	243	209

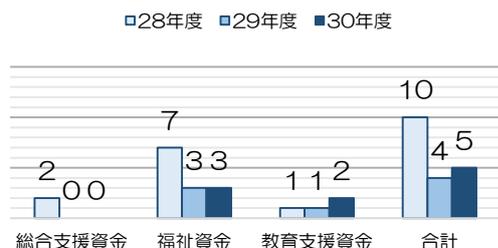
生活福祉資金相談件数(単位:件)



2 貸付件数 (単位：件)

	28年度	29年度	30年度
総合支援資金	2	0	0
福祉資金	7	3	3
教育支援資金	1	1	2
合計	10	4	5

生活福祉資金貸付件数 (単位：件)



3 貸付額 (単位：円)

	28年度	29年度	30年度
総合支援資金	625,000	0	0
福祉資金	706,000	369,000	286,000
教育支援資金	276,000	90,000	450,000
合計	1,607,000	459,000	736,000

貸付額 (単位：円)

□28年度 □29年度 ■30年度



評価・課題

たすけあい資金、生活福祉資金含めて、借受者のそれぞれの生活事情などもあり、なかなか償還計画通りに行っていないケースが多くある。また、たすけあい資金では、住所不明、連絡先不明等で、借受者に連絡がつかないケースが増えてきているため、行政等関係機関を含めた対応を検討していく。

児童館事業(市受託事業)

事業概要	事業実績																
<p>1 上田地区児童館</p> <p>この事業は、「児童福祉法」第40条に規定されている児童厚生施設として、上田市が設置した2児童館・6児童センターを平成9年度から上田市社会福祉協議会が管理運営している。児童館・児童センターは地域の子どもたちに安心して遊べる場を提供し、いろいろな遊びや活動を通して、健康で情操豊かな子どもを育てることを目的としている。</p> <p>開館時間は、平日は午後1時から午後6時まで、土曜日や長期休み等小学校の休業日は午前9時から午後6時までである</p> <p>2 丸子地区児童館</p> <p>開館時間：平日(5月～10月午後3時30分～午後5時30分、11月～4月午後3時00分～午後5時00分)</p> <p>長期休み：午後1時～午後5時(夏休みは午後1時00分～午後5時30分)</p>	<p>1 上田地区児童館</p> <p>近年、保護者の就労等で留守家庭が増えていることから、その対策として、小学校から直接来館する下校途中の利用、また平成17年3月の春休みからは、学校休業日に弁当持参での利用ができるようになっており、児童の放課後の居場所として、ますます重要度を増している。</p> <p>また、対応が難しい児童や特別な支援を必要としている児童の利用が増えているため、様々な研修会に参加し職員のスキルアップに努めた。</p> <p>(1) 地区懇談会</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">朝日が丘児童館</td> <td style="text-align: right;">5月15日(火)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">神科児童センター</td> <td style="text-align: right;">5月24日(木)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">緑が丘児童館</td> <td style="text-align: right;">5月21日(月)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">神川児童センター</td> <td style="text-align: right;">5月25日(金)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">大星児童センター</td> <td style="text-align: right;">5月22日(火)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">秋和児童センター</td> <td style="text-align: right;">5月29日(火)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">東塩田児童センター</td> <td style="text-align: right;">5月23日(水)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">川辺町児童センター</td> <td style="text-align: right;">6月11日(月)</td> </tr> </table> <p>(2) 研修会への参加</p> <p>子育て・子育て支援課主催 発達障がい支援者向け講演会 長野県生涯学習推進センター主催 地域の教育力向上研修会 ファミリー・サポート・センター講習会 (支援を必要としている子どもへの対応等)</p> <p>療育・発達部会 救急法講習会 感染症・食中毒、防火・防災対策研修会</p> <p>(3) その他</p> <p>年間を通して、季節や伝統の行事、工作や手芸、プレゼント作りなどの制作、ドッジボールや卓球、バドミントンなどの体育的活動、毎月のお話の会、囲碁将棋の会、講師によるコンサートなどを実施した。また毎月児童館だよりを発行し小学校に配布したほか、自治会にも回覧して地域の方に行事や活動への参加を呼びかけた。サマーチャレンジボランティア、スプリングチャレンジボランティア、また地域の方のボランティアや実習生の受け入れをした。</p>	朝日が丘児童館	5月15日(火)	神科児童センター	5月24日(木)	緑が丘児童館	5月21日(月)	神川児童センター	5月25日(金)	大星児童センター	5月22日(火)	秋和児童センター	5月29日(火)	東塩田児童センター	5月23日(水)	川辺町児童センター	6月11日(月)
朝日が丘児童館	5月15日(火)																
神科児童センター	5月24日(木)																
緑が丘児童館	5月21日(月)																
神川児童センター	5月25日(金)																
大星児童センター	5月22日(火)																
秋和児童センター	5月29日(火)																
東塩田児童センター	5月23日(水)																
川辺町児童センター	6月11日(月)																

利用状況

1 上田地区児童館

(1) 朝日が丘児童館

ア 平成30年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,544	1,488	1,523	1,477	1,271	900	
開館日数(日)	24	24	26	25	22	23	
1日平均利用者(人)	64.3	62.0	58.6	59.1	57.8	39.1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,357	1,300	1,223	770	793	1,209	14,855
開館日数(日)	26	24	23	21	23	25	286
1日平均利用者(人)	52.2	54.2	53.2	36.7	34.5	48.4	51.9

イ 推移

	利用者数(人)
平成28年度	13,870
平成29年度	14,159
平成30年度	14,855



	開館日数(日)
平成28年度	287
平成29年度	287
平成30年度	286



	1日平均利用者(人)
平成28年度	48.3
平成29年度	49.3
平成30年度	51.9

(2) 緑が丘児童館

ア 平成30年度利用状況

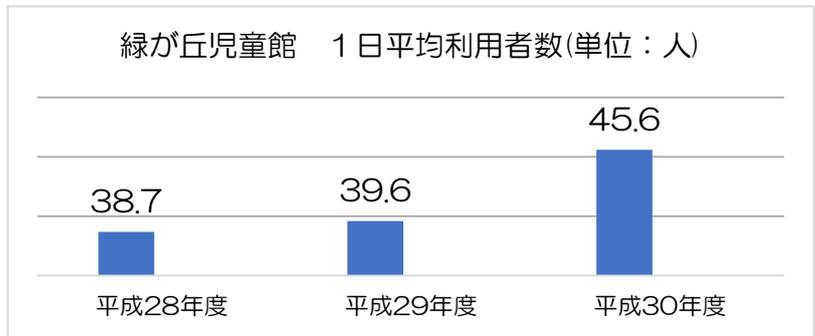
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,228	1,286	1,276	1,285	970	908	
開館日数(日)	24	24	26	25	22	23	
1日平均利用者(人)	51.2	53.6	49.1	51.4	44.1	39.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,220	1,124	1,100	828	834	994	13,053
開館日数(日)	26	24	23	21	23	25	286
1日平均利用者(人)	46.9	46.8	47.8	39.4	36.3	39.8	45.6

イ 推移

	利用者数(人)
平成28年度	11,109
平成29年度	11,368
平成30年度	13,053

	開館日数(日)
平成28年度	287
平成29年度	287
平成30年度	286

	1日平均利用者(人)
平成28年度	38.7
平成29年度	39.6
平成30年度	45.6



(3) 川辺町児童センター

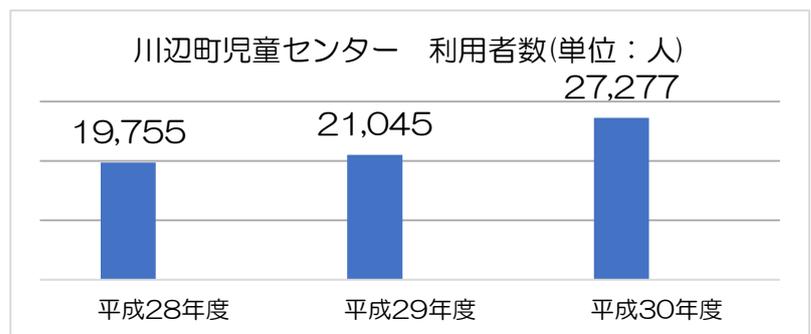
ア 平成30年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数(人)	1,954	2,635	2,655	2,611	2,438	2,018		
開館日数(日)	24	24	26	25	22	23		
1日平均利用者(人)	81.4	109.8	102.1	104.4	110.8	87.7		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
利用者数(人)	2,649	2,319	2,134	1,807	1,884	2,173	27,277	
開館日数(日)	26	24	23	21	23	25	286	
1日平均利用者(人)	101.9	96.6	92.8	86.0	81.9	86.9	95.4	

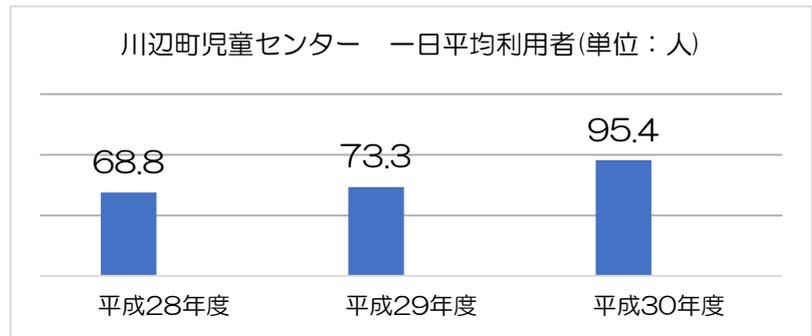
イ 推移

	利用者数(人)
平成28年度	19,755
平成29年度	21,045
平成30年度	27,277

	開館日数(日)
平成28年度	287
平成29年度	287
平成30年度	286



	1日平均利用者(人)
平成28年度	68.8
平成29年度	73.3
平成30年度	95.4



(4) 秋和児童センター

ア 平成30年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	695	659	727	643	581	501	
開館日数(日)	24	24	26	25	22	23	
1日平均利用者(人)	29.0	27.5	28.0	25.7	26.4	21.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	539	568	508	422	493	732	7,068
開館日数(日)	26	24	23	21	23	25	286
1日平均利用者(人)	20.7	23.7	22.1	20.1	21.4	29.3	24.7

イ 推移

	利用者数(人)
平成28年度	5,777
平成29年度	6,815
平成30年度	7,068



	開館日数(日)
平成28年度	287
平成29年度	287
平成30年度	286



	1日平均利用者(人)
平成28年度	20.1
平成29年度	23.7
平成30年度	24.7

(5) 東塩田児童センター

ア 平成30年度利用状況

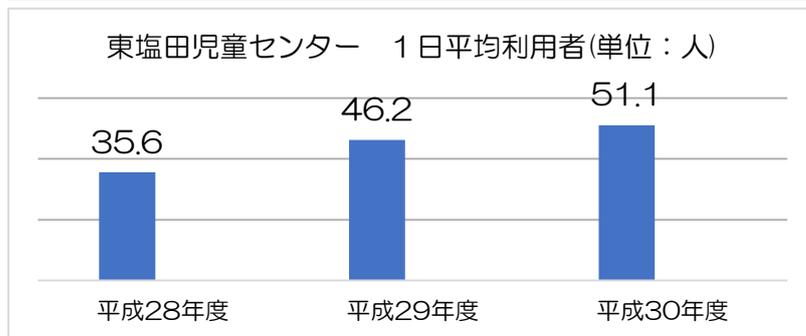
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,066	1,262	1,205	1,562	1,130	1,262	
開館日数(日)	24	24	26	25	22	23	
1日平均利用者(人)	44.4	52.6	46.3	62.5	51.4	54.9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,517	1,433	1,175	836	1,091	1,067	14,606
開館日数(日)	26	24	23	21	23	25	286
1日平均利用者(人)	58.3	59.7	51.1	39.8	47.4	42.7	51.1

イ 推移

	利用者数(人)
平成28年度	10,231
平成29年度	13,270
平成30年度	14,606

	開館日数(日)
平成28年度	287
平成29年度	287
平成30年度	286

	1日平均利用者(人)
平成28年度	35.6
平成29年度	46.2
平成30年度	51.1



(6) 大星児童センター

ア 平成30年度利用状況

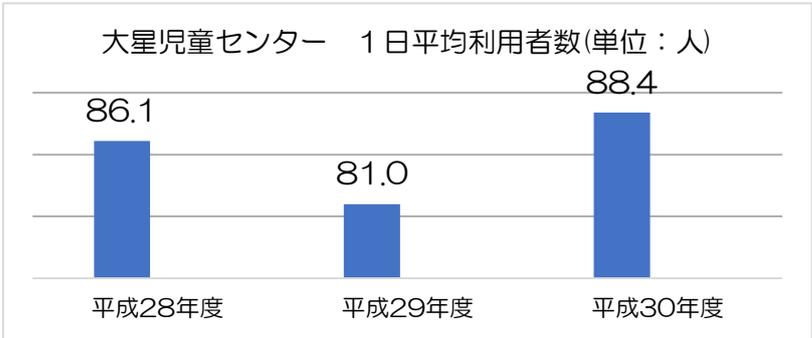
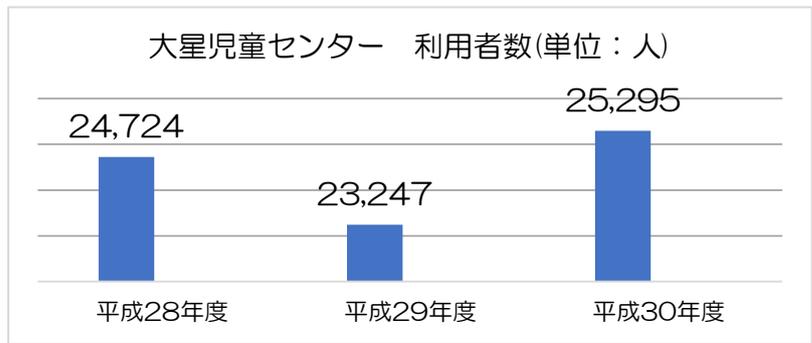
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	2,006	2,095	2,326	2,277	2,121	1,964	
開館日数(日)	24	24	26	25	22	23	
1日平均利用者(人)	83.6	87.3	89.5	91.1	96.4	85.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	2,505	2,426	2,224	1,558	1,854	1,939	25,295
開館日数(日)	26	24	23	21	23	25	286
1日平均利用者(人)	93.3	101.1	96.7	74.2	80.6	77.6	88.4

イ 推移

	利用者数(人)
平成28年度	24,724
平成29年度	23,247
平成30年度	25,295

	開館日数(日)
平成28年度	287
平成29年度	287
平成30年度	286

	1日平均利用者(人)
平成28年度	86.1
平成29年度	81.0
平成30年度	88.4



(7) 神科児童センター

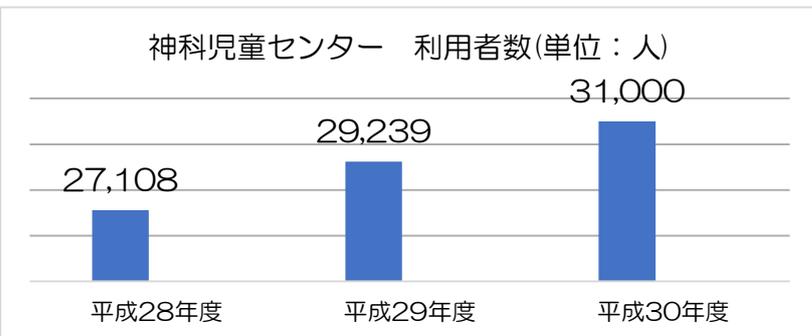
ア 平成30年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数(人)	2,605	2,836	2,984	2,873	2,428	2,376		
開館日数(日)	24	24	26	25	22	23		
1日平均利用者(人)	108.5	118.2	114.8	114.9	110.4	103.3		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
利用者数(人)	2,961	2,747	2,542	2,138	2,274	2,236	31,000	
開館日数(日)	26	24	23	21	23	25	286	
1日平均利用者(人)	113.9	114.5	110.5	101.8	98.9	89.4	108.4	

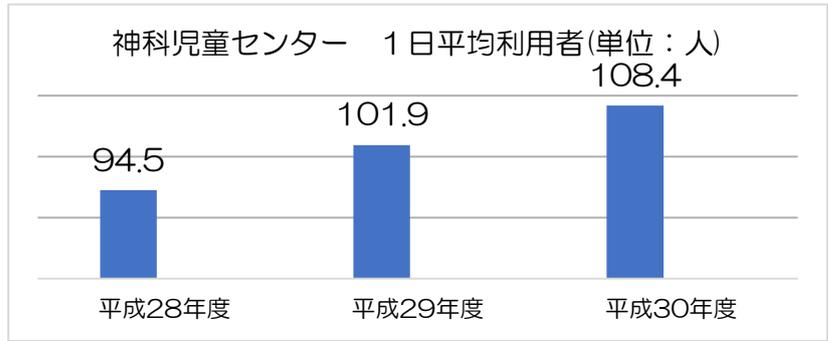
イ 推移

	利用者数(人)
平成28年度	27,108
平成29年度	29,239
平成30年度	31,000

	開館日数(日)
平成28年度	287
平成29年度	287
平成30年度	286



	1日平均利用者(人)
平成28年度	94.5
平成29年度	101.9
平成30年度	108.4



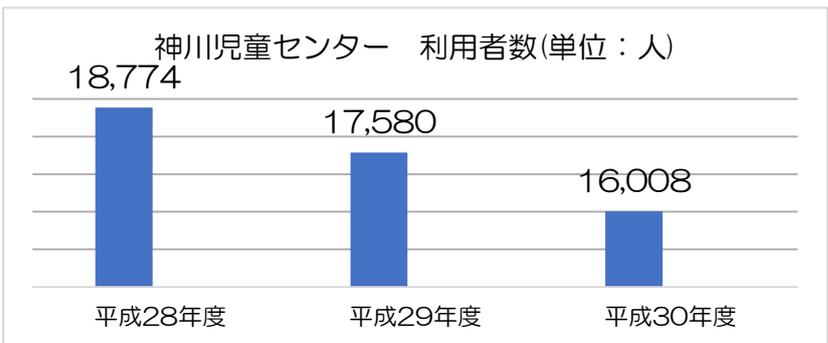
(8) 神川児童センター

ア 平成30年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,346	1,639	1,575	1,634	1,248	1,353	
開館日数(日)	24	24	26	25	22	23	
1日平均利用者(人)	56.1	68.3	60.6	65.4	56.7	58.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,541	1,346	1,188	871	1,001	1,266	16,008
開館日数(日)	26	24	23	21	23	25	286
1日平均利用者(人)	59.3	56.1	51.7	41.5	43.5	50.6	56

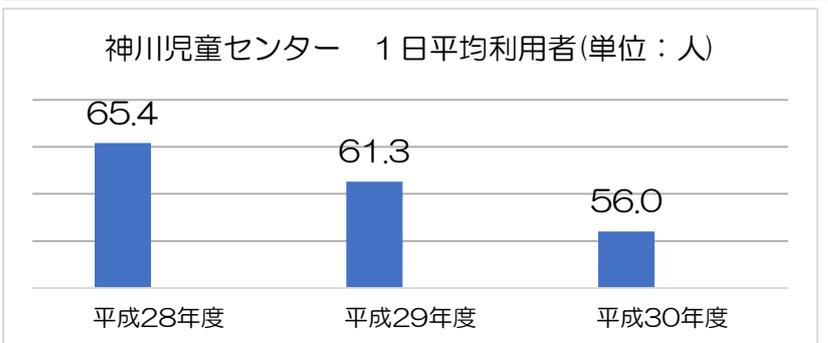
イ 推移

	利用者数(人)
平成28年度	18,774
平成29年度	17,580
平成30年度	16,008



	開館日数(日)
平成28年度	287
平成29年度	287
平成30年度	286

	1日平均利用者(人)
平成28年度	65.4
平成29年度	61.3
平成30年度	56.0



(9) 上田地区児童館(8館)

ア 月別合計

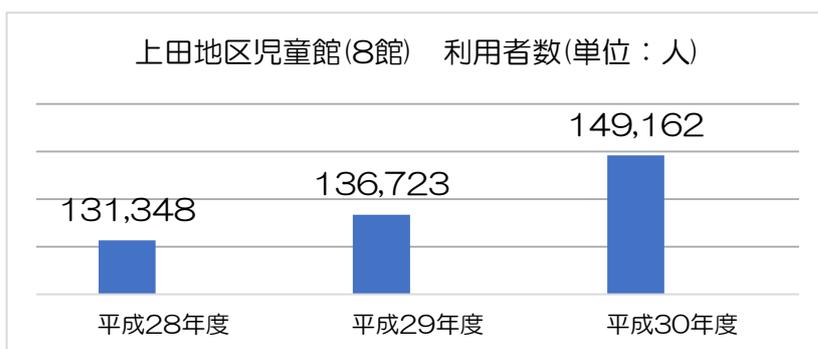
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	12,444	13,900	14,271	14,362	12,187	11,282	
開館日数(日)	192	192	208	200	176	184	
1日平均利用者(人)	64.8	72.4	68.6	71.8	69.2	61.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	14,289	13,263	12,094	9,230	10,224	11,616	149,162
開館日数(日)	208	192	184	168	184	200	2288
1日平均利用者(人)	68.7	69.1	65.7	54.9	55.6	58.1	65.2

イ 推移

	利用者数(人)
平成28年度	131,348
平成29年度	136,723
平成30年度	149,162

	開館日数(日)
平成28年度	287
平成29年度	287
平成30年度	286

	1日平均利用者(人)
平成28年度	57.2
平成29年度	59.5
平成30年度	65.2



2 下丸子児童館

(1) 平成30年度利用状況

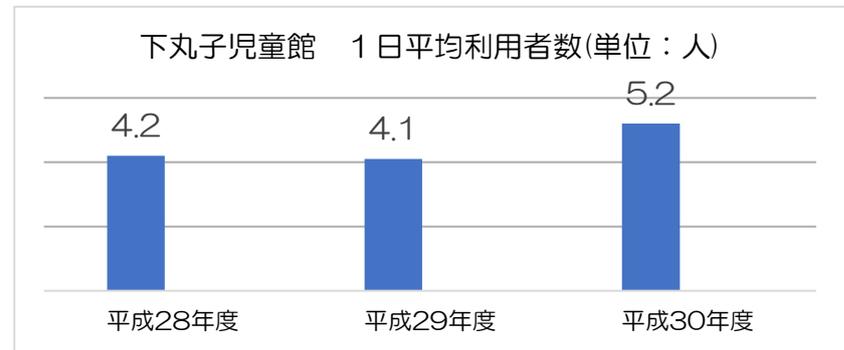
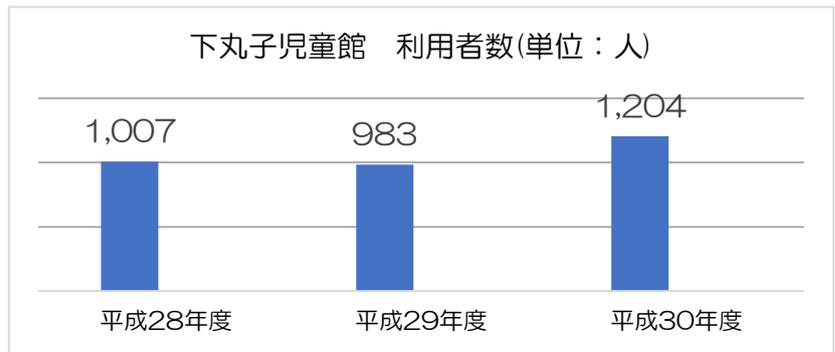
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	188	150	138	135	141	31	
開館日数(日)	20	20	21	22	23	11	
1日平均利用者(人)	9.4	7.5	6.6	6.1	6.1	2.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	85	80	81	42	41	83	1,195
開館日数(日)	21	20	19	16	19	20	232
1日平均利用者(人)	4.0	4.0	4.3	2.6	2.2	4.2	5.2

(2) 推移

	利用者数(人)
平成28年度	1,007
平成29年度	983
平成30年度	1,204

	開館日数(日)
平成28年度	286
平成29年度	287
平成30年度	287

	1日平均利用者(人)
平成28年度	4.2
平成29年度	4.1
平成30年度	5.2



評価・課題

児童館では、児童が期待を持って来館し、楽しく取り組めるような行事や活動（制作や様々な運動）を実施し、好評だった。

利用者人数は児童館の立地条件、地域性などにより差はあるが、保護者の就労に伴い、昨年度より増加した館が多かった。

毎月1回、施設内外の安全点検を実施し、危険箇所の早期対応に努め、避難訓練の実施や安全管理の研修会、救急法の講習会に参加し、安全管理に努めた。

発達障がい児童は、コミュニケーションが苦手、落ち着きがない、こだわりがある等の特徴があり、児童館の生活に慣れるまで、時間を要することもあった。職員は、発達障がいの研修会等に参加し、発達障がいへの理解を深め、対応の仕方等を職員間で話し合い、個々に合った分かりやすい支援に心がけた。また、必要に応じ、保護者、小学校、専門機関と連携を図ることで、徐々に落ち着いていった。

今後も、毎年現状を見直し、職員の資質向上に努め、児童や保護者の安心安全につなげていきたい。

地域子育て支援拠点事業【連携型、一般型】（市受託事業）

事業概要	事業実績															
<p>「子育てひろば」は、未就園児の親子を対象に子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育てができることを目的とした事業であり、上田市からの委託を受け、4か所の子育てひろば（連携型3か所、一般型1か所）を開設し運営している。</p>	<p>地域における子育て支援拠点として、親子で遊んだり、他の親子と交流したり、子育ての悩みなどを相談できる場としてサービスの提供をしており、様々な遊具や遊びの他、保護者のための講座や、親子で楽しめる遊びの講座を毎月1回以上実施した。</p> <p>また、自治会内の回覧や掲示をして、子育てひろばの利用方法や毎月の講座、ひろばの様子を知らせるなど周知に努めると共に、子育てひろばスタッフ研修会、救急法講習会、発達障がい研修会に参加し、職員の資質向上を図った。</p>															
	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>会 場</th> <th>開設曜日</th> <th>開設時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大星児童センター</td> <td>火・木・金</td> <td>9:30～12:30</td> </tr> <tr> <td>神科児童センター</td> <td>火・水・木</td> <td>9:30～12:30</td> </tr> <tr> <td>東塩田児童センター</td> <td>月・火・水</td> <td>9:30～12:30</td> </tr> <tr> <td>清明子育てひろば</td> <td>月・水・金</td> <td>9:30～14:30</td> </tr> </tbody> </table>	会 場	開設曜日	開設時間	大星児童センター	火・木・金	9:30～12:30	神科児童センター	火・水・木	9:30～12:30	東塩田児童センター	月・火・水	9:30～12:30	清明子育てひろば	月・水・金	9:30～14:30
会 場	開設曜日	開設時間														
大星児童センター	火・木・金	9:30～12:30														
神科児童センター	火・水・木	9:30～12:30														
東塩田児童センター	月・火・水	9:30～12:30														
清明子育てひろば	月・水・金	9:30～14:30														

利用状況

1 平均利用者数 推移

(1) 大星子育てひろば

	平均利用者数(人)
平成28年度	16.7
平成29年度	18.6
平成30年度	22.5



(2) 神科子育てひろば

	平成利用者数(人)
平成28年度	18.9
平成29年度	19.0
平成30年度	21.3



(3) 東塩田子育てひろば

	平均利用者数(人)
平成28年度	16.7
平成29年度	13.5
平成30年度	12.6



(4) 清明子育てひろば

	平均利用者数(人)
平成28年度	19.8
平成29年度	15.3
平成30年度	16.4



子育てひろば事業の評価等

各子育てひろばの特色によって、ひろばを選んで利用する親子が増えてきている。育児に不安や悩みを抱える母親にとって、母親同士で話をすることで気分転換できる場となっている。必要に応じて、上田市や専門機関等との連携をとっていった。

講座を楽しみに来られる方も多いため、身近なもので簡単にできるおもちゃの制作や母親がリラックスできるヨガやハンドマッサージ等の講座を実施し、利用者親子にとっても好評だった。

また、今年度初の試みとして、4つのひろばで合同の講座を設定した。いくつかのひろばを親子で楽しんで回り、ハロウイングッズが出来上がった。普段あまり行くことがないひろばに行く機会にもなり、楽しかったので来年度も続けて欲しいとの声が多かった。

地域によっては、利用者の減少傾向も見られるが、そのひろばならではの良さを活かして、親子にとって安心安全な子育てひろばを目指していきたい。

上田市ファミリー・サポート・センター事業(市受託事業)

概要	実績
<p>子育ての手助けをして欲しい人と、子育てのお手伝いをしたい人が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織。日常的な子育てのお手伝いのほか、子育てに関する講習会や会員相互の交流を深めるための交流会等を開催している。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	<ol style="list-style-type: none"> 1 前期講習会 5月11日(木) 18日(金) 23日(水) 24日(木) 延べ受講者 93人 2 後期講習会 10月11日(木) 12日(金) 17日(水) 18日(木) 延べ受講者 62人 3 第1回会員交流会 6月6日(土) 参加者 29人 内容「王鷲美穂さんの料理教室 ～夏野菜のゴロゴロ麴スープ&行楽ランチ～」 4 第2回会員交流会 8月9日(木) 参加者 21人 内容「体組成測定と筋肉トレーニング」 5 第3回会員交流会 11月10日(土) 参加者 25人 内容「体幹鍛えてキレイになろう！ピラティス」 6 第4回会員交流会 1月18日(金) 参加者 21人 内容「アロマでリフレッシュ！ ハンドマッサージとハーブティー」 7 フォローアップ研修会 2月21日(木) 参加者 52人 内容「プチ・コーチングセミナー ～人付き合いが楽になり、いきいきした毎日に！～」

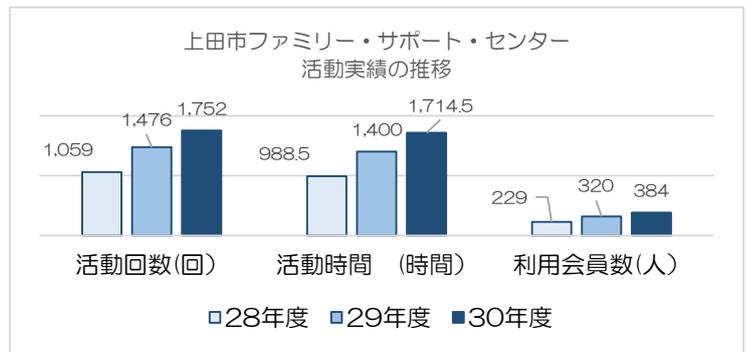
1 年間事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
活動回数(回)	109	126	136	139	134	138	170
活動時間 (時間)	107.5	120.5	124.5	133.5	127.5	140	92.5
利用会員数(人)	31	27	28	33	32	33	36

	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
活動回数(回)	191	166	137	130	176	1,752
活動時間 (時間)	178	160.5	129	137	164	1,714.50
利用会員数(人)	36	36	32	28	32	384

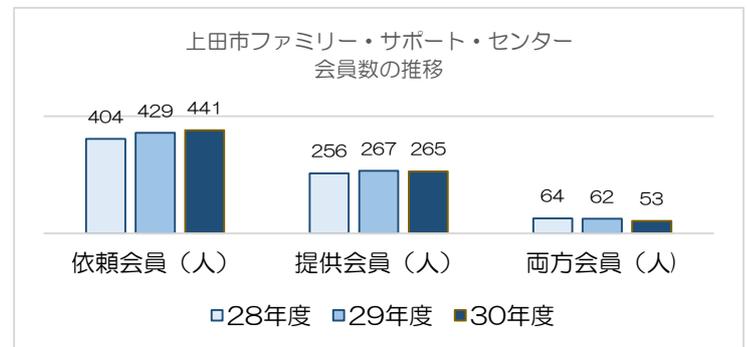
2 活動実績

	28年度	29年度	30年度
活動回数(回)	1,059	1,476	1,752
活動時間 (時間)	988.5	1,400	1,714.5
利用会員数(人)	229	320	384



3 会員数

	28年度	29年度	30年度
依頼会員 (人)	404	429	441
提供会員 (人)	256	267	265
両方会員 (人)	64	62	53



評価・課題

今まで前期講習会、後期説明会とも午後開催であったが、今年度から午前開催と午後開催で行い、少しでも多くの方に講習会へ参加していただきやすい工夫をした。

また、民生委員の定例会に出向き事業の周知を行ったほか講習会、交流会の周知にも力を入れたため、昨年度より参加者人数が増え行うことができた。

地域包括支援センター(市受託事業)

1 神川地域包括支援センター事業

事業概要	事業実績
<p>専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員の4人体制で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。</p> <p>(1) 高齢者の実態把握及び介護予防支援計画の作成 (2) 高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援 (3) 高齢者虐待防止及び早期発見、消費者被害防止等の権利擁護事業 (4) 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援 (5) 高齢者の社会参加や自立支援を促進するための地域活動への支援・啓発</p> <p>【神川地域包括支援センター共通目標】 地域住民、とりわけ福祉課題を抱えた高齢者の尊厳やその人らしい生活を支えるために、地域包括ケアシステムの構築に努める。</p> <p>(1) 総合相談窓口の機能を向上させる。 (2) 実態把握を通じ、ニーズにあった社会資源の開発に努める。</p>	<p>(1) 相談内容・人数(電話・来所・訪問) ※別表参照</p> <p>(2) 事業内容※別表参照</p> <p>(3) その他 ア 地域リハビリテーション活動支援事業の推進を図るとともに、活動拠点を大幅に増やし、住民の皆さんの生きがい活動の増進と健康寿命の延伸に役立てていただくことが出来た。(14地域で実施) イ 介護予防地域支援事業として「軽い体操と頭のトレーニングについて」「熱中症予防について」「介護保険について」等、地域で講座を開催した。 ウ 認知症の正しい理解をしていただき、地域での見守り活動へつなげてもらうために、地元中学校や地域住民を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。(3回開催 105人参加) エ 地域の介護支援専門員(ケアマネージャー)が抱える困難な事例についての支援・アドバイスをはじめ、研修会の実施やネットワーク作り等、要支援・要介護高齢者等を支えるケアマネージャーの支援に努めた。 オ 担当区域の民生委員・児童委員会定例会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と支援のための関係づくりに努めた。 カ 地域ケア会議(個別・推進)を開催し、地域包括ケアシステム構築の推進に努めた。(5回開催) キ 福祉教育の一環として、福祉推進委員連絡協議会や自治会役員会等、地域に出向き、地域福祉推進の取り組みをはじめ地域包括ケアシステム並びに地域包括支援センターの役割について説明し、協力を求めた。 ク 実態把握調査を実施し、その後のニーズに対して連携を図りながら円滑に支援が行えるよう取り組んだ。 ケ 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。 コ 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。 サ 「神川包括だより」を発行し、地域包括ケアシステムにおける地域包括支援センターの役割や健康寿命の延伸、地域で行われている福祉活動の紹介、介護保険制度や消費者被害防止等の情報提供に努めた。(年4回 自治会回覧) シ 地域密着型施設の運営推進会議に出席し、利用者が安心して利用できるようサービス向上への取り組みに努めた。(9施設) ス 看護学生並びに社会福祉士・精神保健福祉士等の医療・福祉の国家資格取得を目指す実習生の受け入れを行い、これからの地域福祉・医療の支え手となる人材育成に協力した。</p>

別表

(1) 相談件数の推移(単位：件)

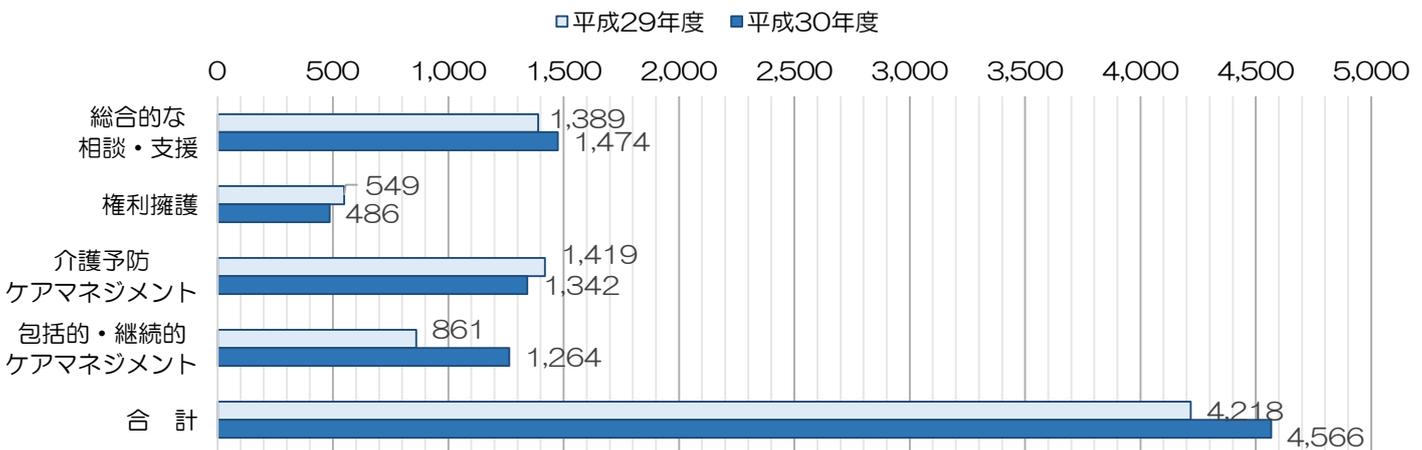
	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合 計
平成29年度	1,389	549	1,419	861	4,218
平成30年度	1,474	486	1,342	1,264	4,566

(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	131	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	98	地域リハビリテーション、健康広場、いきいきサロン、ふれあい事業、茶話会等
会議・研修等	192	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修会、各施設運営推進会議等
医療・関係機関との連携	474	認知症高齢者や精神疾患を抱える方、個別事例に対する入退院支援、医療機関から在宅へ向けての支援、高齢者虐待等における行政・警察・成年後見・関係機関等との連携、その他連携
介護支援員専門員に対する支援	28	支援困難ケースへの対応・支援、研修会の開催
高齢者実態把握	112	新規相談者並びに民生委員・児童委員からの台帳による訪問
介護予防プラン作成件数	4	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	2,266	事業対象者並びに要支援1・要支援2の認定を受けた高齢者に対する介護予防支援計画の作成・サービス調整等

グラフ

神川地域包括支援センター
相談件数推移：(単位：件)



評価・課題

- (1) 地域包括支援センターの核となる総合相談支援業務においては、地域からの様々な相談に対してなるべく適切に対応できるよう、3職種並びに関係者との連携を図りながら迅速に取り組んだ。特に、増加する新規相談ケースにおいても早期訪問・早期対応に努め、課題解決へつなげることが出来た。
- (2) 新規相談者を中心に実体把握を行い、その後のニーズに対して連携を図りながら円滑に支援が行えるよう取り組んだ。
ただし、高齢者世帯・おひとり暮らし台帳等からの計画的な調査実行が難しく、新規相談・緊急対応が優先される状況においては、地域課題の把握や分析までは行うことが出来ない状況にあり、実施方法や体制面の対策が急務であると感じている。

2 丸子地域包括支援センター事業

事業概要	事業実績
<p>専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤3人と非常勤の看護師、介護支援専門員の2人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。</p> <p>(1) 高齢者の実態把握および介護予防プラン作成 (2) 高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援 (3) 高齢者虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業 (4) 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援 (5) 地域ふれあいの会やサロン活動への支援</p> <p>【丸子地域包括支援センター共通目標】 地域の高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施</p> <p>(1) 高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援 (2) 高齢者の実態把握及び介護予防プラン作成 (3) 地域ケア推進会議の開催と、地域リハビリテーションへの参加</p>	<p>(1) 相談内容・人数（電話・来所・訪問） ※別表参照</p> <p>(2) 事業内容 ※別表参照</p> <p>(3) その他 ア 地域リハビリテーション事業の推進を図り、平成30年度は新たに6ヶ所で事業が始まった。 イ 介護予防地域支援事業として、「認知症に関すること・介護保険に関すること・体操」等、地域で講座を開催した。 ウ 高齢者が増えていく中で、認知症の正しい理解をしてもらうために高校生を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。 エ 来所、電話等での新規相談が多く、必要に応じサービスや関係機関につなげた。特に緊急性のあるケースは早期対応に努めた。 オ 支援困難ケースが多く、関係機関と連携を図りながら対応した。 カ 高齢者世帯・おひとり暮らし台帳をもとに実態把握を行った。 キ 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。 ク 勤務時間外は携帯電話による24時間緊急体制をとり対応を行った。時間外の電話対応件数が増えてきている。 ケ 民生委員・児童委員会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。 コ 地域ケア推進会議（武石包括合同で1回）、地域ケア個別会議（13回）を開催した。 サ 丸子地域における地域密着型サービス事業所の運営推進会議に出席した。 シ 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。 ス 年4回（6、9、12、2月）「地域包括支援センター便り」を発行し、センターの活動や介護保険、介護予防に関する広報活動に努めた。</p>

別表

(1) 相談件数の推移(単位：件)

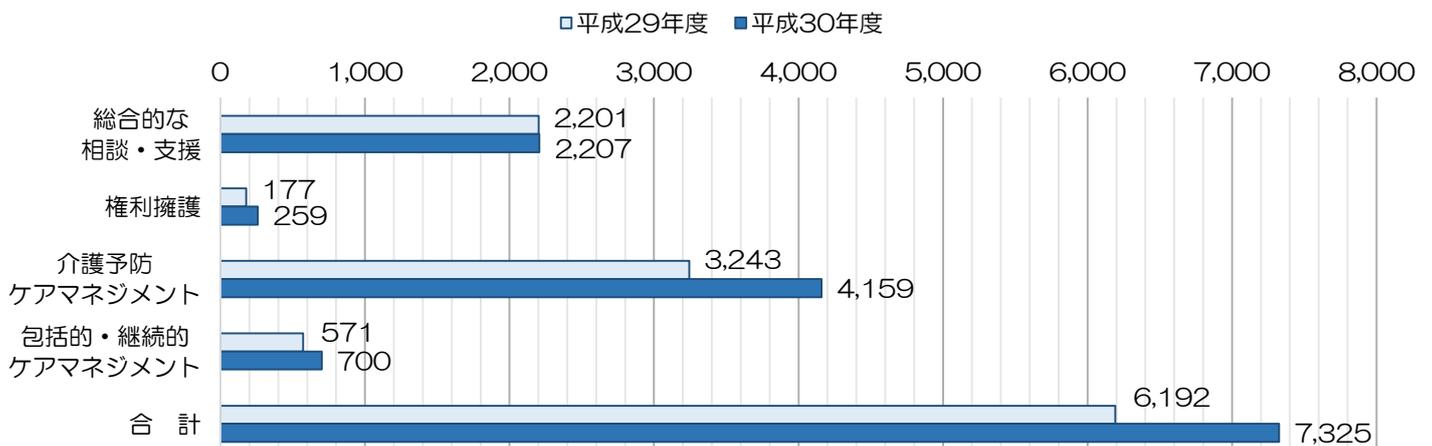
	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合計
平成29年度	2,201	177	3,243	571	6,192
平成30年度	2,207	259	4,159	700	7,325

(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	100	介護相談、虐待相談、支援困難ケース対応、配食業者からの連絡対応等
介護予防活動講演、実技等	29	地域サロン、地域リハビリテーション、認知症サポーター養成講座等
会議・研修等	196	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、介護保険運営協議会、地域密着型サービス運営推進会議、県・市主催の研修等
医療・関係機関との連携	390	退院調整会議、ケースカンファレンス、行政機関や関係機関との訪問や会議等
介護支援員専門員に対する支援	22	支援困難ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	124	民生委員・児童委員からの台帳より訪問
介護予防プラン作成件数	32	生活支援型ヘルパー、配食サービス、生きがい対応型デイサービスのプラン作成
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	2,787	事業対象者・要支援1・要支援2

グラフ

丸子地域包括支援センター
相談件数推移：(単位：件)



評価・課題

- (1) 地域が広範囲に渡り、高齢者人口も多い丸子地域で、日々の相談への迅速・丁寧な対応や関係機関との連携を行った。
- (2) 新規相談が多く、それらの相談の結果、実態把握につながる事が多く、高齢者世帯・おひとり暮らし台帳をもとにした訪問が十分に実施できなかった。実施方法や体制面の対策が急務と感じる。
- (3) 丸子・武石地域包括支援センター合同の講演会「地域での支え合いについて考えよう」を開催し、住民同士の支え合いの啓発となった。
各地域の地域リハビリテーションへ参加して、地域課題の把握と地域での支え合いについて考えていただく機会とした。

3 真田地域包括支援センター事業

事業概要	事業実績
<p>専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤3人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。</p> <p>(1) 高齢者の実態把握、介護予防支援計画及び介護予防ケアマネジメント支援計画の作成</p> <p>(2) 高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援</p> <p>(3) 高齢者虐待防止及び早期発見、消費者被害防止等の権利擁護事業</p> <p>(4) 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援</p> <p>(5) 高齢者の社会参加や自立支援を促進するための地域活動への支援・啓発</p> <p>【真田地域包括支援センター共通目標】 高齢者が自分らしい生活が続けられるように、総合相談の窓口として住民が相談しやすい機関となるよう努める。</p> <p>(1) 高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援。</p> <p>(2) 支えあいの地域づくりの為に、高齢者の実態把握や地区のサロン、地域リハビリテーション等への参加によりニーズを把握し社会資源の発掘、開発に努める。</p>	<p>(1) 相談内容・人数（電話・来所・訪問） ※別表参照</p> <p>(2) 事業内容 ※別表参照</p> <p>(3) その他 ア 10自治会で地域リハビリテーションを継続した。 イ 認知症の正しい理解をしてもらうために、小学生、中学生、児童館、自治会、上田市社協職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。（10回開催 302人参加） ウ 地域ケア会議を10回開催した。 エ 総合福祉センターで運動教室～笑顔で元気～を月1回開催した。（12回開 92人参加） オ 健康や介護保険等について健康福祉講座を行った。 カ 民生委員・児童委員会に出席し、包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。 キ 真田地域における地域密着型施設の運営推進会議に出席した。 ク 実態把握を行った。 ケ 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。 相談援助実習生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。 コ 独居・高齢者世帯・認知症高齢者が増えていく中、相談は敏速に専門分野ごと満足いただける相談、情報提供を心がけ対応をした。 サ 真田地域に毎月全戸配布の「真田生き生きふるさと通信」の1ページを年3回担当し、高齢者と関わる包括業務の記事を掲載し包括の周知に心がけた。 シ 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。 ス 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。</p>

別表

3 真田地域包括支援センター事業

(1) 相談件数の推移 (単位：件)

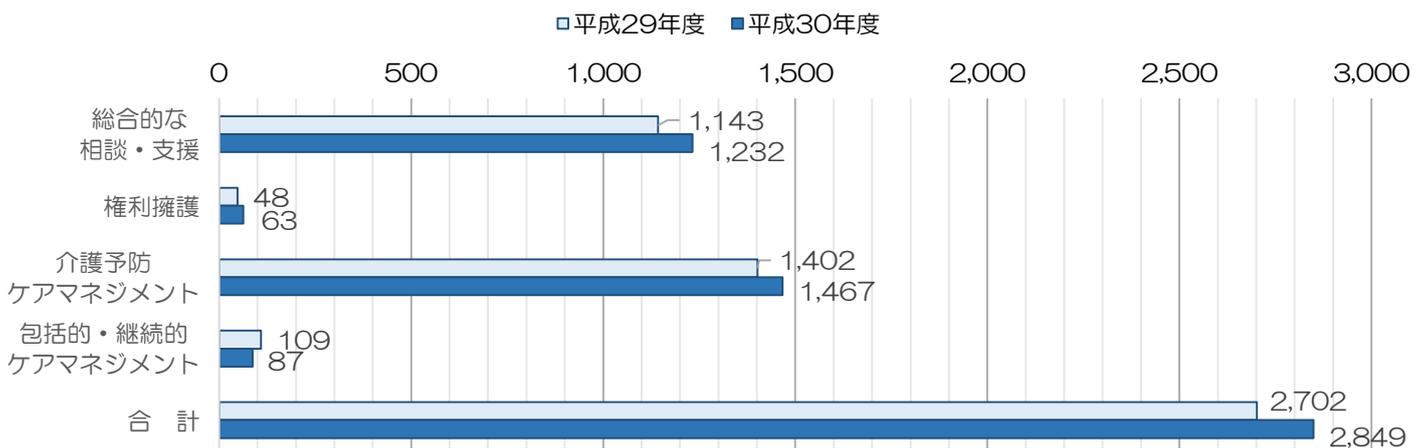
	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合計
平成29年度	1,143	48	1,402	109	2,702
平成30年度	1,232	63	1,467	87	2,849

(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	0	
介護予防活動講演、実技等	42	いきいきサロン、ふれあい広場、地域リハビリテーション、運動教室（笑顔で元気）、認知症サポーター養成講座等
会議・研修等	158	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修会、各施設運営推進会議等
医療・関係機関との連携	253	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、医療機関から在宅へ向けての支援（認知症独居高齢者の退院の支援について等）高齢者虐待等における行政・警察・成年後見・関係機関等との連携、その他連携
介護支援員専門員に対する支援	9	支援困難ケースへの対応・支援、研修会の開催
高齢者実態把握	96	新規相談者並びに民生委員・児童委員からの台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	14	配食サービス、訪問指導
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	1,883	事業対象者・要支援1・要支援2

グラフ

真田地域包括支援センター
相談件数推移：(単位：件)



評価・課題

- (1) 総合相談支援業務においては、地域からの相談が増えてきており、関係機関との連携を図りながら取り組んだ。
- (2) 新規相談が増えてきており、台帳に基づいた独居・高齢者世帯への実態把握訪問が十分に行えなかった。
- (3) お一人暮らし交流会において、特殊詐欺講演会を開催し手口や注意点などを知っていただけるよう啓発を行った。

4 武石地域包括支援センター事業

事業概要	事業実績
<p>専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤の専門職3人で、地域の高齢者を中心に全ての地区住民が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。</p> <p>(1) 高齢者の実態把握及び介護予防支援計画の作成</p> <p>(2) 高齢者や家族、地域住民等、生活に困難を抱える住民に対する総合的相談及び支援</p> <p>(3) 虐待防止及び早期発見、消費者被害防止等の権利擁護事業</p> <p>(4) 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援</p> <p>(5) 地域による高齢者障害者の支援ネットワークの構築</p> <p>(6) 高齢者の社会参加や自立支援を促進するための地域活動への支援</p> <p>(7) 活動</p> <p>(8) 高齢者サロンの企画立案・実施</p> <p>(9) 高齢者主体の自治会活動の啓発</p> <p>【武石地域包括支援センター共通目標】 総合的な介護予防相談事業の展開</p> <p>(1) 地域包括ケアシステムの基盤強化における、地域の総合相談窓口として関係機関等、多様な主体との連携を強化し、高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう地域包括支援体制の整備</p> <p>(2) 高齢者や障害者等が地域で安心して自立した生活が送れるよう、その権利及び利益の保護の推進</p> <p>(3) 地域において自立した生活を営むことができるよう、地域住民が主体となった活動や地域参加への取組を推進</p>	<p>(1) 相談内容・人数（電話・来所・訪問）</p> <p>※別表参照</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>※別表参照</p> <p>(3) その他</p> <p>ア 武石地域6ヶ所、丸子地域6ヶ所の地域リハビリテーションに参加、協力した。</p> <p>イ 総合事業によるミニデイの介護予防ケアマネジメントと要支援の人の介護予防支援を行った。</p> <p>ウ 市武石高齢者支援係と社協武石地区センターと協働して、サロンを行ない介護予防の必要性についての啓発と健康運動指導士の指導による体操を毎月行った。（武石地域）</p> <p>エ 地域ケア会議を6回開催した。（内個別地域ケア会議4回）</p> <p>オ 各種研修会に積極的に参加し自己研鑽に努めた。</p> <p>カ 社会福祉士実習生と看護師実習生の受け入れを行い人材育成に協力した。</p> <p>キ 民生委員・児童委員会に3職種（看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員）交代で参加し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と事例報告などを行い、連携への協力を求めた。</p> <p>ク 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応した。</p> <p>ケ 地域の介護支援専門員の資質向上のための研修会を主催した。</p> <p>コ 地域密着型サービス事業所の運営推進会議に出席した。</p> <p>サ 年3回「地域包括支援センターだより」を発行し、地域包括支援センターの活動や介護保険、介護予防に関する広報活動に務めた。</p>

別表

4 武石地域包括支援センター事業

(1) 相談件数の推移 (単位：件)

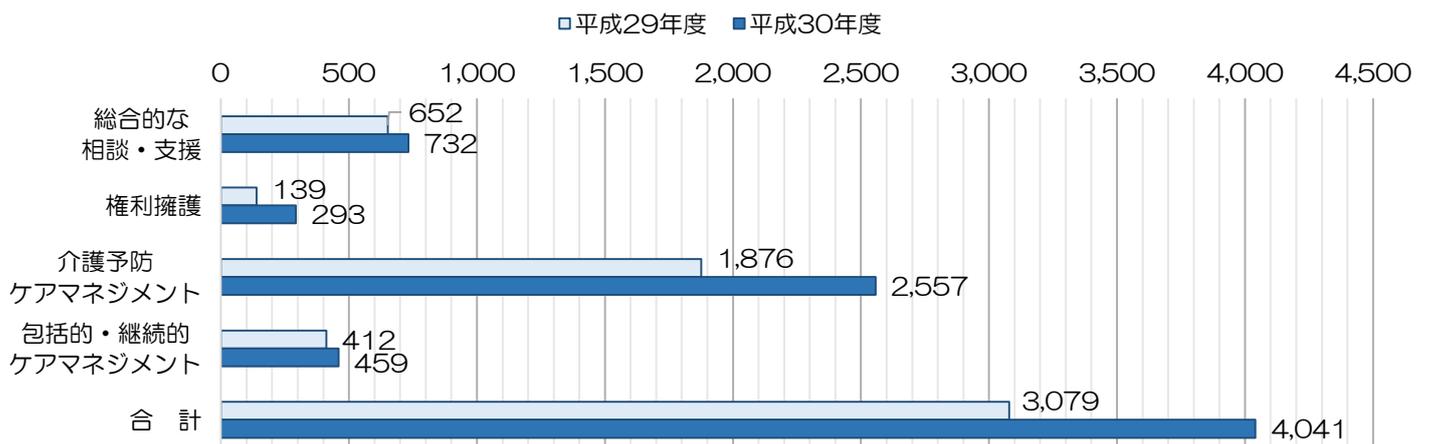
	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合 計
平成29年度	652	139	1,876	412	3,079
平成30年度	732	293	2,557	459	4,041

(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	42	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	42	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場、認知症 サポーター養成講座開催等
会議、研修等	150	民生委員・児童委員会、地域ケア担当者会議、県・市主催の研修等
医療・関係機関との連携	140	医療機関、その他との連携、個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、質の向上のための研修、ケアマネージャーへの指導など
介護支援専門員に対する支援	20	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	52	民生委員・児童委員からの台帳、当事者・高齢者支援係からの依頼により訪問
介護予防プラン作成件数	7	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導、生きがい対応型デイサービスのプラン作成、介護予防事業
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	1,950	事業対象者・要支援1・要支援2

グラフ

武石地域包括支援センター
相談件数推移：(単位：件)



評価・課題

- (1) 地域の高齢者の総合相談窓口として、相談に対しては迅速に対応した。必要があれば、地域の社会福祉資源とのコーディネートなど関係機関と連携、協力しながら対応することができた。地域の社会資源リスト「武石の高齢者に役立つサービス」の冊子の作成を行い関係者に配布することで、地域の社会資源を周知し、活用を促すことができた。
- (2) 成年後見制度の情報を「包括センターだより」で周知するとともに成年後見センターとの連携を図ることができた。
- (3) 「包括センターだより」を年3回発行し、包括センターの活動や、介護予防の大切さについて周知することができた。楽しい会を月2回開催し、地域住民への介護予防の大切さを啓発することができた。

居宅介護支援事業

事業概要

可能な限り住み慣れた居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況やおかれている環境等に応じた支援をする。地域との連携を図りながら、利用者に適した社会資源の活用や社会参加を勧め、質の高いサービスの提供に努める。

1 業務内容

- (1) 介護保険代行（更新・申請含む）
- (2) 介護に関する相談
- (3) ケアプラン作成
- (4) サービス担当者会議
- (5) サービス計画の実施状況の把握
- (6) モニタリング
- (7) 必要に応じサービス計画の変更、
- (8) サービス事業者との連絡調整
- (9) 上田市特例措置制度利用認定利用者の申請代行
- (10) 認定調査（要支援・要介護認定）及び調査票作成

2 介護支援専門員

- (1) 介護相談センター：正規専任3人、正規兼務1人、臨時専任1人、嘱託事務1人…計6人
- (2) 神川介護相談センター：正規専任3人、嘱託専任1人…計4人（10月まで）
正規専任3人 …計3人（11月から）
- (3) 丸子介護相談センター：正規専任1人、嘱託専任2人…計3人

事業実績

◆利用者件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	170	172	179	163	160	162	161	171	168	167	167	166	2,006
神川介護相談センター	129	124	126	126	118	124	128	120	117	116	115	112	1,455
丸子介護相談センター	114	114	106	102	105	104	105	109	110	110	107	106	1,292
合計	413	410	411	391	383	390	394	400	395	393	389	384	4,753

◆認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	3	3	6	5	6	3	5	6	4	4	3	4	52
神川介護相談センター	1	2	1	1	2	4	2	0	1	0	2	2	18
丸子介護相談センター	1	1	2	2	1	1	1	2	1	0	1	0	13
合計	5	6	9	8	9	8	8	8	6	4	6	6	83

◆ケアプラン作成状況

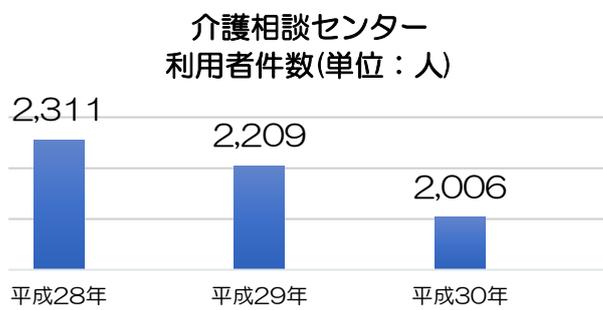
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	154	157	156	150	141	145	146	160	157	154	154	152	1,826
神川介護相談センター	122	124	111	121	116	114	118	112	113	106	100	100	1,357
丸子介護相談センター	110	108	107	100	105	108	103	105	108	100	100	98	1,252
合計	386	389	374	371	362	367	367	377	378	360	354	350	4,435

◆住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	1	1	1	2	1	1	0	0	1	1	0	1	10
神川介護相談センター	0	1	0	1	1	1	0	2	2	0	1	2	11
丸子介護相談センター	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	4
合計	1	2	1	3	3	2	2	2	3	1	1	4	25

介護相談センター

	平成28年	平成29年	平成30年
利用者件数 (件)	2,311	2,209	2,006
認定調査状況 (件)	13	32	52
ケアプラン作成状況 (件)	2,054	2,007	1,826



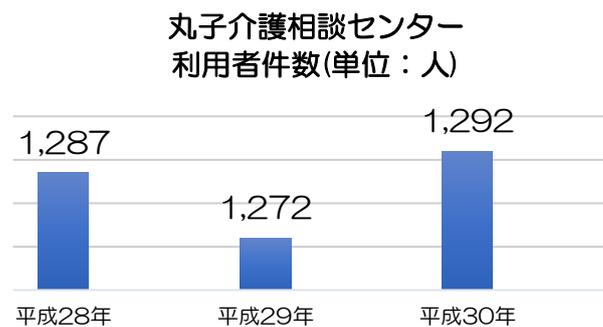
神川介護相談センター

	平成28年	平成29年	平成30年
利用者件数 (件)	1,639	1,585	1,455
認定調査状況 (件)	18	20	18
ケアプラン作成状況 (件)	1,523	1,461	1,357



丸子介護相談センター

	平成28年	平成29年	平成30年
利用者件数 (件)	1,287	1,272	1,292
認定調査状況 (件)	31	35	13
ケアプラン作成状況 (件)	1,287	1,232	1,252



評価・課題

1 介護相談センター

要介護の2割の方が要支援に変更なり、また、地域基幹病院の包括病棟や医療院また介護老人保健施設、有料老人ホームといったところに要介護4、5の方の入院入所により、在宅で生活する要介護者の減少がある。

その中で、どんな困難ケースも引き受けていく姿勢や、高齢者住宅からのケアマネの依頼があり、正規職員は35人の担当を心がけ、その他の職員も利用者の獲得に向けて努力し、常に100%以上の利用者が確保できるよう努力した。今後も成年後見支援センターや、日常生活自立生活支援事業、まいさぼ上田など社会福祉協議会の他部署と相談・連携を図りながら、利用者の自立支援に向けた介護相談センターを目指していきたい。

2 神川介護相談センター

積極的に研修を重ね自己研鑽を図った。関係機関との連携を密に図り、信頼を得られるよう努めた。

課題としては、医療機関との連携にあたり、入院時等基本情報の提供など早期の対応が求められるが、時間的制約がある中で業務煩雑時の対応が十分にできないことがあげられる。また、研修等で学んだことが十分に支援に活かせていないことがある。

3 丸子介護相談センター

利用者数の確保が予定通りにできた。また質の良いケアを提供できるよう外部研修に出席し、互いに情報を提供しあい、自己研鑽ができた。

利用者が要介護1、2が70%の状態の中でこれからの介護保険の方向性に対して、市、包括、医療関係など多職種との連携をとりながら、対応をしていく。

デイサービスセンター

概 要

身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施している。

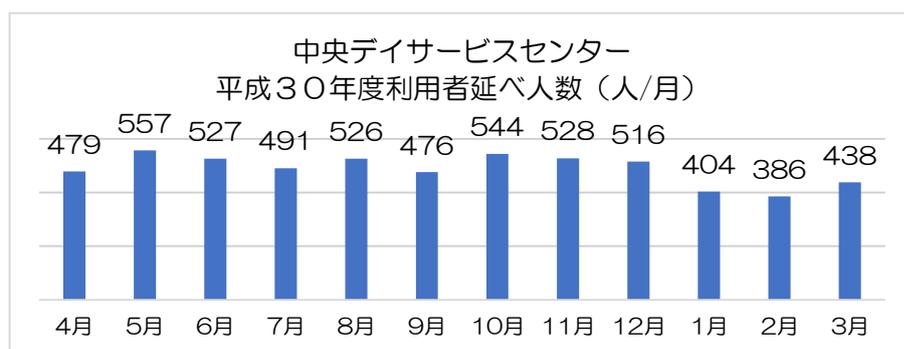
また、日常生活動作、特に立ち上がりや座る動作、階段昇降に使われる下肢筋力を意識して運動するように目的を明確化している。

1 中央デイサービスセンター

事業実績 開所日数(年間) 308日

(1) 平成30年度利用者延べ人数(単位：人)

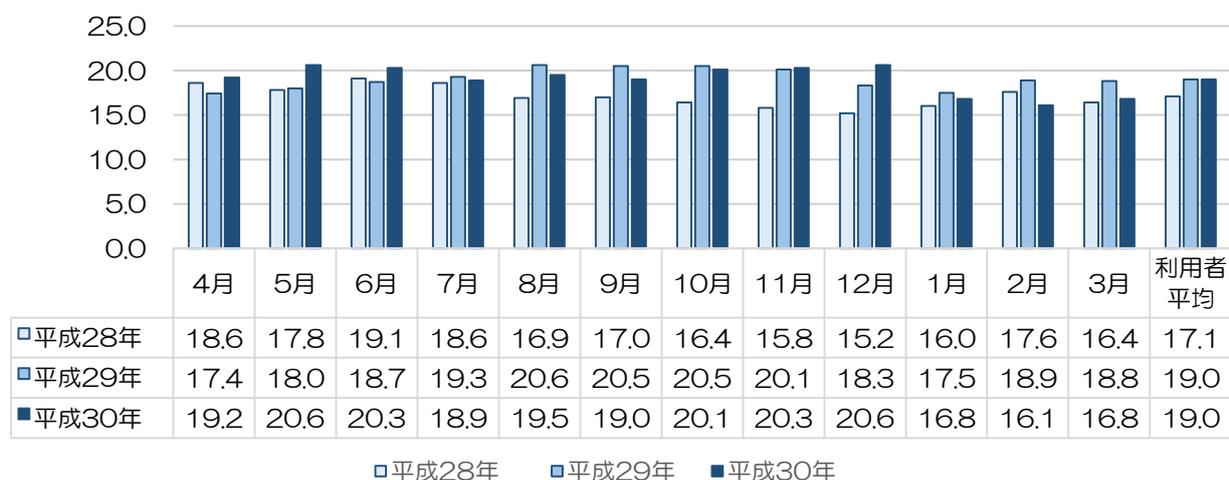
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者(人)	479	557	527	491	526	476	544	528	516	404	386	438	5,872



(2) 1日平均利用者数 ※1日の利用者定員25人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者平均
平成28年	18.6	17.8	19.1	18.6	16.9	17.0	16.4	15.8	15.2	16.0	17.6	16.4	17.1
平成29年	17.4	18.0	18.7	19.3	20.6	20.5	20.5	20.1	18.3	17.5	18.9	18.8	19.0
平成30年	19.2	20.6	20.3	18.9	19.5	19.0	20.1	20.3	20.6	16.8	16.1	16.8	19.0

中央デイサービスセンター 1日平均利用者数の推移



(3) 関わったボランティアの人数 (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
19	18	17	24	25	18	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16	18	27	23	24	30	259

(4) 主な行事

・すいせん見学	4月 4日(水)～6日(金)	57人
・鯉のぼり花桃見学	4月20日(金)～21日(土)	41人
・こいのぼり見学	4月26日(木)～27日(金)	
	5月3日(木)	32人
・坂城バラ園見学	5月21日(木)	14人
・買い物ツアー	6月 5日(水)～6月30日(木)	42人
・外食	6月10日(木)～7月 1日(金)	37人
・あじさい見学	7月2日(月)	11人
・蓮見学	7月11日～12日	25人
・七夕祭り	8月 7日(火)	19人
・夏祭り	8月15日(水)	18人
・かき氷作り	7月12日(木)	20人
・運動会	10月 2日(火)、3日(水)、11日(木)	64人
・高齢者文化祭	10月20日(土)	14人
・紅葉ツアー	11月 1日(水)～ 8日(木)	68人
・お楽しみ会	12月12日(水)、13日(木)、21日(金)	61人
・園児と交流	12月15日(金)	20人
・まゆ玉作り	1月14日(月)、15日(火)	35人
・白鳥見学	1月16日(水)、19日(土)	25人
・節分豆まき	2月 2日(土)	19人
・ひな祭り	3月 2日(土)	17人
・外出(ドライブ)	3月20日(水)	11人
・お誕生日会	毎月	

評価・課題

通所介護計画書に沿って提供し、自立支援、個別訓練・レクリエーションを通し、心身機能の維持向上を図った。また、家族・介護者の介護の軽減と精神的負担軽減を図った。利用者に寄り添い生きがいを持てるようにサポートしてきた。

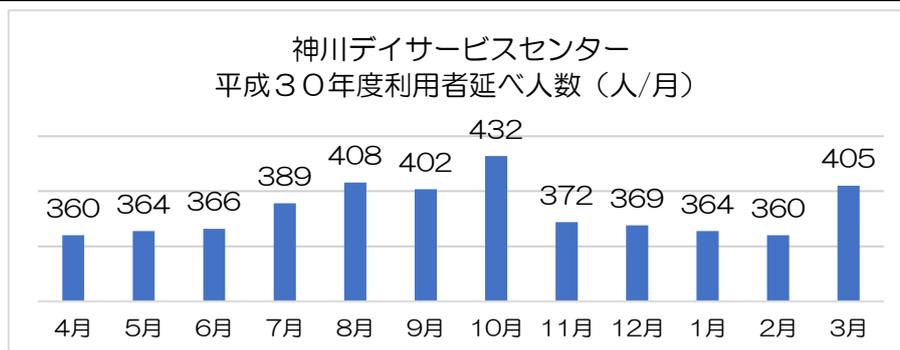
より良いサービスの提供を目指し、職員の資質向上のための研修のあり方を考えていきたい。

2 神川デイサービスセンター

事業実績 開所日数(年間) 308日

(1) 平成30年度利用者延べ人数(単位：人)

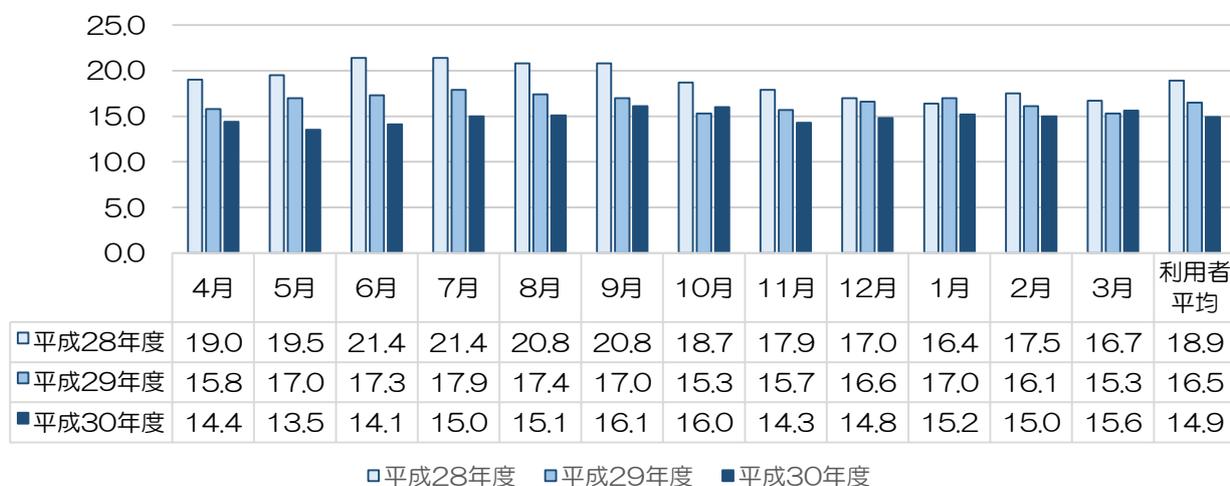
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者(人)	360	364	366	389	408	402	432	372	369	364	360	405	4,591



(2) 1日平均利用者数(人) ※1日の利用者定員25人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者平均
平成28年度	19.0	19.5	21.4	21.4	20.8	20.8	18.7	17.9	17.0	16.4	17.5	16.7	18.9
平成29年度	15.8	17.0	17.3	17.9	17.4	17.0	15.3	15.7	16.6	17.0	16.1	15.3	16.5
平成30年度	14.4	13.5	14.1	15.0	15.1	16.1	16.0	14.3	14.8	15.2	15.0	15.6	14.9

神川デイサービスセンター 1日平均利用者数の推移(単位：人)



(3) 関わったボランティアの人数 (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2	10	2	10	8	10	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
39	10	8	10	2	4	115

(4) 主な行事

・水仙祭り	4月 2日(月)～5日(木)	4回
・神川地区桜まつり	4月14日(土)	1回
・お花見鯉のぼり	4月16日(金)～5月21日(月)	6回
・国分寺藤見学	5月 8日(火)～14日(月)	4回
・東御市サンテラスバラフェア	6月 4日(月)～13日(金)	5回
・七夕まつり	8月 1日(水)～3日(金)	3回
・運動会	10月16日(月)～19日(木)	4回
・外食(はま寿司)	11月 7日(水)～30日(金)	10回
・利用者忘年会	12月11日(月)～14日(木)	4回
・繭玉作り	1月 7日(月)、10日(木)	2回
・出前ラーメン	2月 8日(金)、12日(火) 21日(木)、27日(木)	4回
・節分	2月 2日(土)	1回
・外出(ファッションモールはなおか及びやおふくへ買い物)		9回
・第一中学校との交流会		年2回
・神川小学校との交流会		年2回
・誕生日会		随時

ア ボランティア

・ギターフォーラム	年5回
-----------	-----

・花柳社中	年2回
・はなみずきの会	年5回
・仲良しグループ	年3回
・川西フォークダンスクラブ	年1回
・待学園	年1回
・あやばに	年1回
・お話しボランティア	週1回

イ その他

・サマーチャレンジボランティア受け入れ	1人
・介護体験学生受入	2人
・職場体験受入	2人
・スプリングチャレンジボランティア受け入れ	2人
・利用者忘年会 12月11日(月)～14日(木)	4回
・繭玉作り 1月7日(月)、10日(木)	2回
・出前ラーメン 2月8日(金)、12日(火)、 21日(木)、27日(木)	4回
・節分 2月2日(土)	1回
・外出(ファッションモールはなおか及びやおふくへ買い物)	9回
・第一中学校との交流会	年2回
・神川小学校との交流会	年2回
・誕生日会	随時

評価・課題

常に笑顔を意識して利用者に接することができるよう、朝礼で目標を復唱し、利用者が楽しい雰囲気でごせるよう常に心がけ、心がこもったサービスが実施できた。

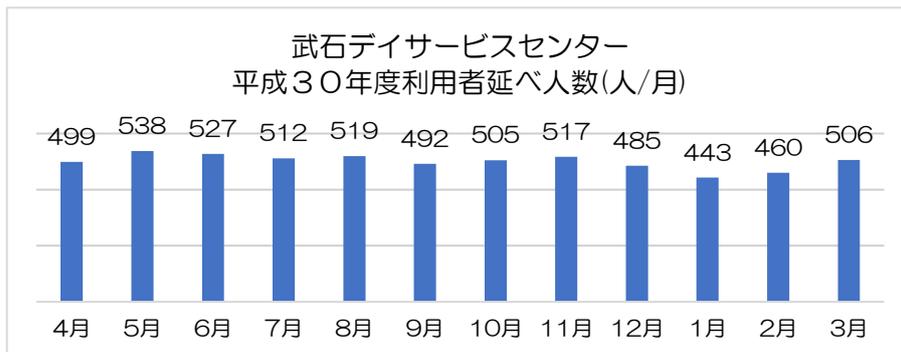
安全に運転できるよう、朝礼で目標を復唱し、交通安全運動の呼びかけ、職員会議で危険箇所の情報共有を行ったり、天候による危険やお盆などに増える県外車による危険や工事情報・事故情報などを共有するなど、具体的に安全運転を呼びかけ事故なくできたが、送迎の出発時間ギリギリになり慌てて出かけることもあったため、今後も事故なく事業運営ができるよう、ゆとりを持った運転ができるように取り組んでいく。

3 武石デイサービスセンター

事業実績 開所日数(年間) 359日

(1) 平成30年度利用者延べ人数(単位:人)

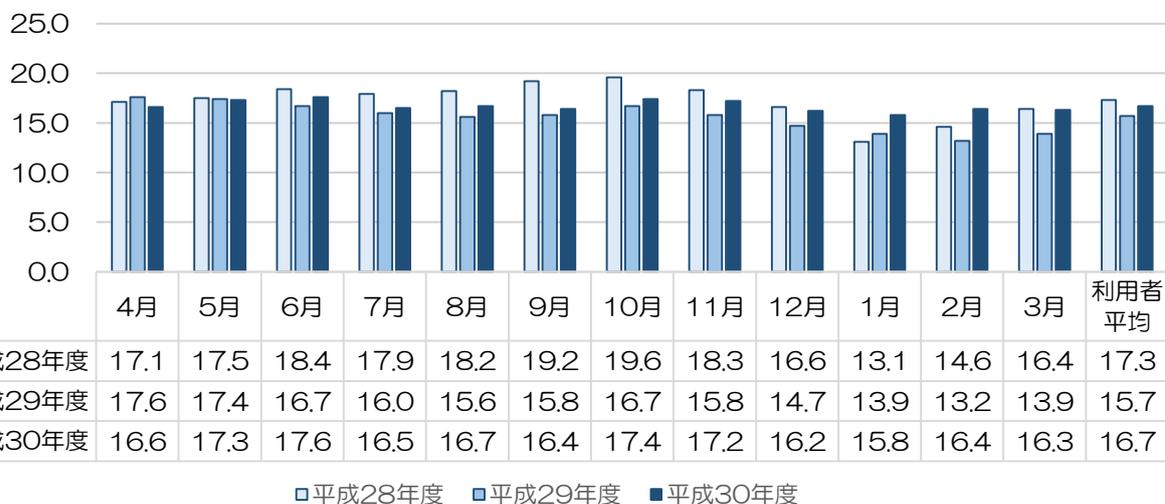
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者(人)	499	538	527	512	519	492	505	517	485	443	460	506	6,003



(2) 1日平均利用者数(人) ※1日の利用者定員35人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者平均
平成28年度	17.1	17.5	18.4	17.9	18.2	19.2	19.6	18.3	16.6	13.1	14.6	16.4	17.3
平成29年度	17.6	17.4	16.7	16.0	15.6	15.8	16.7	15.8	14.7	13.9	13.2	13.9	15.7
平成30年度	16.6	17.3	17.6	16.5	16.7	16.4	17.4	17.2	16.2	15.8	16.4	16.3	16.7

武石デイサービスセンター 1日平均利用者数の推移(単位：人)



(3) 関わったボランティアの人数 (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	2	0	0	0	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	9	48	0	0	2	63

(4) 主な行事

ア 施設内

- ・おやつ作り 5月 7日(月)～ 6月 8日(金)
- ・手づくりな 5月12日(火)～ 6月28日(木)
- ・やすらぎ祭り 7月31日(火)～ 8月 9日(木)
- ・文化祭準備 8月28日(火)～10月31日(水)
- ・おはぎづくり・春・秋 彼岸
- ・園児との交流会 6月、7月、10月11月、12月
- ・ミニ運動会 10月 5日(金)～10月18日(木)
- ・正月準備 11月12日(月)～12月 4日(火)
- ・忘年会 11月28日(水)～12月 9日(日)
- ・節分、豆まき 2月 3日(金)
- ・寿司バイキング 2月18日(月)、 3月 6日(水)
- ・ひなまつり 2月16日(土)～ 3月 3日(日)
- ・ぼたもち作り 3月 8日(金)～25日(月)

計5回

イ 屋外行事

- ・お花見 4月 計8回(水仙・花桃)

ウ 誕生会

毎月1回 (該当者 写真贈呈)

エ ボランティア行事 ・フラダンス ・なかよしクラブ ・手話ダンス ・バルーンアート ・個人ボランティア演奏 ・日本舞踊 ・chi-ku竹庵（ダンス、歌、話し相手、手作りプレゼント） ・個人 お茶出し・話し相手（学生 含む）	年1回 年1回 年1回 年1回 年2回 年1回 年2回 随時
評価・課題	
<p> 在宅で生活されている要介護・要支援の高齢者に利用していただき入浴、食事の提供、リハビリ体操、レクレーションを通じて、身体の活性化を図ると共に、同世代の交流もできるサービスを提供につとめた。利用者延べ数6,003人、一日平均16.7人であった。昨年度より、利用者増となった。利用者の平均年齢も高齢化し、対応する職員もシルバー人材に頼っている部分が大きく、今後の人材育成・利用者確保が課題である。 </p>	

老人福祉センター事業

1 上田市高齢者福祉センター管理事業(市受託事業)

事業概要	事業実績
<p>市内に在住する60歳以上の高齢者の方の生きがいと健康づくりを目的として昭和56年に開設された。平成9年4月1日からは上田市社会福祉協議会が管理運営を行っている。</p> <p>2階にある展望風呂を楽しみに来館される方が多く、また貸出部屋を利用した各種同好会活動等も盛んに行われている。</p> <p>他にも、高齢者介護課が主催する介護予防体操や自主事業として行っている初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。センター内では利用者の趣味を生かした各種クラブが27クラブあり、約850人の会員が積極的な活動を行い、特に高齢者文化祭や高齢者作品展での発表や作品展示に向けて仲間との交流を図りながら楽しんで取り組んでいる。</p> <p>また、当センターを主会場に3年間の学習形態で上田市高齢者学園の授業が行われており、卒業後は各種同好会やクラブ活動をはじめ、学んだ知識を地域での活動に役立てている。</p>	<p>(1) 利用状況 高齢者の生きがいと健康づくりを目的に多くの皆さんが利用された。</p> <p>※ 別紙参照</p> <p>(2) その他事業 高齢者文化祭 10月20日(土)、21日(日) 参加者 1,451人</p> <p>(3) 利用人数 ア 教養クラブ活動(27クラブ) 参加者 34,667人 イ 高齢者初級パソコン教室(441回) 参加者 2,943人 ウ 実習生・ボランティア(12回) 参加者 67人</p> <div data-bbox="772 987 1262 1352" style="text-align: center;"> </div>

別表

(1) 上田市高齢者福祉センター利用状況

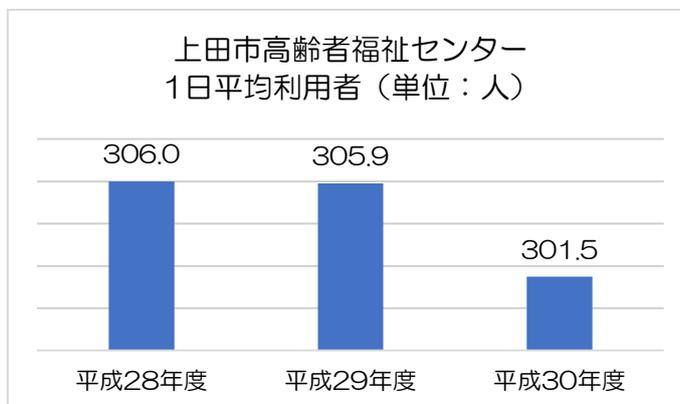
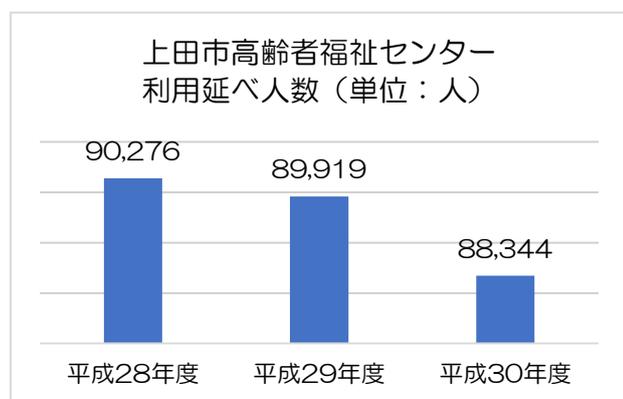
	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日の平均利用者数(人)
4月	7,731	24	332.1
5月	7,292	24	303.8
6月	7,825	26	301.0
7月	7,384	25	295.4
8月	6,276	26	241.4

9月	7,165	23	311.5
10月	8,842	27	327.5
11月	7,201	24	300.0
12月	6,626	23	288.1
1月	6,773	23	294.5
2月	7,405	23	322.0
3月	7,824	25	313.0
合計	88,344	293	301.5

(2) 上田市高齢者福祉センター利用状況の推移

	利用延人数（人）	開館日数（日）	1日平均利用者（人）
平成28年度	90,276	295	306.0
平成29年度	89,919	294	305.9
平成30年度	88,344	293	301.5

グラフ



評価・課題

高齢者福祉センターは、超高齢社会並びに人口減少社会に突入した時代において、高齢者が主体的に社会との関わりを保ちながら、生きがいを持って健康増進を図ることができるための拠点となる施設として有効に活用された。

事業内容については、介護予防体操や初級パソコン教室は特に人気が高く、毎回たくさんの方が参加され、高齢者のニーズが健康増進や生涯学習に向けられていることが理解できる。

また、福祉教育の一環として看護学校をはじめとした実習生や学生ボランティアを受け入れる中で、学生と利用者との貴重な世代間交流の場となり、互いに良好な相互作用がもたらされた。

クラブ活動においては、講師や会員の高齢化等に伴い活動が困難となり、解散するクラブも出てきている。働き方改革における高齢者の就労促進の影響もあり、60歳代の方の活動が減ってきていることも要因と考えられるが、今後のクラブ活動や利用者協議会の運営が懸念される状況となってきている。

施設的环境整備面では、利用者が心地よく過ごしていただけるように努めているが、老朽化が進み年々修繕箇所や設備の不具合が増えているのが課題となっている。

2 高齢者学園事業(市受託事業)

事業概要	事業実績
<p>「仲間づくり、健康づくり、生きがいくくり」を行動指針に、3つの学習分野（より良い社会参加・健康といきがいくくり・豊かな長寿社会の実現）を柱に、地域の中でも主体的に社会参加し、地域社会の発展に寄与することを目指し学習に取り組んでいる。</p> <p>また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からの様々な要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に役立てた。</p> 	<p>(1) 学生数 1年生 54人、2年生 43人 3年生 59人</p> <p>(2) 講義回数 1年生17講義、2年生17講義、3年生17講義</p> <p>(3) 研修会 1年生 創造館研修 2年生 松代研修 3年生 長野研修</p> <p>(4) 交流会 1年生 別所地域散策 2年生 武石地域散策 3年生 真田地域散策</p> <p>(5) 研修旅行 1年生 10月10日(木)～ 11日(金) 石川県山代温泉 2年生 9月26日(水)～ 27日(木) 日光・鬼怒川温泉 3年生 6月5日(火)～6日(水) 福島県被災地と穴原温泉</p> <p>(6) クラブ活動 8種類のクラブ活動を各学年の講義日に設定し(年間7回)学習効果を高めるとともに、三学年合同のクラブ発表会を開催し、ステージ発表や作品展示をとおして活動の成果を確かめ合った。 また、学園運営委員を招き、意見交換を行いながら互いに交流を深めた。</p> <p>(7) 運営委員会 第1回運営委員会 11月20日(火) 第2回運営委員会 2月 8日(金)</p> <p>(8) その他 講義評価アンケートの実施</p>
評価・課題	
<p>高齢者学園事業については、「仲間づくり、健康づくり、生きがいくくり」を行動指針に、3つの学習分野（より良い社会参加・健康といきがいくくり・豊かな長寿社会の実現）を柱に、地域の中でも主体的に社会参加し、地域社会の発展に寄与することを目指し、学習に取り組んでいただいている。</p> <p>学園生に講義に対する評価アンケートを実施しているが、概ね良い評価を得ており、感想・意見からも満足度が高いことが伺われ、高評価を得られている。</p>	

3 上田市丸子老人福祉センター設置管理事業(市補助事業)

事業概要	事業実績
<p>上田市丸子老人福祉センター（愛称「たんぽぽ」）は、高齢者の心身の健康の保持のため、健康相談・指導・入浴・休養・レクリエーションなどを行うとともに、文化教養の向上を図るため老人のクラブ活動等を行い、高齢者福祉に総合的に寄与することを目的に昭和54年に開設した。</p> <p>開設当時より社会福祉協議会の事業として運営されており、老人クラブの活動や高齢者憩いの場所として多くの方に利用されている。</p>	<p>(1) 利用状況</p> <p>※ 別紙参照</p> 

別表

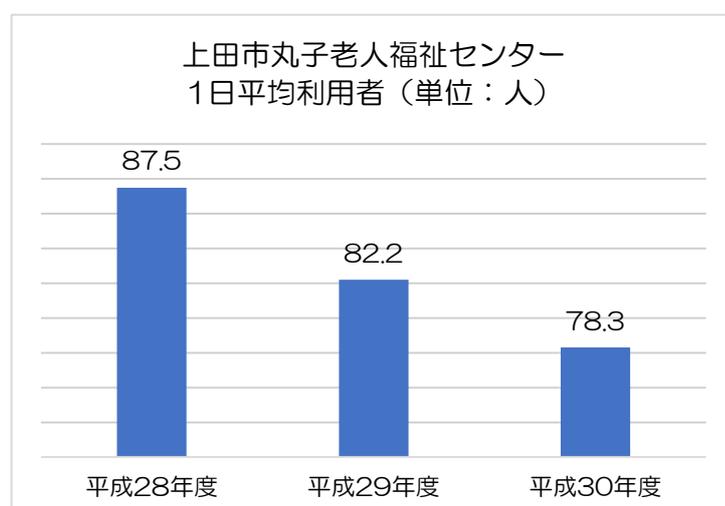
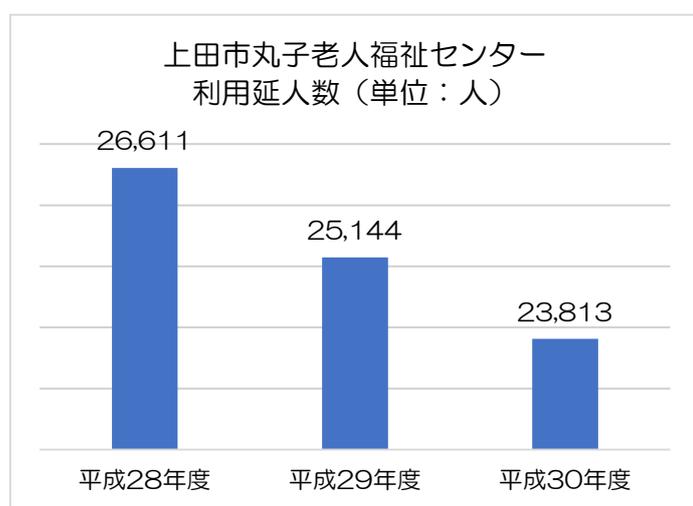
(1) 上田市丸子老人福祉センター利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4月	2,107	25	84.3
5月	2,131	27	78.9
6月	2,138	25	85.5
7月	1,928	26	74.2
8月	1,670	25	66.8
9月	1,864	24	77.7
10月	1,973	27	73.1
11月	1,959	26	75.3
12月	1,978	24	82.4
1月	1,892	24	78.8
2月	2,096	24	87.3
3月	2,077	27	76.9
合計	23,813	304	78.3

(2) 上田市丸子老人福祉センター利用状況の推移

	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
平成28年度	26,611	304	87.5
平成29年度	25,144	306	82.2
平成30年度	23,813	304	78.3

グラフ



評価・課題

地域の高齢者の憩いの場として多くの皆さんが利用されており、囲碁愛好家の皆さんは毎日仲間との交流を深めている。

施設は築年数の割には比較的きれいであるが、耐震化が未実施である。また、冷房設備がないため夏場の温度管理に苦慮している。

4 上田市真田老人福祉センター管理事業(市受託事業)

事業概要	事業実績
<p>上田市真田老人福祉センターは、高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等憩いの目的に利用されている。</p>	<p>(1) 利用状況</p> <p>※ 別紙参照</p> <div data-bbox="826 454 1246 730" style="text-align: center;"> </div>

別表

(1) 上田市真田老人福祉センター利用状況

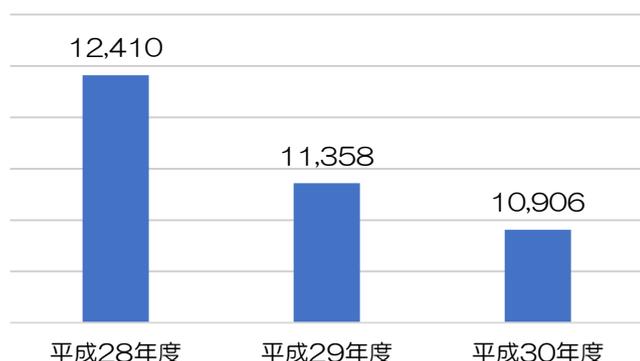
	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4月	972	25	38.9
5月	929	27	34.4
6月	986	26	37.9
7月	946	26	36.4
8月	635	23	27.6
9月	831	25	33.2
10月	903	27	33.4
11月	823	26	31.6
12月	893	23	38.8
1月	905	24	37.7
2月	992	24	41.3
3月	1,091	26	42.0
合計	10,901	302	36.1

(2) 上田市真田老人福祉センター利用状況の推移

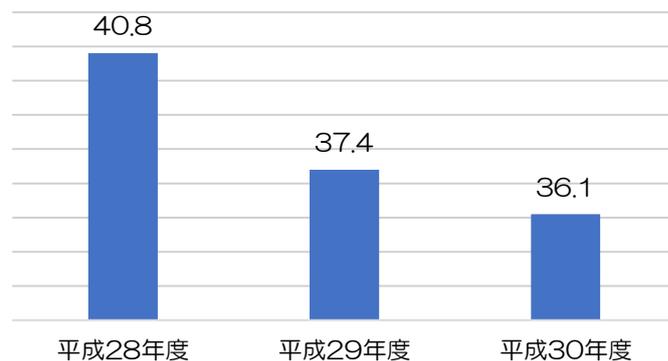
	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
平成28年度	12,410	305	40.8
平成29年度	11,358	304	37.4
平成30年度	10,906	302	36.1

グラフ

上田市真田老人福祉センター
利用延人数（単位：人）



上田市真田老人福祉センター
1日平均利用者（単位：人）



評価・課題

高齢の方々が自由に来館し利用できる施設として、また、趣味を通じた仲間づくりなど、健康で生きがいのある生活を送るための憩いの場となるよう施設運営に努めた。利用者数は減少傾向にあるものの、自主事業である「さわやかサロン」は好評を得ており、今後も利用促進に向けPRしていきたい。

5 上田市武石老人福祉センター管理事業(市受託事業)

事業概要	事業実績
武石老人福祉センターは、「木彫教室」、「地域リハ」「高齢者クラブによるカラオケ・マーじゃん」などの趣味活動、単位高齢者クラブ等や各種福祉団体の会議等に利用されている。	(1) 利用状況 ※ 別紙参照

別表

(1) 上田市武石老人福祉センター利用状況

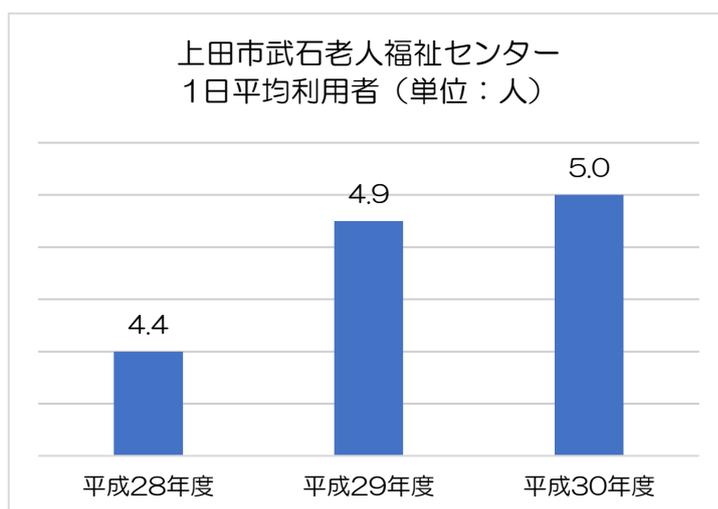
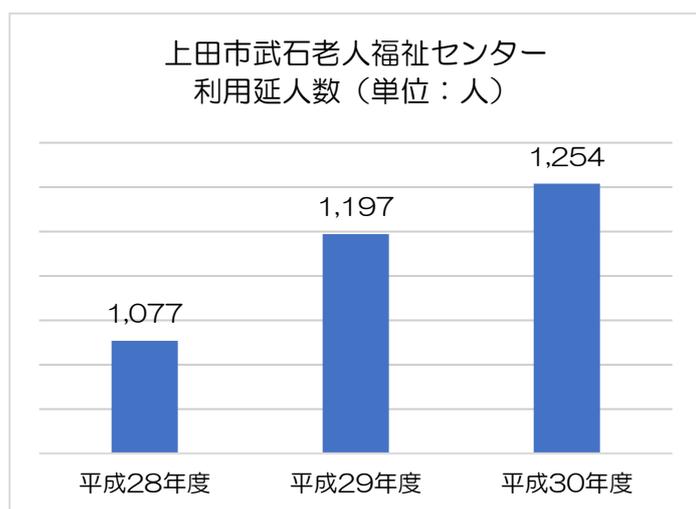
	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4月	94	20	4.7
5月	118	21	5.6
6月	104	21	5.0

7月	68	21	3.2
8月	127	23	5.5
9月	53	18	2.9
10月	97	22	4.4
11月	93	20	4.6
12月	65	19	3.4
1月	105	21	5.0
2月	137	23	6.0
3月	193	24	8.0
合計	1,254	253	5.0

(2) 上田市武石老人福祉センター利用状況の推移

	利用延人数（人）	開館日数（日）	1日平均利用者（人）
平成28年度	1,077	245	4.4
平成29年度	1,197	245	4.9
平成30年度	1,254	253	5.0

グラフ



評価・課題

今年度は、高齢者クラブ関係者が積極的に当センターの利用促進するために自主事業を計画願い、微増ではあるが昨年度より、利用者増になった。今年度は、武石公民館の代替場所になることより利用頻度は高くなることが予想される。

真田ふれあいバス運行事業(市受託事業)

事業概要	事業実績
老人センターへの利便を図るため、定期的にふれあいバスを運行している。公共のバス路線では対応できない地域に密着した路線を中心に運行している。	1 定期運行 毎週 月、水、木、金曜日に真田地域巡回 (菅平区は除く) 2 25人乗りマイクロバス 迎え1回 送り2回の巡回 3 運休日 毎週 火、土、祝日、お盆(8月13日～16日) 年未年始(12月29日から1月3日まで)

利用状況

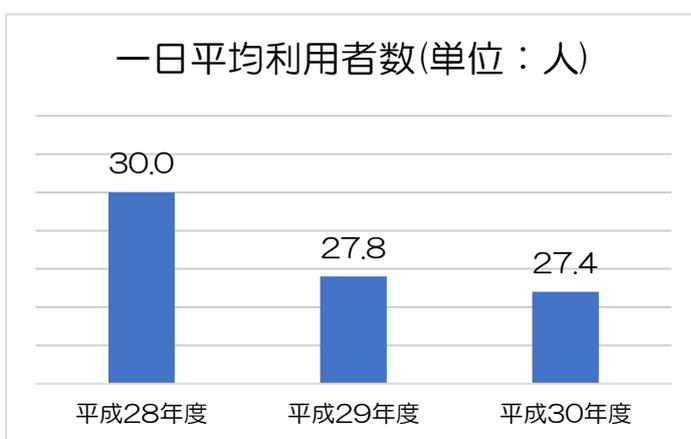
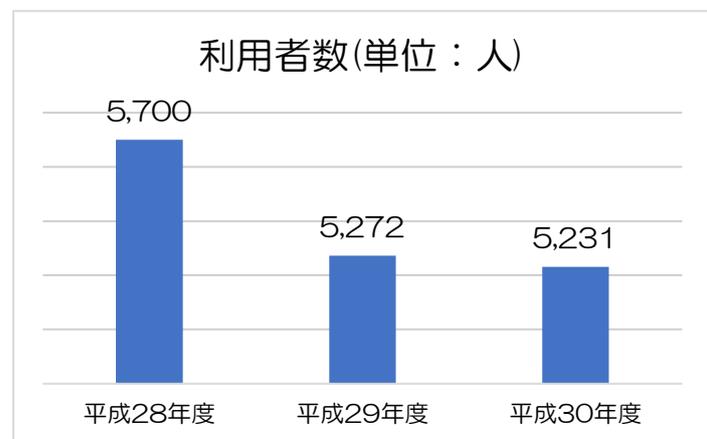
1 真田ふれあいバス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者(人)	451	436	467	474	371	374		
運行日数(日)	17	16	17	16	16	14		
1日平均利用者数(人)	26.5	27.3	27.5	29.6	23.2	26.7		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数(日)	460	476	371	406	479	466	5,231	
運行日数(人)	17	17	14	15	15	17	191	
1日平均利用者数(人)	27.1	28.0	26.5	27.1	31.9	27.4	27.4	

2 真田ふれあいバス利用状況の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数(人)	5,700	5,272	5,231
運行日数(日)	191	190	191
一日平均利用者数(人)	30.0	27.8	27.4

グラフ



評価・課題

特に高齢の方々の乗車に配慮し、安全運転はもとより乗降時等の丁寧な誘導に努めている。利用者数は減少傾向にあるものの、引き続き、地域における高齢者等の交通手段確保に向け、市の受託業務として取り組んでいきたい。

施設管理事業(市受託事業)

1 上田市ふれあい福祉センター

事業概要

ふれあい福祉センターは、旧上田郵便局舎を改修し、障がい者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に平成11年11月15日にオープンし、福祉の拠点として多くの方が利用されている。



- (1) 開館日：12月29日から1月3日を除く毎日
- (2) 開館時間：午前8時30～午後10時

事業実績

(1) 上田市ふれあい福祉センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	2,616	3,211	2,555	2,481	2,278	2,826	
日数(日)	30	30	30	31	31	30	
1日平均利用者(人)	87.2	107.0	85.1	80.0	73.4	94.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	2,819	3,083	2,500	2,004	2,724	2,724	31,821
日数(日)	31	29	28	28	28	31	357
1日平均利用者(人)	90.9	106.3	89.2	71.5	97.2	87.8	89.1

(2) 上田市ふれあい福祉センター推移

	28年度	29年度	30年度
利用延べ人数(人)	34,984	31,218	31,821
1日平均利用者(人)	97.7	87.2	89.1

利用延べ人数 (単位：人)



評価・課題

ボランティア団体や福祉団体をはじめ地域の方々等の活動の場として広く利用されており、地域の交流の場になっている。利用者の皆さんが安心して利用できるよう、常に施設点検を行い安全には細心の注意を払っているが築52年経過し、雨漏りをはじめとした建物全体の老朽化が深刻な状態である。

施設利用者さんへのあいさつは職員から率先して行い、気持ち良く利用してもらえるよう心がけている。

2 真田総合福祉センター

事業概要

真田総合福祉センターは、地域の多くの方に利用していただける施設です。障がい者及び高齢者の社会参加を支援するとともに、市民のボランティア活動への参加を積極的に推進することを目的としている。また多くのクラブ活動に利用されている。



- (1) 開館日：火曜日の夜間を除く毎日
- (2) 開館時間：午前9時～午後9時30分

事業実績

(1) 真田総合福祉センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	906	1,022	848	1,322	1,000	1,327	
日数(日)	30	31	30	31	31	30	
1日平均利用者(人)	30.2	33.0	28.3	42.6	32.3	44.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	1,626	1,526	1,038	923	1,259	1,341	14,138
日数(日)	31	30	28	28	28	31	359
1日平均利用者(人)	52.5	50.9	37.1	33.0	45.0	43.3	39.4

(2) 真田総合福祉センター推移

	28年度	29年度	30年度
利用延べ人数(人)	15,663	16,268	14,138
1日平均利用者(人)	43.6	45.3	39.4

利用延べ人数 (単位：人)



評価・課題

主に真田地域のボランティア団体、福祉団体、各種クラブ等大勢の方に使用され、昼夜を問わず利用も活発で地域の活動拠点となっている。幅広い年齢層に利用されているが、エレベーターが無いため高齢の方、障がいのある方には階段による昇降など利用上の不便さもある。築47年が経過しており雨漏りや館内の暖房効率など施設の課題もあるが、修理・点検を行いながら安全な利用環境が整うよう取り組んでいる。

3 真田地域活動支援センター

事業概要

障がい者及び高齢者が民芸品の自主制作に取組み、生産意欲を持って健康で楽しく働き、社会生活の適応性を高めることを目的に利用されている。



- (1) 開館日：月曜日～金曜日
(ただし、年末年始・祝日休館)

事業実績

利用者 9人（身体障がい者5人、高齢者4人）

評価・課題

利用される方々の障がいの状況や年齢、体力等に応じた活動となるよう配慮すると共に利用者同士の交流も含め「生きがい」づくりに努めている。市内同種の5施設中、本施設のみ設置主体が市であり、利用者数の減少や高齢化が進む中、設置条例に即した障がい者福祉サービスを提供する施設としての「今後のあり方」について検討が進められている。

4 長瀬市民センター

事業概要

長瀬市民センターは、市からの受託事業で、市民の福祉の増進に寄与することを目的として、会場の貸出し等の管理運営を行い、市民に広く利用されている。



事業実績

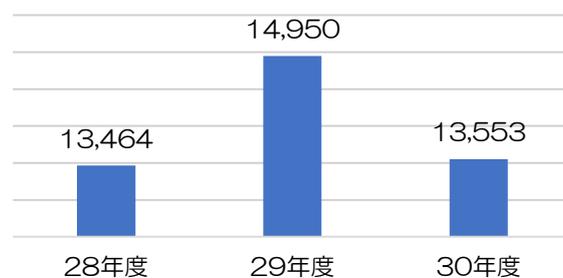
(1) 長瀬市民センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	922	1,009	1,326	1,069	1,331	1,286	
日数(日)	26	26	27	27	26	26	
1日平均利用者(人)	35.5	38.8	49.1	39.6	51.2	49.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	1,190	1,466	826	871	998	1,259	13,553
日数(日)	27	25	24	24	24	27	309
1日平均利用者(人)	44.1	58.6	34.4	36.3	41.6	46.6	43.9

(2) 長瀬市民センター推移

	28年度	29年度	30年度
利用延べ人数(人)	13,464	14,950	13,553
1日平均利用者(人)	44.0	48.5	43.9

利用延べ人数（単位：人）



評価・課題

多くの市民や団体が交流の場や活動拠点として利用している。ホールのいすと音響設備が老朽化してきており、計画的に更新していきたい。

その他の事業

1 児童福祉

事業実績

(1) 上田地区センター

ア 子育て中の親を対象に、交流の場づくりとリフレッシュ、子育てに関わる学習会を目的として事業を行った。

(ア) 子育て支援事業

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| ・ベビーダンス教室 | 6月 28日(木)開催 | 参加者17組 |
| ・親子でベビーヨガ | 10月 19日(金)開催 | 参加者13組 |
| ・足育講座(全3回開催) | 2月 27日(水) | |
| | 3月 6日(水) | |
| | 3月 13日(水) | 参加者延べ61人 |

イ サロン支援事業

上田市ふれあい福祉センターを地域の資源として活用すること周辺自治会のサロン開催につなげることで、赤い羽根共同募金の配分金を地域の皆様に還元できるように体操教室を開催した。

- | | | |
|-----------|---------------|---------|
| ・3月 7日(木) | 楽椅子体操教室 | 参加者 17人 |
| ・3月19日(火) | 背骨コンディショニング教室 | 参加者 17人 |



(2) 丸子地区センター

ア 親子の絆を深め子育て中の親子を応援するための教室等を開催することで、子育て支援を行う。30年度は子育て中の母親の居場所として、新たに「ママカフェ」を開催した。

- | | | |
|----------------------------|-------|----------|
| (ア) 託児サポーター養成講座 | 2回開催 | 参加者 計13人 |
| (イ) ママのリフレッシュ講座(託児有) | 2回開催 | 参加者 計17人 |
| (ウ) 親子教室 | | |
| (ベビーダンス、運動あそび、絵本) | 3回開催 | 参加者 計22組 |
| (エ) 料理教室(託児有) | 1回開催 | 参加者 8人 |
| (オ) ママカフェ | 11回開催 | 参加者 計69組 |
| (カ) 丸子子育てサロン交流事業(上田市と共同開催) | | |
| ・ものづくり | 2回開催 | 参加者 計30人 |



評価・課題

(1) 上田地区センター

上田地区共同募金会配分審査委員会にて審査委員から児童や住民にも目を向けた事業を行ってほしいと提案があり、始まった事業である。いずれも、赤い羽根共同募金の配分金を活用し行っている。参加者からは好評いただいているので、より多くの方に参加していただけるよう、開催場所や周知の仕方等を今後検討していく。

(2) 丸子地区センター

新規事業のママカフェでは、利用者アンケートを実施したところ満足度も高く、目的としたママの居場所として機能し、交流のきっかけづくりに効果があったと思われる。親子教室では、2～3歳の子ども向けの内容で参加者が少なかったため、さらにニーズ把握が必要である。

2 高齢者福祉

事業実績

(1) 上田地区センター

ア 上田市高齢者クラブ連合会及び上田地域福寿クラブ連合会事務局

- | | | |
|------------------|-------------|----------|
| (ア) 上田市高齢者クラブ連合会 | 103単位クラブ | 5,448人 |
| 上田地域福寿クラブ連合会 | 40単位クラブ | 2,357人 |
| (イ) 会議、行事等 | | |
| ・福寿クラブ | 平成29年度会計監査 | 4月 3日(火) |
| ・福寿クラブ | パソコン教室 開講式 | 4月 5日(木) |
| ・福寿クラブ | 総務教養部・女性部会議 | 4月12日(木) |

- ・福寿クラブ 社会福祉部・保健部会議 4月13日(金)
- ・福寿クラブ 理事会・代議員会 4月17日(火)
- ・市高齢者クラブ 監査・理事会 5月 7日(月)
- ・福寿クラブ 表彰審査委員会 5月 8日(火)
- ・第34回福寿クラブ連合会定期大会 6月 8日(金)
- ・長野県老連主催 東信地区ブロック研修会 6月12日(火)
- ・長野県老連 大会打合せ会議(市高連役員) 6月14日(木)
- ・福寿クラブ 第26回シルバースポーツ大会 6月15日(金)
- ・福寿クラブ 指導者(単位クラブ長)研修会 6月28日(木)
- ・長野県老連主催 女性指導者研修会 7月25日(水)
- ・第36回ファミリースポーツ大会 8月 5日(日)
- ・福寿クラブ 理事会 8月22日(水)
- ・福寿クラブ 第1回グラウンドゴルフ大会 8月28日(火)
- ・福寿だより編集委員会 9月 4日(火)
- ・第26回福寿クラブ ゲートボール大会 9月 5日(水)
- ・福寿クラブ奉仕友愛活動 紙おむつ配布 9月 6日(木)、7日(金)
- ・福寿だより編集委員会 9月10日(月)
- ・福寿クラブ パソコン教室 閉講式 9月13日(木)
- ・福寿クラブ女性部市民ふれあい広場事前準備会 9月20日(木)
- ・第40回うえだ市民ふれあい広場 9月22日(土)
- ・福寿だより編集委員会 9月25日(火)
- ・福寿だより第78号発行 10月 1日(月)
- ・赤い羽根共同募金運動参加 10月 1日(月)
- ・人権を考える市民のつどい 10月 3日(水)
- ・福寿クラブ パソコン教室 開講式 10月 4日(木)
- ・第59回長野県老人クラブ大会 上田市開催 10月11日(木)
- ・福寿クラブ 赤い羽根共同募金運動参加 10月18日(木)
- ・福寿クラブ第20回マレットゴルフ大会 10月19日(金)
- ・市高齢者クラブ第11回マレットゴルフ大会 10月31日(水)
- ・埼玉県秩父市老連との交流会 11月 6日(火)、7日(水)
- ・人権啓発担当者研修会 11月10日(土)
- ・男性料理教室補助員事前講習会 11月21日(水)
- ・男性料理教室(市内公民館7か所開催) 11月27日(火)～12月 7日(火)
- ・市高齢者クラブ 会長・事務局会議 12月12日(水)
- ・福寿クラブ 正副会長会 12月14日(金)
- ・市高齢者クラブ正副会長 市長表敬訪問 1月10日(木)
- ・市高齢者クラブ連合会 正副会長事務局会議 1月10日(木)
- ・福寿クラブ正副会長会 1月22日(火)
- ・福寿だより編集委員会 1月29日(火)
- ・シルバースポーツ教室 1月30日(水)～2月 8日(金)
- ・福寿だより編集委員会 2月13日(水)
- ・福寿クラブ理事会 2月18日(月)
- ・福寿だより編集委員会 2月21日(木)
- ・東信地区リーダー研修会 3月13日(水)
- ・福寿クラブ パソコン教室 閉講式 3月14日(木)
- ・福寿だより第79号発行 3月 1日(金)
- ・ファミリースポーツ大会 3月23日(土)
- ・紙おむつ贈呈事業 59人贈呈
- ・通年事業 金婚祝賀事業 25組
- 初級、中級パソコン教室の実施

(2) 丸子地区センター

ア いきいきフェスティバル

身近な地域において支えあい、自分らしくともに生きる社会の実現に向け皆で考え、理解を深めることを目的として、丸子地域高齢者クラブ連合会、上田市健康推進委員会、丸子ボランティア連絡協議会、上田市、上田市社会福祉協議会で構成する実行委員会が開催する。

- ・6月29日(金)、6月30日(土) 丸子文化会館 参加者 650人
- ・記念写真(米寿、白寿、金婚) 27組

イ 丸子地域高齢者クラブ連合会事務局

(ア) 高齢者クラブ数 33単位クラブ 1,402人

(イ) 会議、行事等

- ・理事会、会計監査 4月10日(火)
- ・丸子地域高齢者クラブ連合会総会 4月26日(木)
- ・理事会 6月4日(月)
- ・会長会(出前講座「ごみはどうやって出すの?」) 6月4日(月)
- ・県老連 東信地区ブロック研修会 6月12日(火)
- ・いきいきフェスティバル(シルバー作品展) 6月29日(金)、30日(土)
- ・県老連 東信地区女性指導者研修会 7月25日(水)
- ・理事会 9月7日(金)
- ・第23回丸子地域シルバースポーツ大会 9月26日(水)
- ・第59回長野県老人クラブ大会 10月11日(木)
- ・女性部手芸講習会 10月30日(火)
- ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 10月31日(水)
- ・視察研修会(栃木県日光市) 11月15日(木)、16日(金)
- ・冬季スポーツ交流会(全6回) 12月10日(月)
- 1月28日(月)
- 1月29日(火)
- 2月25日(月)
- 2月26日(火)
- 3月25日(月)
- ・理事会 3月12日(火)
- ・県老連 東信地区リーダー研修会 3月13日(水)、14日(木)
- ・まるこ高連だより(年3回発行) 7月、11月、3月

ウ 丸子赤十字奉仕団

(ア) 施設・病院ボランティア

・ベルポートまるこ

月2回の話し相手やおやつ作りなどボランティア活動 5月～10月

夏祭りボランティア 7月15日(日)

・鹿教湯病院祭にてボランティア活動 6月9日(土)

(イ) 丸子地区赤十字奉仕団視察研修会

白馬村神城断層地震について視察研修 6月28日(水)

(ウ) いきいきフェスティバルに参加 6月30日(土)

(エ) 上田市丸子地域防災訓練 長瀬市民センターにおいて炊き出し訓練

ハイゼックス包装食袋にて提供 9月1日(土)

(オ) いきいき赤十字健康教室 10月25日(木)

(カ) 一円玉募金運動 11月～12月

(3) 真田地区センター

ア 一人暮らし高齢者親睦会の開催

- (ア) 役員会1回目 5月11日(金)
一年間の計画を策定 参加者6人 真田老人センター
- (イ) 親睦会 6月28日(木)
ミミールの会による紙芝居と体操 参加者31人
真田老人センター
- (ウ) ふれあいの旅 10月24日(水) 参加者24人
室賀温泉「ささらの湯」
- (エ) 役員会2回目 11月22日(木)
名簿確認・ハンドマッサージ 参加者6人
真田老人センター
- (オ) 親睦会 3月7日(木)
沖縄の音楽を綾羽と楽しむ 参加者29人
真田老人センター

イ 真田地域長寿会事務局

- (ア) 高齢者クラブ数 16単位クラブ 1,200人
- (イ) 会議、行事等
- ・第59回 総代会 4月27日(金)
 - ・東信地区市町村老人クラブブロック研修会 6月12日(火)
 - ・第38回長寿会長杯ゲートボール大会 6月12日(火)
 - ・第75回マレットゴルフ大会 6月19日(火)
 - ・老人クラブ女性指導者研修会 7月25日(水)
 - ・第76回マレットゴルフ大会 8月7日(火)
 - ・金婚祝いお届け 9月14日(金)
 - ・第41回体育祭 9月27日(木)
 - ・ふれあい広場に参画 10月6日(土)
 - ・第41回体育祭 10月4日(水)
 - ・第36回さわやかゲートボール大会 10月9日(火)
 - ・第59回長野県老人クラブ連合会大会(上田市) 10月11日(木)
 - ・第77回マレットゴルフ大会 10月16日(火)
 - ・にこにこ健康教室 10月12日(木)
 - ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 10月30日(水)
 - ・視察研修旅行 滋賀県 11月18日(日) ~ 19日(月)
 - ・東信地区リーダー研修会 3月13日(水) ~ 14日(木)
 - ・第9回高齢者の健康を考えるつどい 3月5日(火)
- 講演会 「いきいき長寿を目指して！」
講師 松本秀峰中等教育学校校長 小宮山淳先生
参加者 160人
- ・他役員会、理事、監事、地域長寿会、女性部長会 7回開催
- ・伝承広場の開催
5月28日(月) 菅平小学校、 6月28日(木) 本原小学校
9月26日(水) 傍陽小学校、 10月10日(水) 長小学校

(4) 武石地区センター

ア 高齢者サロン事業

高齢者サロン(楽しい会)を4月から22回(内、介護予防体操を11回含む)、延べ1,219人参加者ありました。地域住民の交流の場を作ることができた。

イ 高齢者弁当宅配事業

民生委員・児童委員の協力を得て75歳以上の一人暮らしの方を対象に季節感のあふれる弁当を配ることで一人暮らしの中に生活の楽しさを味わってもらうことを目的に実施した。

- ・実施日 12月13日(水)
- ・配食数 85食
- ・料金 無料

ウ 敬老会

武石地域全体で65歳以上の方を対象として、社会への貢献に感謝し長寿を祝い今後の健勝を願って式典と祝宴を実施

- ・日 時 9月9日 (土)
- ・会 場 武石公民館
- ・出席者 266人

エ 武石高齢者クラブ連合会事務局

- ・地区高齢者クラブ数 13クラブ 会員550人
- ・老人センター寿楽荘庭手入れ 6月19日(火) 9月13日(木) 80人
- ・女性部指導者研修会 7月25日(水) 8人
- ・マレットゴルフ大会 5月31日(木)、8月31日(金) 延べ121人
- ・県大会 10月11日(木) 9人
- ・保育園児との交流 6月12日(火)、9月6日(木)、11月 9日(金) 延べ17人
- ・上田市マレットゴルフ大会 10月31日(水) 13人
- ・ニュースポーツ大会 6月19日(火) 47人
- ・研修会 11月12日(月)、11月13日(火) 延べ16人
- ・高齢者福祉施設の洗濯物たたみ (女性部) 5月～10月 12回 延べ36人

オ 一人暮らし老人もみじ会事務局

- ・春の研修会 7月11日(水)、12日(木)
- ・秋の研修会 11月19日(月)、20日(火)

評価・課題

(1) 上田地区センター

ア 上田市高齢者クラブ連合会

長野県老人クラブ連合会、全国老人クラブ連合会の活動に支援・協力をしている。平成30年度の県老連の大会がサントミュージアムで開催され、上田市高齢者クラブ連合会の活躍で成功をおさめた。

イ 上田地域福寿クラブ連合会

新規事業として本年度新たにグラウンドゴルフ大会を開催し、会員の仲間づくり・健康保持に貢献した。会員が減少の一途をたどるなか、新規会員の加入促進に努力して成果も見えているが、役員のなり手がなく存続が難しい単位クラブもあり、役員の負担軽減を今後も進めてゆきたい。

(2) 丸子地区センター

いきいきフェスティバルは、高齢者の慶祝行事や団体の発表の場として定着しており、地域の小学生や高校生なども参加し世代を超えた交流の場となっている。年々参加者数が減少傾向にあり、マンネリ化している内容の見直しを図っていきたい。

(3) 真田地区センター

高齢者福祉の取り組みの一つとして、長寿会会員の自立自助による地域福祉活動等の推進や健康増進のための各事業の支援を行い生きがいがづくりに努めている。加入促進にも取り組んでいるものの会員増が難しい。

(4) 武石地区センター

高齢者サロンは、継続した事業であり毎回沢山の参加者が集まって体操・講演・小物作り等を行いました。次年度は武石公民館の改築に伴い開催場所が老人福祉センターになりますので、場所が狭い等より開催時間が、昼食無しの2時間開催になってしまいます。

3 障がい者福祉

事業実績

(1) 車いす貸出し事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が通院、外出等で必要な場合、1カ月をめぐり無料で貸出した。

地区		上田	丸子	真田	武石
貸出件数	28年度	178件	51件	17件	9件
	29年度	137件	42件	30件	6件
	30年度	219件	63件	22件	4件
保有台数		※50台	26台	6台	11台

※上田地区保有台数 貸出用30台・体験用20台

(2) 特殊寝台貸与事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が一時的に日常生活を営むことが困難になった場合、3か月をめぐり無料で貸出した。

地区		上田	丸子	真田	武石
貸出件数	28年度	4件	0件	1件	1件
	29年度	3件	2件	1件	0件
	30年度	10件	1件	0件	0件
保有台数		3台	2台	1台	4台

(3) 上田地区センター

ア 上小圏域障害者総合支援センターとの協力と連携

- (ア) 上小地域障害者自立生活支援センター「ウィング」
- (イ) 上小地域就業・生活支援センター「シェイク」
- (ウ) 地域活動支援センター「やすらぎ」

イ NPO法人上田市身体障害者福祉協会等、障がい者団体への協力援助と連携

- (ア) 第44回上小地区障がい者スポーツ大会 5月29日(土)

(4) 真田地区センター

ア 真田町身体障害者福祉協会事務局

- (ア) 第44回上小地区障がい者スポーツ大会 5月19日(土)
- (イ) 総会 6月8日(金)
- (ウ) 第69回長野県身体障害者福祉大会 9月6日(木)
- (エ) 第18回長野県障がい者スポーツ大会 9月9日(日)

(5) 武石地区センター

ア 武石身体障害者福祉協会事務局

- (ア) 視察研修(茅野市) 7月11日(水)、12日(木)
- (イ) 「ろくもん」で行く電車の旅 3月26日(火)

4 団体事業の育成

事業実績

各種福祉団体事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めた。

(1) 上田地区 活動費助成団体

団体名	助成金額	団体名	助成金額
うえだ市民ふれあい広場実行委員会	100,000円	上田市聴覚障害者協会	110,000円
上田市子ども会育成連絡協議会	70,000円	上田地区更生保護女性会	150,000円
上田市視覚障害者福祉協会	100,000円	上田地区保護司会	100,000円
上田市肢体不自由児・者父母の会	65,000円	上田市赤十字奉仕団	60,000円
NPO法人上田市身体障害者福祉協会	280,000円	絵手紙サークルひまわり	38,000円
上田ボランティア連絡協議会	150,000円	上小手話サークル	115,000円
上田地域福寿クラブ連合会	264,000円	モチーフの会	55,000円
豊殿地区循環バス運営委員会	280,000円	点訳サークルでんでん虫の会	28,000円
上田マジッククラブ	30,000円	チャイルドラインうえだ運営委員会	170,000円
シルバーバックの会	130,000円	ビックリ箱の会	52,000円
		合計20団体	2,347,000円

(2) 丸子地区 活動費助成団体

丸子地域高齢者クラブ連合会	300,000円	丸子ボランティア連絡協議会	150,000円
上田市丸子身体障害者福祉協会	300,000円	傾聴ボランティア・まるこ	80,000円
丸子モチーフの会	50,000円	丸子地域食生活改善推進協議会	30,000円
Eキャップの会	50,000円	上田市丸子地区赤十字奉仕団	30,000円
		合計8団体	990,000円

(3) 真田地区 活動費助成団体

真田地域長寿会	30,000円	障害のある人達の家族の会	30,000円
真田町身体障害者福祉協会	30,000円	おもちゃ図書館くるくるさなだ	30,000円
たまたて箱（パネルシアター）	20,000円	上田市真田地区赤十字奉仕団	30,000円
ミミールの会（民話紙芝居）	15,000円	大福会（茶道普及の会）	20,000円
真田地域ボランティア連絡協議会	80,000円	上田市真田地域食生活改善推進協議会	30,000円
モチーフの会	20,000円	ふれあい広場実行委員会	60,000円
		合計12団体	395,000円

(4) 武石地区 活動費助成団体

武石高齢者クラブ	161,000円	武石身体障害者福祉協会	34,000円
もみじ会（1人暮らし老人の会）	80,000円	武石ボランティア連絡協議会	25,000円
		合計4団体	340,000円

5 その他

事業実績

(1) シルバー人材センターとの連携

- ア 総会 5月30日(水)
- イ 理事会 4月19日(木)、5月16日(水)、6月27日(水)、7月25日(水)、
8月29日(水)、9月26日(水)、10月30日(火)、11月28日(水)、
12月26日(水)、2月27日(水)

(2) 遺族会事務局

- ア 役員総会 4月12日(木)
- イ 靖国神社参拝 4月24日(火)、25日(水)
- ウ 全国戦没者追悼式 8月15日(水)
- エ 長野県護国神社参拝 10月10日(水)
- オ 第65回長野県遺族大会 10月18日(木)
- カ 平成29年度長野県戦没者追悼式 10月19日(金)
- キ 平成29年度上田市戦没者追悼式・第61回上田市戦没者遺族大会 11月13日(火)

善意銀行

事業実績

個人、団体、法人等の皆さんから、多くの金品を御寄付いただき、社会福祉活動に役立たせていただいた。

(1) 金銭寄付

(敬称略)

月日	金 銭(円)	氏 名	備 考
4月12日	300,000	長野計器株式会社	指定寄付／でんでん虫の会へ
5月1日	200,000	匿名	丸子地域へ
6月8日	13,880	上田山草会	
7月3日	30,868	上田西高等学校JRC部	大阪北部地震義援金として
7月3日	6,000	塩川遺族会	
8月7日	26,296	上田市高齢者学園1学年	平成30年7月豪雨災害義援金として
8月8日	38,564	株式会社 丸陽	平成30年7月豪雨災害義援金として
8月17日	62,205	ビューティーサロンさつき	
8月21日	2,644	特定非営利活動法人ぽけっと	平成30年7月豪雨災害義援金として
8月22日	6,000	匿名	平成30年7月豪雨災害義援金として
8月22日	3,500	上田市社協 真田地区センター職員一同	
8月22日	4,893	上田市社協 丸子地区センター職員	平成30年7月豪雨災害義援金として
8月27日	6,291	上田市社協 ふれあい福祉センター職員	平成30年7月豪雨災害義援金として
8月30日	50,000	匿名	平成30年7月豪雨災害義援金として
9月3日	3,639	上田市社協 神川デイサービス職員	平成30年7月豪雨災害義援金として
9月10日	20,000	匿名	平成30年7月豪雨災害義援金として
9月10日	60,000	匿名	湯原のあいちゃん 30,000円 依田窪特別養護老人ホームともしびへ 湯原の友ちゃん 30,000円 特別養護老人ホーム大樹へ
9月11日	7,125	上田市社協 武石地区センター職員	平成30年7月豪雨災害義援金として
9月11日	10,000	匿名	平成30年7月豪雨災害義援金として
9月18日	7,981	匿名	
9月18日	27,770	丸子ゴルフ大会実行委員	
10月1日	20,000	西塩田夏まつり実行委員会	指定寄付／塩田西小へ
10月11日	51,660	上田市赤十字奉仕団	北海道胆振東部地震災害義援金として
10月12日	100	匿名	
10月15日	10,000	のんびりカフェ	
10月22日	200,000	美し信州建設	就労支援センター「さんと」へ 60,000円 千曲高校生活福祉科へ 120,000円 モチーフの会へ20,000円

10月22日	5,000	つくしの会	
10月23日	12,319	上田市立第一中学校 生徒会	東日本大震災義援金として
11月2日	25,400	丸子山野草クラブ	丸子地域へ
11月6日	7,830	ほのぼのクラブ	
11月7日	100,000	ふれあい広場 i n さなだ実行委員会	北海道胆振東部地震災害義援金として
11月7日	100,000	ふれあい広場 i n さなだ実行委員会	真田地区センターへ
11月9日	37,250	上田市立塩田西小学校	平成30年7月豪雨災害義援金として
11月9日	30,000	インマヌエル上田キリスト教会	
11月15日	29,000	手塚自治会	北海道胆振東部地震災害義援金として
11月21日	19,191	大日向そば活性化組合	北海道胆振東部地震災害義援金として
11月22日	210,026	高齢者クラブ連合会	平成30年7月豪雨災害義援金として
11月26日	20,000	上田市立第二中学校	
11月29日	25,000	昭和28年 西塩田中学校卒業生一同	
11月30日	30,000	小泉自治会	北海道胆振東部地震災害義援金として
12月3日	37,500	長野県理容生活衛生同業組合 上小支部	
12月10日	10,000	第十二教区曹洞宗青年会	
12月14日	6,625	上田市豊殿小学校	熊本地震義援金として
12月19日	200,000	匿名	福祉事業へ
12月21日	21,372	柳澤政次	北海道厚真町へ
12月21日	10,000	上田市立第五中学校	平成30年7月豪雨災害義援金として
12月21日	8,533	上田市立第五中学校	北海道胆振東部地震災害義援金として
12月25日	54,000	上田西ロータリークラブ	
12月25日	15,000	ダンスサークルMSW	丸子地域へ
1月16日	20,000	日本基督教団 上田新参町教会	
2月21日	50,000	さくら国際高等学校	
3月1日	8,000	スナック浪漫	
3月13日	2,376	上田市商工会 青年部	
3月18日	25,855	上田市合唱団体連絡協議会	北海道胆振東部地震災害義援金として
3月22日	2,534	匿名	

※ 自治会連合会（104自治会）3,377,523円（平成30年7月豪雨災害義援金として）

(2) 物品寄付

月日	物 品	氏 名	備 考
4月10日	事務用品	匿名	
4月10日	ポータブルトイレ	匿名	
4月11日	ミーティングチェア8脚	ほほ笑み介護支援センター	上田市ふれあい福祉センター共有スペースへ
4月13日	糸	永井西男	ボランティア地域活動センターへ
4月17日	使用済切手	上田間税会女性部	ボランティア地域活動センターへ
4月26日	使用済切手	匿名	ボランティア地域活動センターへ

5月1日	尿取りパッド10袋 おむつ2袋	匿名	
5月7日	玄米30kg×2袋	匿名	
5月7日	使用済切手	匿名	
5月7日	毛糸、紙おむつ 尿取りパッド	滝澤和子	
5月11日	毛糸紙おむつ 尿取りパッド	匿名	
5月14日	使用済切手	匿名	
5月21日	雑巾10枚	宅老所おおら	
5月28日	未使用年賀はがき 52円4枚、50円25枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ
5月28日	おもちゃ類8点	匿名	丸子地域で活用
5月31日	紙おむつ5袋 尿取りパッド1袋	匿名	
6月5日	お米3kg	匿名	
6月6日	紙おむつ1袋 尿取りパッド1袋	匿名	
6月6日	マッサージチェア 1台	近藤敬子	真田老人福祉センターへ
6月12日	毛糸、尿取りパッド	匿名	
6月20日	使用済切手	匿名	
7月5日	電動ベッド1台	堀まゆみ	
7月27日	使用済切手、毛糸	匿名	
7月31日	毛糸	匿名	
8月3日	毛糸	匿名	
8月7日	食料品58点	匿名	
8月8日	車いす2台	上田卸商業協同組合	
8月8日	毛糸	匿名	
8月9日	毛糸	匿名	
8月16日	未使用切手 30円70枚、60円4枚 1円6枚、10円5枚 収入印紙 5,400円分	故 湯本昭一	
8月17日	書き損じはがき35枚 ペットボトルキャップ	ビューティーサロンさつき	
8月17日	掛け軸	匿名	
8月22日	毛糸	匿名	
8月22日	川柳の本33冊	桂川秋生	

8月27日	未使用はがき10枚 書き損じはがき9枚 未使用切手10円20枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ
8月28日	児童書53冊 コミック171冊	株式会社バリューブックス	大星児童センターへ
8月30日	使用済切手	坂城ライオンズクラブ F. C. 長野RAINBOW	
9月3日	ネコトイレ3個 ネコのおしりふき5個 子ねこ用エサ32袋	手塚結菜	一匹でも犬・ねこを救う会へ
9月7日	毛糸	匿名	
9月19日	経管栄養88パック	匿名	
9月20日	味噌10kg	匿名	ふれあい広場へ
9月26日	紙おむつ2袋 尿取りパッド6袋	匿名	
9月26日	紙おむつ3袋 尿取りパッド1袋	匿名	
9月28日	毛糸 編みクッション5つ	匿名	
10月3日	紙おむつ4袋	匿名	
10月5日	紙おむつ1袋	匿名	
10月12日	下着、Tシャツ エプロン	匿名	
10月12日	未使用切手 50円60枚、10円7枚	湯本淳	
10月15日	お米30kg	匿名	
10月23日	お米30kg6袋	匿名	
10月22日	雑巾20枚 タオル10枚	上田地域福寿クラブ連合会 神川支部	神川デイへ
10月29日	未使用切手 10円19枚、20円2枚 40円1枚、50円1枚 60円2枚、140円1枚 未使用年賀はがき 50円4枚、52円4枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ
10月30日	胃ろう用チューブ5本 ミトン手袋1つ 手首用血圧計1台 手押し車2台	匿名	
11月1日	おむつ8袋 尿取りパッド4袋	匿名	

11月5日	おむつ4袋	匿名	
11月7日	食料品	匿名	
11月20日	使用済切手 使用済テレホンカード	匿名	
11月26日	未使用切手 10円10枚、20円10枚 50円10枚 未使用年賀はがき10枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ
11月26日	車いす1台	「小さな親切」運動上田支部	
11月21日	毛糸	匿名	
11月26日	パズル2個	匿名	神川デイへ
11月28日	古米60kg	匿名	
12月3日	タオル60枚 雑巾6枚	長野県理容生活衛生同業組合 上小支部	
12月5日	タオル13枚 ハンカチ15枚	匿名	神川デイへ
12月11日	もち米20kg	匿名	
12月12日	白米30kg	匿名	
12月12日	おもちゃ9点	匿名	
12月17日	未使用切手 60円10枚、15円18枚 未使用はがき 7円19枚、40円5枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ
12月19日	紙おむつ、尿取りパッド	匿名	
12月21日	ホッチキスの針5個 石鹼5個	匿名	
12月25日	チャイルドシート1個	飯島市五郎	
12月25日	お米28kg	池内良一	丸子地域へ
12月25日	お米2kg	匿名	丸子地域へ
12月25日	お米23kg	匿名	丸子地域へ
12月27日	もち米30kg	匿名	
12月27日	毛糸	匿名	
12月28日	お米70kg	匿名	
12月28日	尿取りパッド3袋	匿名	神川デイへ
1月17日	子ども用おむつ3袋	匿名	
1月25日	消毒用ハンドジェル59本	匿名	
1月28日	年賀はがき 52円37枚 未使用切手 10円4枚、15円8枚 25円2枚、50円2枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ

2月4日	未使用切手 62円1枚、60円17枚 50円33枚、20円10枚 15円3枚、10円1枚 7円1枚	匿名	
2月5日	糸糸	匿名	
2月14日	飲料20本	からだ元気治療院上田店	
2月20日	糸糸	匿名	
2月25日	未使用切手 40円1枚、20円1枚 15円8枚、10円4枚 7円4枚	新田長生会サロンこすもす	
3月7日	車いす3台	上田ライオンズクラブ	
3月15日	使用済切手 書き損じはがき7枚 タオル10枚	上田商工会議所 女性会	タオル→ハッピーシニアリビングへ
3月18日	糸糸	匿名	
3月18日	使用済切手	匿名	
3月20日	糸糸 書き損じはがき57枚	匿名	
3月20日	使用済切手	匿名	
3月22日	文房具	匿名	
3月18日	レーザーディスクカラオケ1セット	宮島玲子	
3月13日	ちぎり絵 (赤富士20号)	小松晨子	
3月25日	未使用切手 10円16枚、15円12枚、7円1枚、40 円2枚、41円9枚、50円4枚、 62円4枚、80円4枚 未使用はがき 7円2枚 書き損じはがき50円4枚	新田長生会サロンこすもす	ボランティア地域活動センターへ
3月26日	電子ピアノ1台	(株)二幸建設	
3月25日	ハンカチの小物 他	匿名	
3月27日	使用済切手	長瀬郵便局	

金銭寄付合計 5,669,750円

物品寄付合計(金額換算) 669,244円

寄付合計 6,338,994円

評価・課題

多数の市民から寄付の申し出を受け、受け入れることができた。近年災害が続いており、義援金の受付数が増えている。義援金等、指定寄付に関しては、寄付者の希望に沿い、受け渡しをすることができた。